２０２６

伊東市の教育

伊東市教育委員会

伊 東 市 教 育 大 綱

平成 27 年　5 月 18 日策定
平成 29 年 12 月 25 日改定
令和　4 年　2 月 15 日改定

これからの伊東市を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、また市民一人ひとりが生涯にわたり美しいふるさと伊東で学び続けることができるよう、市民が主役となり、誰もが夢と希望を形にできる未来の実現を目指し、教育における「新しい伊東スタイル」※を構築し、未来を拓く教育行政を推進します。

１　夢と希望をもつ子どもの育成

⑴　未知の状況にも柔軟に対応できる思考力、判断力、表現力を育み「学びに向かう力」を高めます。

⑵　社会性、規範意識や自己肯定感、思いやりの心といった「人として備えたい力」を高めます。

⑶　危険を未然に回避する力や危機対応能力の向上､健康的な生活習慣の定着を図り、「命を守る力」を高めます。

２　夢と希望を育む園・学校の基盤整備

⑴　学校・家庭・地域社会が連携・協働する体制を築き、信頼される学校づくりを推進します。

⑵　多様な教育的ニーズに応える柔軟な教育体制・支援体制を築くとともに、子どもたちの多様性・価値観を尊重できる教育環境を整備します。

⑶　子どもたちが安全・安心に、良好な教育環境で学べるよう、施設の整備と学習環境の充実を図ります。

⑷　多様な子どもたちの資質・能力育成のために必要なＩＣＴ環境と、それらを適切に活用した学習活動の充実を図ります。

⑸　子どもたちにとってより望ましい教育環境を整えるため、園・学校の管理及び規模・配置の適正化を図ります。

⑹　安全・安心な給食提供体制を維持しながら、食育と地産地消を推進し、更なる魅力向上を図るとともに、幼稚園給食の実施に向けた準備を進めます。

⑺　園・学校の感染症防止対策を講ずるとともに、自然災害、交通安全、防災対策などの危機管理体制の徹底及び防災教育の推進を図ります。

※「新しい伊東スタイル」
大きく変化していく社会において、これまでの常識は通用しないとの考えに立ち、新たな価値や可能性を見出し、持続可能かつ柔軟な市政運営を進めていくための「伊東らしいニューノーマル（新常態）」

３　生涯学習の場の充実と質の向上

⑴　ジオパークを活用し、ふるさと伊東の良さを再発見するとともに地域の自然を愛する心を育てます。

⑵　市民の要望に応じた学習機会の提供と地域拠点施設の充実を図ります。

⑶　「市民一人一スポーツ」を目指し、生涯スポーツの推進及び社会体育施設の充実に努めます。

⑷　市民の文化活動への効果的な支援を行います。

⑸　ふるさとの歴史文化を次世代へ継承する学びの場を提供します。

⑹　人間形成の基盤となる家庭教育の充実を図るとともに、青少年の健全育成及び社会教育活動に対し積極的に支援します。

⑺　地域コミュニティの充実及び生涯学習活動の活性化を支援します。

⑻　『夢と未来を育む図書館』～ひとりひとりの創造拠点～のコンセプトのもと、市内外の多くの方が訪れる「まちのミュージアム」を目指し、新図書館の整備を進めます。

以　上

伊　東　市

○市　　章

昭和２３年４月２０日制定。いとうの「い」の字を１０個配し図案化した。

太陽に恵まれた豊かな自然と円満な市民性、平和な街を望む市民の願いを象徴している。

市制施行　　昭和２２年８月１０日　　市町村コード　２２２０８

所 在 地　　静岡県伊東市大原二丁目１番１号　　市町村別類型　Ⅱ－３

郵便番号　　４１４－８５５５　　交通機関　伊東線伊東駅からバスで１０分

代表電話番号　０５５７－３６－０１１１　　ＦＡＸ　３７－８１１７

教　育　長
教 育 部 長
次長兼教育総務課長
教育総務課　　教育総務係 32-1901　　教育政策係 32-1912
伊東市学校給食センター 52-6910
教育指導課　　教育指導係 32-1911
幼児教育課　　幼児教育係　保育園担当 32-1951　　幼稚園担当 32-1952
生涯学習課　　生涯学習係 32-1961、32-1962　　文化・スポーツ係 32-1963、32-1964
＊図書館 36-7433　＊文化財管理センター 36-2182
＊市民体育センター 36-1178　＊かどの球場 36-8900　＊大原武道場 35-2100

伊　東　市　民　憲　章

（昭和４２年８月１０日制定）

わたくしたちの住む伊東は、「西に山、東に海、美しいかなこの岡、われらが里」と郷土の生んだ詩人木下杢太郎によってうたわれたように、恵まれた自然と先人のたゆまぬ努力とによって、発展してきました。

わたくしたち伊東市民は、この自然と伝統の上にきずかれた国際観光温泉文化都市の市民としての誇りをもって、わたくしたちの伊東を、より美しく、豊かで、住みよいまちにするために、市民の守るべき基本的な定めとして、ここに憲章を制定します。

この憲章は、わたくしたち市民のひとりひとりが、まちを愛し人間を尊重する精神にたち、おたがいのしあわせを願うという自覚のもとに、各自がその行動を規律しようとするものです。

わたくしたち伊東市民は、

一、文化を高め、教養を豊かにしましょう

それは、わたくしたちが、伊東市民としての誇りをもち、文化都市をきずきたいからです。

一、自然を愛し、清潔な環境をつくりましょう

それは、わたくしたちのまちを住みよくし、美しい観光地にしたいからです。

一、きまりを守り、良い風習を育てましょう

それは、わたくしたちの生活を平和にし、秩序ある社会をつくりたいからです。

一、おたがいに助け合い、親切をつくしましょう

それは、わたくしたちが、おたがいのしあわせをねがい、不幸な人をなくしたいからです。

一、元気で働き、楽しい家庭をつくりましょう

それは、わたくしたちの生活を豊かにし、未来をになう子どもたちを立派に育てたいからです。

目　　　　次

Ⅰ　伊東市の概要
1　伊東市の位置・面積・広ぼう　…………………………………　1
2　伊東市の沿革・風土・気象・人口　……………………………　1
3　伊東市の財政　………………………………………………　5
Ⅱ　教育委員会
1　教育委員会　…………………………………………………　6
2　歴代教育委員　………………………………………………　7
3　歴代教育長　…………………………………………………　8
4　歴代教育委員長・委員長職務代理者　…………………………　9
5　令和７年度 教育委員会定例会等議題　…………………………　11
6　総合教育会議　………………………………………………　13
Ⅲ　教育行財政
1　令和８年度 伊東市教育行政の基本方針について　……………　15
2　令和８年度 伊東市教育委員会の組織機構　……………………　17
3　教育委員会業務分掌　…………………………………………　18
4　教育予算　……………………………………………………　21
5　令和８年度 教育関係主要事業　………………………………　23
6　伊東市育英奨学制度　…………………………………………　25
Ⅳ　学校施設管理
1　学校施設管理　………………………………………………　26
2　幼稚園、保育園、小・中学校建設のあゆみ　……………………　27
3　教育施設一覧　………………………………………………　32
4　教職員住宅　…………………………………………………　34
5　学校給食センター　……………………………………………　34
Ⅴ　学校教育
1　令和８年度 伊東市教育委員会教育指導課　指導の重点　………　35
2　小・中学校、幼稚園、保育園一覧　……………………………　36
3　令和８年度 教職員配置数　……………………………………　37
4　園児・児童・生徒数の推移　……………………………………　40
5　令和８年度 児童・生徒・園児数及び学級数集計表　……………　41
6　令和７年度 中学校等卒業生の進路　……………………………　44
7　令和７年度 就学猶予・免除・死亡　……………………………　45
8　令和７年度 転入・転出児童生徒数　……………………………　45
9　学校給食　……………………………………………………　45
10　特別支援学級　………………………………………………　46
11　研究指定校　…………………………………………………　46
12　令和７年度 教育相談室利用状況　……………………………　47

13　令和７年度 就学援助費及び奨励費 ･････････････････････････････････････ 48
14　令和７年度 日本スポーツ振興センター掛金及び給付金 ････････････････････ 48
15　令和８年度 使用教科書一覧 ･･ 49
16　令和８年度 教科等研究員 ･･ 50
17　令和８年度 学校関係団体 ･･ 50
18　令和８年度 伊東市校長会組織分担表 ･･････････････････････････････････ 51
19　大規模・突発地震発生による学校・家庭の対応 ････････････････････････ 52
Ⅵ　生涯学習
1　生涯学習の主要施策 ･･ 53
2　令和７年度 生涯学習講座参加実績等 ･･････････････････････････････････ 63
3　伊東の文化財 ･･ 66
4　生涯学習センター ･･ 70
5　図書館 ･･ 72
6　コミュニティ ･･ 75
7　社会教育関係委員・団体 ･･ 77
Ⅶ　スポーツの振興
1　スポーツ振興の重点施策 ･･ 79
2　令和８年度 スポーツ振興事業計画 ････････････････････････････････････ 81
3　令和７年度 スポーツ振興事業 ･･ 82
4　令和７年度 スポーツ施設等の利用状況 ････････････････････････････････ 82
5　スポーツ施設 ･･ 85
6　スポーツ推進委員会 ･･ 85
Ⅷ　所轄外学校等
1　所轄外学校等 ･･ 87

構成比は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計値が１００％にならない場合があります。

Ⅰ　伊東市の概要

1　伊東市の位置・面積・広ぼう

⑴　位　置

東経 139 度 6 分 18 秒　　北緯 34 度 57 分 43 秒

⑵　面　積

124.02 平方キロメートル（令和 8 年 6 月 26 日国土交通省国土地理院公表）

⑶　広ぼう

東西 10,450 メートル　　南北 20,450 メートル

2　伊東市の沿革・風土・気象・人口

⑴　沿　革

「伊東」の地名は、「伊豆国の東にあたる」からとか「よい磯に恵まれた土地」を意味するなどの諸説があるが、いずれにしても相模灘と自然湧出の温泉に恵まれた温暖な土地である。

伊東市の広い丘陵地形は、伊豆東部火山群の噴出物によって形成された。この丘陵上には、出土物から旧石器時代の遺跡が立地したと考えられるが、厚い堆積物に阻まれて明瞭にはわかっていない。続く縄文時代には早期（約１万２，０００年前以降）から中期（約４，０００年前）にかけて多くの集落遺跡が台地上に営まれた。縄文時代後期には海岸付近の低地に集落がつくられ、外洋性の魚介類など黒潮の恵みを活用した生活が伺える。弥生時代には、伊東大川（通称「松川」）の近くに集落が立地するようになり、今日の伊東の街並の原型が形成されたものと見られる。続く古墳時代には、伊豆半島の他の地区と同様に多くの祭祀遺物を伴う遺跡が見られる。中でも、川奈などの海岸線にある海食洞穴を利用した祭祀遺跡は、日本人の神祭りのはじめを想像させる遺跡として注目される。律令制の時代には、腰帯金具が複数出土しており、市域から国府へ出仕する官人がいたことが判明している。

藤原氏の繁栄期から平家の全盛時代に変わると、中央での覇権争いに敗れた源頼朝が伊豆に流される。頼朝の２０年に及ぶ配流中の前半期は伊東にいたものと見られており、藤原氏から分かれて伊東を名字の地としていた伊東一族が、この監視役であったものと見られる。こうした中で、伊東祐親の娘と頼朝との間の恋物語や後に曽我兄弟のあだ討ちにつながる初期武士団の所領争いをめぐる伝承も多く残されている。

源頼朝の旗揚げによって武士政権が誕生するが、この過程で伊東市内から

は伊東氏と宇佐美氏が有力御家人として成長する。この結果、鎌倉時代から伊東氏・宇佐美氏は全国に地頭職を認められて拡散し、各地に有力な武士団として成長を重ねる。今日、伊東姓・宇佐美姓を名乗る方の先祖は、すべてこの伊東市域が出身地であるということができる。戦国時代には、伊豆は伊勢宗瑞（北条早雲）の本拠地とされて約１００年の比較的平穏な時代を迎えた。しかし、宗瑞が伊豆を占領する過程では激しい戦闘が半島内の各地にあったものと見られ、近年発掘調査された鎌田城もその一つと見られている。豊臣秀吉によって北条氏が滅ぼされると、間もなく江戸幕府を開いた徳川氏の時代になる。伊豆半島の約８万４，０００石の領地はおよそ、韮山の江川代官領・沼津藩領・小田原藩領の三分割を受ける。伊東市内には江戸時代の村として１６カ村が成立するが、これらの村々もおおむね３つの領主に分割支配されて幕末に至る。史上最大の城と言われる江戸城は、その莫大な量の石垣用の石材を伊豆から運んで築城した。石材の中心的な産地の一つは伊東に求められ、毎月２度３，０００艘の船が江戸との間を往復したという。また、江戸城の築城が始まる直前には、家康の外交顧問の英国人ウイリアム・アダムス（三浦按針）が日本初の洋式帆船を松川河口で建造したと言われる。魚介・木材・薪炭などは伊東の名産として巨大都市「江戸」の生活を根底から支えていたが、中でも「温泉」は将軍家にも愛用され、樽詰めされ、船で運ばれて江戸城の大奥で珍重された。

伊東は明治維新直後、韮山県に属したが明治４年の廃藩置県で足柄県となり、明治９年以降は静岡県に属する。明治２２年町村制の施行により、江戸時代の１６カ村は伊東・小室・宇佐美・対島の４カ村に統合され、さらに明治３９年伊東村は町制に移行した。

伊東は明治末年ころから次第に保養地としての名声が高まり、北里柴三郎・東郷平八郎・若槻礼次郎など著名人の別荘が多数構えられた。また、市内の旅館には木造三階建ての建築が取り入れられて、多くの来遊客に対応する温泉地伊東の姿が形成されていった。昭和１３年には国鉄伊東線が開通し、南国風の駅舎が建築された。昭和２２年に伊東町と小室村が合併して市制に移行。さらに昭和３０年に宇佐美村と対島村を合わせて今日の伊東市の市域が成立し、富士箱根伊豆国立公園に指定された。くしくも、現在の市域は古代以来伝統のある玖須美荘の領域と一致しているものと見られている。

⑵　風　土（位置及び地勢）

伊豆半島は、かつて南洋にあった海底火山や火山島が、フィリピン海プレートの移動とともに北上し、約１００万年前に本州と衝突してできた半島である。現在のような半島になったのは約６０万年前で、半島となってからも火山活動が続き、天城山や宇佐美火山といった大型の複成火山の活動により伊豆半島の骨格が形づくられた。２０万年前以降は、半島の東部とその沖の相模灘で単成火山（一回の噴火でできた火山）の集まりである伊豆東部火山群が活動している。このような成り立ちを持つ伊豆半島は、「伊豆半島ジオパーク」として地球活動によってもたらされた地質遺産をはじめとする恵みを保全するとともに、教育や観光などに活用した地域づくりを進めており、一連の活動が評価され、平成３０年４月１７日に「世界ジオパーク」に認定された。

伊豆半島の中でも私たちの住む伊東は、半島の東に位置し相模灘に面しており、南北２０．４５㎞、東西１０．４５㎞と南北に広く、１２４．０２㎢の面積を有する。宇佐美火山と伊豆東部火山群が流した溶岩台地上にあるため、山がちで険しい地形の多い半島の中にあってなだらかな地形が広がっていることがわかる。水はけのよい溶岩が広く分布するため河川は少なく、目立った河川としては宇佐美を流れる烏川と市街地を流れる伊東大川くらいで、それらの河川沿いにわずかな沖積平野が広がる。伊東大川沿いには７００余りの温泉井があり、伊東温泉の根源をなしている。

⑶　気　象

私たちの郷土は「常春の伊豆」と言われるように、夏涼しく冬暖かい避暑、避寒の最適地であることは、伊東の年平均気温１６．３℃（※）で示されている。これは、伊豆半島が太平洋に突き出た海洋性気候の代表的地域であり、常に海岸を暖かい黒潮に洗われていることや、背後に天城、宇佐美などの火山によってつくられた山地に抱かれて、冬の季節風（北西風）から守られ南からの湿った暖かい風を受けやすい地形からの影響である。降水量は県内でも多雨地帯に属し、これは、季節風と背後にある天城連峰との関係が大きく影響しているためで、特に６～７月にかけて多くなっており、冬季は晴れの日が多く、温暖な気温と相まって市街地での降雪はごくまれである。

（※第三次環境基本計画参照　気象庁データ）

⑷ 人口

人　口　の　推　移

年次	世帯数	人口			1世帯当たり人口	1㎢当たり人口
		男	女	計		
昭和15年	4,519	10,550	11,441	21,991	4.9	695.5
22	7,306	16,152	18,491	34,643	4.7	608.0
25	7,697	16,922	19,215	36,137	4.7	634.2
30	10,437	23,653	26,516	50,169	4.8	404.4
35	12,724	26,032	28,532	54,564	4.3	439.8
40	15,406	28,065	31,339	59,404	3.9	478.1
45	17,973	29,817	33,186	63,003	3.5	507.6
46	18,590	31,261	33,987	65,248	3.5	525.5
47	19,186	31,744	34,717	66,461	3,5	535.2
48	20,273	32,458	35,363	67,821	3.3	546.4
49	20,737	32,907	35,753	68,660	3.3	553.2
50	20,766	32,263	35,809	68,072	3.3	548.2
51	21,640	33,628	36,562	70,190	3.2	565.2
52	21,867	33,717	36,769	70,486	3.2	567.6
53	22,040	33,707	36,837	70,544	3.2	568.0
54	22,642	33,919	37,142	71,061	3.1	572.2
55	22,975	32,853	36,785	69,638	3.0	560.7
56	24,474	33,937	37,507	71,444	2.9	575.2
57	24,457	33,687	37,478	71,165	2.9	573.0
58	24,809	33,753	37,553	71,306	2.9	574.1
59	25,089	33,723	37,599	71,322	2.8	574.3
60	23,655	32,828	37,367	70,195	3.0	564.8
61	25,820	33,876	37,816	71,692	2.7	576.8
62	26,526	34,205	38,248	72,453	2.7	582.9
63	27,018	34,346	38,620	71,966	2.7	587.1
平成元年	27,491	34,465	38,789	73,254	2.7	590.3
2	25,715	33,305	37,918	71,223	2.8	573.9
3	28,405	34,858	39,075	73,923	2.6	595.7
4	28,851	34,930	39,140	74,070	2.6	596.9
5	29,549	35,212	39,593	74,805	2.5	602.8
6	29,623	35,166	39,526	74,692	2.5	601.9
7	27,722	33,875	38,410	72,285	2.6	582.5
8	30,746	35,447	39,891	75,338	2.5	607.1
9	30,923	35,411	39,679	75,090	2.4	605.0
10	31,227	35,411	39,647	75,058	2.4	604.7
11	31,837	35,414	40,021	75,435	2.4	607.8
12	28,539	33,406	38,314	71,720	2.5	577.8
13	32,314	35,283	39,917	75,200	2.3	605.9
14	32,069	35,167	39,554	74,721	2.3	602.0
15	32,696	35,254	39,594	74,848	2.2	603.0
16	33,174	35,356	39,766	75,122	2.3	605.2
17	29,949	33,830	38,605	72,435	2.4	583.5
18	33,971	35,381	39,759	75,140	2.2	605.3
19	34,073	35,205	39,581	74,786	2.2	602.5
20	34,369	35,016	39,476	74,492	2.2	600.1
21	34,575	34,841	39,357	74,198	2.1	597.7
22	30,636	33,279	38,158	71,437	2.3	575.5
23	34,884	34,619	38,946	73,565	2.1	592.6
24	34,860	34,321	38,530	72,851	2.1	586.9
25	34,927	34,071	38,153	72,224	2.1	581.8
26	35,092	33,856	37,838	71,694	2.0	577.6
27	30,478	31,828	36,517	68,345	2.2	550.7
28	35,134	33,143	37,050	70,193	2.0	565.6
29	35,139	32,842	36,645	69,487	2.0	559.9
30	35,109	32,615	36,421	69,036	2.0	556.3
令和元年	35,094	32,146	35,716	67,862	1.9	546.8
2	30,776	30,684	34,845	65,529	2.1	528.0
3	35,174	31,651	35,055	66,706	1.9	537.5
4	35,306	31,271	34,697	65,968	1.9	531.6
5	35,301	30,859	34,139	64,998	1.8	524.1
6	35,234	30,413	33,580	63,993	1.8	516.0
7	35,041	29,824	32,889	62,713	1.8	505.7
8	34,845	29,264	32,363	61,627	1.8	496.9

昭和22年8月10日小室村と合併。
昭和30年4月1日宇佐美村、対島村と合併。
昭和15, 22, 25, 35, 40, 50, 55, 60, 平成2, 7, 12, 17, 22, 27, 令和2年は国勢調査日（10月1日現在）。その他は毎年12月31日現在。ただし令和4年以降は5月31日現在。

3　伊東市の財政

令和８年度 一般会計予算総括表

（単位：千円）

歳入				歳出			
款	本年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	対前年度伸率	款	本年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	対前年度伸率
1 市税	11,474,256	11,146,105	2.9	1 議会費	225,395	213,611	5.5
2 地方譲与税	147,000	147,000	0.0	2 総務費	4,775,630	4,673,803	2.2
3 利子割交付金	13,000	3,000	333.3	3 民生費	11,750,942	11,373,222	3.3
4 配当割交付金	30,000	30,000	0.0	4 衛生費	4,548,610	4,345,362	4.7
5 株式等譲渡所得割交付金	90,000	40,000	125.0	5 労働費	103,873	103,953	△ 0.1
6 法人事業税交付金	150,000	150,000	0.0	6 農林水産業費	254,708	240,414	5.9
7 地方消費税交付金	1,750,000	1,700,000	2.9	7 観光商工費	1,184,883	934,004	26.9
8 ゴルフ場利用税交付金	80,000	80,000	0.0	8 土木費	3,159,363	3,005,604	5.1
9 環境性能割交付金	500	20,000	△ 97.5	9 消防費	1,476,126	1,247,261	18.3
10 地方特例交付金	61,500	30,000	105.0	10 教育費	2,819,979	3,339,915	△ 15.6
11 地方交付税	5,000,000	4,950,000	1.0	11 災害復旧費	70	70	0.0
12 交通安全対策特別交付金	12,000	11,000	9.1	12 公債費	2,235,629	2,310,067	△ 3.2
13 分担金及び負担金	74,053	104,593	△ 29.2	13 諸支出金	14,792	12,714	16.3
14 使用料及び手数料	628,535	656,860	△ 4.3	14 予備費	50,000	50,000	0.0
15 国庫支出金	4,562,392	4,785,048	△ 4.7				
16 県支出金	2,256,083	2,109,869	6.9				
17 財産収入	119,772	54,794	118.6				
18 寄附金	1,006,052	1,006,052	0.0				
19 繰入金	2,903,545	2,597,459	11.8				
20 繰越金	100,000	100,000	0.0				
21 諸収入	740,712	1,053,220	△ 29.7				
22 市債	1,400,600	1,075,000	30.3				
歳入合計	32,600,000	31,850,000	2.4	歳出合計	32,600,000	31,850,000	2.4

※　対前年度伸率　[(a)-(b)]÷(b)

Ⅱ　教育委員会

１　教育委員会

令和８年５月１日現在

役　職	氏　　名	任　　期
教育長	もりしげ　としゆき 森　重　俊　幸	令和11年3月31日
教育長 職務代理者	とおやま　やすのり 遠　山　泰　範	令和11年10月8日
委　員	つじ　めぐみ 辻　恵	令和８年７月31日
委　員	きたおか　ゆうこ 北　岡　ゆうこ	令和9年12月24日
委　員	あきやま　よしてる 秋　山　佳　輝	令和10年9月30日

伊東市教育委員会は法令に基づき、教育長及び４人の委員で構成されている。会議は、毎月１回定例会が、また必要に応じて臨時会が開催され、これによって所管の学校やその他の教育機関の管理、学校教育施設に関する全般的な事務、社会教育、社会体育、学術、文化に関する事務の管理、執行等について本市の実情に即した教育行政が推進されている。これらの教育事務を処理する教育委員会事務局は教育長の指揮監督のもと組織構成され、それぞれの事務を分掌している。

2　歴代教育委員

氏　　名	就任年月日	退任年月日
武　見　　次　郎	昭和 27 年 10 月　6 日	昭和 38 年 10 月　8 日
沼　田　　元　弋	昭和 27 年 10 月　6 日	昭和 31 年　9 月 30 日
山　田　　正　美	昭和 27 年 10 月　6 日	昭和 31 年　9 月 30 日
三　枝　　な　か	昭和 27 年 10 月　6 日	昭和 31 年　9 月 30 日
小　川　　徳太郎 （議会選出）	昭和 27 年 10 月　6 日	昭和 28 年 12 月　7 日
斎　藤　　哲　三 （議会選出）	昭和 28 年 12 月 17 日	昭和 29 年 12 月 23 日
山　本　　増　衛 （議会選出）	昭和 29 年 12 月 27 日	昭和 30 年　9 月 29 日
森　　米次郎 （市村合併宇佐美村）	昭和 30 年　4 月　1 日 昭和 30 年 10 月 12 日	昭和 30 年　9 月 11 日 昭和 31 年　9 月 30 日
石　井　　行　雄 （市村合併対島村）	昭和 30 年　4 月　1 日	昭和 31 年　9 月 30 日
山　田　　義　郎	昭和 31 年 10 月　1 日	昭和 35 年　9 月 30 日
佐　藤　　き　ぬ	昭和 31 年 10 月　1 日	昭和 33 年　9 月 30 日
	昭和 33 年 10 月　9 日	昭和 37 年 10 月　8 日
福　本　　熊　治	昭和 31 年 10 月　1 日	昭和 32 年　9 月 30 日
石　田　　政　治	昭和 32 年 10 月　1 日	昭和 36 年　9 月 30 日
	昭和 36 年 10 月　3 日	昭和 44 年 10 月　2 日
上　原　　正　也	昭和 35 年 10 月　1 日	昭和 43 年　9 月 30 日
稲　葉　　芳　枝	昭和 38 年　7 月　1 日	昭和 42 年　6 月 30 日
塩　地　　正　徳	昭和 38 年 12 月 20 日	昭和 46 年 12 月 24 日
戸　塚　　好　子	昭和 42 年　7 月　1 日	昭和 50 年　6 月 30 日
石　田　　俊	昭和 43 年 10 月　1 日	昭和 51 年　9 月 30 日
柴　田　　武	昭和 44 年 10 月　9 日	昭和 48 年 10 月　8 日
宮　下　　俊一郎	昭和 46 年 12 月 25 日	昭和 54 年 12 月 24 日
稲　葉　　利　勝	昭和 48 年 10 月　9 日	昭和 56 年 10 月　8 日
日　吉　　み　つ	昭和 50 年　8 月　1 日	昭和 58 年　7 月 31 日
山　田　　順　一	昭和 51 年 10 月　1 日	昭和 59 年　9 月 30 日
萩　原　　恒　哉	昭和 54 年 12 月 25 日	昭和 62 年 12 月 24 日
大　川　　保太郎	昭和 56 年 10 月　9 日	平成　5 年 10 月　8 日
髙　橋　　た　か	昭和 58 年　8 月　1 日	平成　3 年　7 月 31 日
片　山　　郁　朗	昭和 59 年 10 月　1 日	平成　4 年　9 月 30 日
外　岡　　壮　亮	昭和 62 年 12 月 25 日	平成　7 年 12 月 24 日

氏　　名	就任年月日	退任年月日
高　野　　ハマ子	平成　3 年　8 月　1 日	平成 11 年　7 月 31 日
遠　山　　博　文	平成　4 年 10 月　1 日	平成 12 年　9 月 30 日
北　岡　　貴　人	平成　5 年 10 月　9 日	平成 13 年 10 月　8 日
齊　藤　　洋	平成　7 年 12 月 25 日	平成 19 年 12 月 24 日
井　原　　優　子	平成 11 年　8 月　1 日	平成 19 年　7 月 31 日
太　田　　功	平成 12 年 10 月　1 日	平成 20 年　9 月 30 日
石　和　　衛	平成 13 年 10 月　9 日	平成 15 年 12 月 31 日
田　中　　智　海	平成 16 年　1 月　1 日	平成 25 年 10 月　8 日
杉　田　　純　子	平成 19 年　8 月　1 日	平成 27 年　7 月 31 日
佐　藤　　潤　一	平成 19 年 12 月 25 日	平成 27 年 12 月 24 日
上　村　　昌　延	平成 20 年 10 月　1 日	平成 28 年　9 月 30 日
井　上　　靖　史	平成 25 年 10 月　9 日	令和　3 年 10 月　8 日
山　本　　香　織	平成 27 年　8 月　1 日	令和　4 年　7 月 31 日
沼　田　　芳　美	平成 27 年 12 月 25 日	令和　5 年 12 月 24 日
村　上　　惠　宏	平成 28 年 10 月　1 日	令和　6 年　9 月 30 日
遠　山　　泰　範	令和　3 年 10 月　9 日	
辻　　恵	令和　4 年　8 月　1 日	
北　岡　　ゆうこ	令和　5 年 12 月 25 日	
秋　山　　佳　輝	令和　6 年 10 月　1 日	

3　歴代教育長

氏　　名	就任年月日	退任年月日
日　吉　　眞　一	昭和 28 年　4 月　1 日	昭和 43 年　9 月 30 日
飯　島　　謙　吾	昭和 43 年 10 月　1 日	昭和 50 年　8 月 31 日
杉　本　　寅　作	昭和 50 年　9 月　1 日	昭和 58 年　3 月 31 日
渡　邊　　武　男	昭和 58 年　4 月　1 日	平成　3 年　3 月 31 日
望　月　　修	平成　3 年　4 月　1 日	平成 14 年 12 月 31 日
佐　藤　　悠	平成 15 年　1 月　1 日	平成 20 年　3 月 31 日
佐々木　　誠	平成 20 年　4 月　2 日	平成 24 年　9 月 30 日
内　山　　義　夫	平成 24 年 10 月　1 日	平成 28 年　7 月　4 日
髙　橋　　雄　幸	平成 28 年　9 月　1 日	令和　7 年　5 月 28 日
森　重　　俊　幸	令和　8 年　4 月　1 日	

4　歴代教育委員長・委員長職務代理者

教育委員長		教育委員長職務代理者	
武見　次郎	S27.11. 1～30.11. 7		
武見　次郎	S30.11. 8～31. 9.30		
山田　義郎	S31.10. 1～33. 9.30	武見　次郎	S31.10. 1～33. 9.30
武見　次郎	S33.10. 1～34.10. 2	山田　義郎	S33.10. 1～34.10. 2
山田　義郎	S34.10. 3～35. 9.30	石田　政治	S34.10. 3～35. 9.30
武見　次郎	S35.10. 1～36. 9.30	石田　政治	S35.10. 1～36. 9.30
武見　次郎	S36.10. 3～38.11. 6	上原　正也	S36.10. 3～38.11. 6
上原　正也	S38.11. 7～39. 9.30	石田　政治	S38.11. 7～39. 9.30
石田　政治	S39.10. 1～40. 9.30	塩地　正徳	S39.10. 1～40. 9.30
石田　政治	S40.10. 3～41.10. 2	塩地　正徳	S40.10. 1～41.10. 2
塩地　正徳	S41.10.11～42.10.10	上原　正也	S41.10.11～42.10.10
上原　正也	S42.10.11～43. 9.30	石田　政治	S42.10.12～43. 9.30
石田　政治	S43.10. 1～44. 9.30	塩地　正徳	S43.10. 1～44. 9.30
塩地　正徳	S44.10.11～45.10.10	戸塚　好子	S44.10.11～46. 6.30
塩地　正徳	S45.10.11～46.10.10	石田　俊	S46. 7. 1～46.10.10
石田　俊	S46.10.11～47.10.10	柴田　武	S46.10.11～47.10.10
石田　俊	S47.10.11～48. 9.30	柴田　武	S47.10.11～48. 9.30
宮下　俊一郎	S48.10. 9～49.10. 8	石田　俊	S48.10. 9～49.10. 8
宮下　俊一郎	S49.10. 9～50.10. 8	石田　俊	S49.10. 9～50.10. 8
石田　俊	S50.10. 9～51. 9.30	稲葉　利勝	S50.10. 9～51. 9.30
稲葉　利勝	S51.10. 1～52.10. 8	宮下　俊一郎	S51.10. 1～52.10. 8
宮下　俊一郎	S52.10. 9～53.10. 8	山田　順一	S52.10. 9～53.10. 8
山田　順一	S53.10. 9～54.10. 8	稲葉　利勝	S53.10. 9～54.10. 8
稲葉　利勝	S54.10. 9～55.10. 8	山田　順一	S54.10. 9～55.10. 8
山田　順一	S55.10. 9～56.10.13	萩原　恒哉	S55.10. 9～56.10.13
萩原　恒哉	S56.10.14～57.10.13	山田　順一	S56.10.14～57.10.13
山田　順一	S57.10.14～58.10.13	大川　保太郎	S57.10.14～58.10.13
大川　保太郎	S58.10.14～59.10.13	萩原　恒哉	S58.10.14～59.10.13
萩原　恒哉	S59.10.14～60.10.13	高橋　たか	S59.10.14～60.10.13
大川　保太郎	S60.10.14～61.10.13	片山　郁朗	S60.10.14～61.10.13
片山　郁朗	S61.10.14～62.10.13	萩原　恒哉	S61.10.14～62.10.13
高橋　たか	S62.10.14～63.10.13	大川　保太郎	S62.10.14～63.10.13
大川　保太郎	S63.10.14～H元10.13	外岡　壮亮	S63.10.14～H元10.13
外岡　壮亮	H元.10.14～ 2.10.13	片山　郁朗	H元.10.14～ 2.10.13
片山　郁朗	H 2.10.14～ 3.10.13	高橋　たか	H 2.10.14～ 3. 7.31
		大川　保太郎	H 3. 8.19～ 3.10.13

教育委員長		教育委員長職務代理者	
大川　保太郎	H 3.10.14～ 4.10.21	外岡　壮亮	H 3.10.14～ 4.10.21
外岡　壮亮	H 4.10.22～ 5.10.21	高野　ハマ子	H 4.10.22～ 5.10.21
高野　ハマ子	H 5.10.22～ 6. 9.30	遠山　博文	H 5.10.22～ 6. 9.30
遠山　博文	H 6.10. 1～ 7. 9.30	北岡　貴人	H 6.10. 1～ 7. 9.30
北岡　貴人	H 7.10. 1～ 9. 9.30	外岡　壮亮	H 7.10. 1～ 7.12.25
		高野　ハマ子	H 8. 1.17～ 9. 9.30
高野　ハマ子	H 9.10. 1～11. 7.31	遠山　博文	H 9.10. 1～11. 7.31
遠山　博文	H11. 8. 1～12. 9.30	齊藤　洋	H11. 8. 1～12. 9.30
齊藤　洋	H12.10. 1～14. 9.30	井原　優子	H12.10. 1～14. 9.30
井原　優子	H14.10. 1～16. 9.30	太田　功	H14.10. 1～16. 9.30
太田　功	H16.10. 1～18. 9.30	田中　智海	H16.10. 1～18. 9.30
田中　智海	H18.10. 1～23. 9.30	齊藤　洋	H18.10. 1～19. 9.30
		太田　功	H19.10. 1～20. 9.30
		杉田　純子	H20.10. 1～23. 9.30
杉田　純子	H23.10. 1～25. 9.30	佐藤　潤一	H23.10. 1～25. 9.30
佐藤　潤一	H25.10. 1～26. 9.30	上村　昌延	H25.10. 1～26. 9.30
上村　昌延	H26.10. 1～27. 9.30	井上　靖史	H26.10. 1～27. 9.30
井上　靖史	H27.10. 1～28. 7. 4	上村　昌延	H27.10. 1～28. 7. 4

教育長		教育長職務代理者	
―	―	井上　靖史	H28. 7. 5～28. 8.31
髙橋　雄幸	H28. 9. 1～R 7. 5.28	井上　靖史	H28. 9. 1～R 3.10. 8
		村上　惠宏	R 3.10. 9～R 6. 9.30
		遠山　泰範	R 6.10. 1～R 7. 5.28
―	―	遠山　泰範	R 7. 5.29～R 8. 3.31
森重　俊幸	R 8. 4. 1～	遠山　泰範	R 8. 4. 1～

※　「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」（平成26年法律第76号。平成27年4月1日施行）により、本市では平成28年7月5日から、教育長が教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表することとなった。
　ただし、平成28年7月5日から平成28年8月31日まで、及び令和7年5月29日から令和8年3月31日までは教育長が不在だったため、その間は教育長職務代理者が教育長の職務を代理した。

５　令和７年度 教育委員会定例会等議題

開催年月日	定例会・臨時会の議題及びその他報告事項等
４月定例会 令和７年 ４月 23 日(水)	1　伊東市公民館運営審議会委員兼社会教育委員の委嘱について 2　令和７年度教育指導課指導の重点について 3　伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針）（案）について 4　令和７年度　伊東市教育委員会の組織機構等について 5　令和７年度　小中学校、幼稚園・保育園一覧表について 6　令和７年度　児童・生徒・園児数について 7　第１回課長会議（「未来を拓く」マネジメントディスカッション）の報告 8　常任福祉文教委員会協議会の報告について（令和７年３月２４日招集） 9　常任福祉文教委員会協議会の報告について（令和７年４月４日招集） 10　各課報告
５月定例会 令和７年 ５月 23 日(金)	1　令和７年度実施　伊東市教育機関職員採用試験について 2　伊東市公立学校職員の自家用車の公務使用に関する取扱要綱の一部を改正する要綱 3　伊東市公立学校職員の自家用車の公務使用に関する要領の一部を改正する要領 4　伊東市共同学校事務室組織運営規程の一部を改正する規程 5　旅館業法第３条第４項に基づく意見について 6　旅館業法第３条第４項に基づく意見について 7　各課報告
５月臨時会 令和７年 ５月 28 日 (水)	1　教育長の辞職の同意について
６月定例会 令和７年 ６月 26 日(木)	1　令和７年度夏季休業中における児童生徒の指導上の留意事項について 2　市議会６月定例会の報告について 3　各課報告
７月定例会 令和７年 ７月 28 日(月)	1　伊東市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について 2　夏季休業期間中における教職員の服務及び学校施設等の管理について 3　夏季休業期間中における教職員の服務及び幼稚園施設等の管理について 4　社会体育施設の使用料減免割合の基準について 5　生涯学習センター冷暖房使用料の取扱いについて 6　市議会６月定例会の報告について 7　各課報告
８月定例会 令和７年 ８月 25 日(月)	1　伊東市青少年補導センター設置規則及び伊東市議会議員等の報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例に基づくその他特別職の非常勤職員の報酬支給規則の一部を改正する規則について 2　常任福祉文教委員会協議会の報告について 3　各課報告
９月定例会 令和７年 ９月 30 日(火)	1　伊東市教育委員会教育長職務代理者等に関する規則について 2　伊東市文化財保護審議会委員の委嘱について 3　伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針）（案）について 4　各課報告
10 月定例会 令和７年 10 月 29 日(水)	1　令和８年度重点化事業及び新規事業について 2　伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針　旧市街地地区（北中学校再編版））について 3　各課報告

開催年月日	定例会・臨時会の議題及びその他報告事項等
11月定例会 令和７年 11月27日(木)	1　伊東市学校給食センター給食用物資調達取扱要綱の一部を改正する告示について 2　各課報告
12月定例会 令和７年 12月22日(月)	1　令和７年度冬季休業期間中における児童生徒の指導上の留意事項について 2　令和７年度冬季休業期間中における教職員の服務及び学校施設等の管理について 3　令和７年度冬季休業期間中における教職員の服務及び幼稚園施設等の管理について 4　令和８年度教職員人事異動の重点について 5　伊東市公立学校処務規程の一部を改正する規程 6　伊東市公立学校学籍事務取扱要領の一部を改正する要領 7　伊東市公立学校出席簿取扱要領の一部を改正する要領 8　令和７年度実施　伊東市教育機関職員採用試験について 9　市議会１２月定例会の報告について 10　各課報告
１月定例会 令和８年 １月26日(月)	1　令和６年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書について 2　伊東市伝統文化育成事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について 3　市議会臨時会の報告について 4　各課報告
２月定例会 令和８年 ２月19日(木)	1　県費負担教職員人事に関する内申について 2　令和８年度小・中学校の児童及び生徒数について 3　令和８年度保育園・幼稚園の園児数について 4　伊東市立図書館の特別開館について 5　市議会令和８年３月定例会提出の教育委員会関係議案（条例案）に対する意見聴取について 6　令和８年度伊東市一般会計予算（教育関係）に関する意見聴取について 7　各課報告
３月定例会 令和８年 ３月26日(木)	1　伊東市教育委員会指導主事等設置規則の一部を改正する規則について 2　伊東市立学校給食センターにおける学校給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について 3　伊東市公立学校管理規則の一部を改正する規則について 4　令和８年度学校運営協議会委員推薦書について 5　伊東市立幼稚園における給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について 6　令和７年度学年末休業及び令和８年度学年始休業における児童生徒の指導上の留意事項について 7　春季休業期間中における教職員の服務及び学校施設等の管理について 8　春季休業期間中における教職員の服務及び幼稚園施設等の管理について 9　伊東市教育・保育施設連絡調整協議会規則について 10　伊東市教育・保育施設に係る検討委員会設置要綱について 11　伊東市立幼稚園の学級編成の基準の一部を改正する基準について 12　伊東市立幼稚園の貸し出しについて 13　令和８年度小・中学校職員（市職員）及び幼稚園・保育園職員の人事異動について 14　令和８年度小・中学校教職員の人事異動について 15　市議会３月定例会（大綱質疑・一般質問・補正予算）の報告について 16　各課報告

6　総合教育会議

総合教育会議は、平成２７年４月１日に改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により設置が定められたもので、市長が招集し市長と教育委員会により構成される。

総合教育会議は市長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議調整の場であり、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としている。

総合教育会議の主な役割は、教育行政の大綱の策定、教育の条件整備等の重点的に講ずべき施策の協議及び児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき施策の協議とされており、令和７年度は４月２３日及び１０月２９日に開催した。

第１回

⑴　日　時　　令和７年４月２３日（水）　午後３時３０分～午後４時２０分

⑵　場　所　　伊東市役所高層棟７階特別会議室

⑶　出席者　　伊東市長　小野達也　　教育長　髙橋雄幸
教育委員　遠山泰範　　教育委員　辻　恵
教育委員　北岡ゆうこ　教育委員　秋山佳輝

⑷　事務局　　教育部長　西川豪紀　　次長兼教育総務課長　杉山宏生
教育指導課長　森田まり　　幼児教育課長　鈴木慎一
生涯学習課長　山下匡弘
企画部長　近持剛史　　企画課長　菊地貴臣
教育総務課課長補佐　石川貴士　　同課長補佐　二宮　悠
同課長補佐　掬川宗範

⑸　議　題　　①　伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針）（案）について
②　その他

⑹　傍聴者　　４人

第２回

⑴　日　時　　令和７年１０月２９日（水）午後１時３０分～午後２時２５分

⑵　場　所　　伊東市役所高層棟８階大会議室

⑶　出席者　　伊東市長　田久保眞紀
教育長職務代理者　遠山泰範　　教育委員　辻　恵
教育委員　北岡ゆうこ　　教育委員　秋山佳輝

⑷　事務局　　教育部長　西川豪紀　　次長兼教育総務課長　杉山宏生
教育指導課長　森田まり　　幼児教育課長　鈴木慎一
生涯学習課長　山下匡弘
企画部長　近持剛史　　企画課長　菊地貴臣
教育総務課課長補佐　石川貴士　　同課長補佐　掬川宗範
同主幹　藤原真紀

⑸　議　題　①　伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針）（案）について
②　伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針　旧市街地地区（北中学校再編版））（案）について
③　その他

⑹　傍聴者　　２人

Ⅲ　教育行財政

１　令和８年度伊東市教育行政の基本方針について

伊東市教育委員会は、第五次伊東市総合計画の政策目標である「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」の実現を目指し、国際的な視野を持ち、自ら学ぶ生涯学習の理念に立った基本方針を次のように定めます。

また、地域住民の意向を反映した教育行政の推進に向け、総合教育会議における市長との協議、県教育委員会や関係機関等との連携や伊東市教育大綱を踏まえた夢と希望を育む様々な施策の推進を通じ、本市教育の活性化と発展に一層力を入れ、市民の期待と信頼に応えるよう努めます。

⑴　夢と希望をもつ子どもの育成に努めます。

ア　社会や実生活で生きて働く知識、技能を身に付け、多様な他者と協働して課題を解決するなど、未知の状況にも柔軟に対応できる思考力、判断力、表現力を育むことで「学びに向かう力」を高めます。

イ　社会性を育むとともに、子どもたちの自己肯定感・自己有用感を高め、規範意識や忍耐力、思いやりの心、確かな人権感覚など、「人として備えたい力」が確実に身に付くようにします。

ウ　危険を未然に回避する力や危機対応力の向上、健康的な生活習慣の定着を図り、「命を守る力」を育成します。

⑵　夢と希望を育む園・学校の基盤を大切にします。

ア　個の多様性や価値観を尊重した柔軟な教育体制を確立し、子どもたちの安全・安心を守り、「生きる力」を育む学校づくりを目指します。

イ　学校、家庭、地域で「情報」「課題」「ビジョン」の共有を図り、連携・協働しながらコミュニティ・スクールの推進など、地域とともにある学校づくりを進めます。

ウ　良好な教育環境を確保するため、小中学校校舎照明設備ＬＥＤ化を整備するとともに、計画的な設備改修による施設維持や安全管理に努めます。

エ　教育ＤＸを推進するため、データやデジタル技術の活用や情報モラル教育の充実を図ります。

オ　「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針　旧市街地地区（北中学校再編版）」に基づき、北中学校を再編し、学校環境の整備を進めます。

カ　デジタル教材を効果的に活用した「個別最適な学び」・「協働的な学び」を推進するために、ＩＣＴ環境の整備に努めます。

キ　安全･安心で魅力のある学校給食を提供し、給食を通じた食育の推進を図ります。

ク　質の高い幼児教育、保育サービスを提供するとともに、安心して楽しく子育てができるよう子育て環境の向上を図り、保護者から選ばれる園づくりに努めます。

ケ　施設の老朽化の課題を抱える保育園と園児数減少の課題を抱える幼稚園との統合による認定こども園化について、施設の設置と開園に向けた教育及び保育内容の検討を進めてまいります。

コ　教職員が園児・児童・生徒と向き合う時間を確保するため、園・学校の働き方改

革を推進します。

⑶　園・学校の危機管理体制の徹底及び防災教育の推進に努めます。

ア　学校事故や自然災害に対し、学校が組織的に取り組めるよう、危機管理マニュアルや防災計画の見直しや作成を支援します。

イ　園・学校と市教育委員会が正確・迅速に情報を共有し、関係機関と連携して対応します。

ウ　各校における危機管理体制の強化を図るため、「学校防災研修会」及び「学校安全対策委員会」を開催します。

エ　児童・生徒が「自らの判断で最善の行動を選択する力」を身に付けるため、防災教育を推進するとともに、自然災害（津波を含む）や火災発生を想定した効果的な避難訓練を実施します。

オ　幼稚園、保育園において、地震、津波、風水害、交通安全などの各種対応マニュアルの点検、改善を行い、防災力の向上に努めます。

⑷　文化を高め教養を豊かにする生涯学習の場の充実と質の向上を目指して、地域、家庭、学校が相互につなぎ合って活性化していくよう支援するとともに、市民が安全・安心かつ快適に利用できるよう各施設の整備を進めます。

ア　市民が生涯を通じ自由に学ぶことができるよう、時代に即した快適な施設サービスを提供するとともに、老朽化対策に向けた調査等、利用者の安全確保と施設の長寿命化を図ります。

イ　人間形成の基盤となる家庭教育を、すべての親が安心して行えるよう支援します。

ウ　図書館協議会の設置や司書の適正配置などで図書館施策を充実させ、読書活動を支援するとともに、白紙となった新図書館の整備については、市民の意見を踏まえスピード感を持って実現に向けた検討を進めてまいります。

エ　市民及び団体が自主的にスポーツ活動に取り組むことができるよう、情報発信や体育施設の長寿命化に努めます。また、健康・体力づくり教室等を充実し、「市民一人一スポーツ」の実現と、生涯にわたる健康維持の支援を進めます。

オ　文化協会を始めとする市内関係団体との連携を強化し、文化活動に対する支援の充実を進め、「市民一人一文化」の実現を目指します。

カ　歴史講座等を通じた市民の学習機会を創出するとともに、貴重な文化財の保護と歴史資料の公開及び活用に努め、後世への伝承と郷土への愛着を育みます。

キ　地域、家庭、学校が連携して行う地域学校協働活動の継続的な実施及び拡大を目指すとともに、集団的な体験学習や地域と連携した各種活動等を通じて、青少年の健全育成を図ります。

⑸　目的指向の行財政運営に努め、社会の変化に対応した活気ある教育行政の展開、職員の人材育成を目指します。

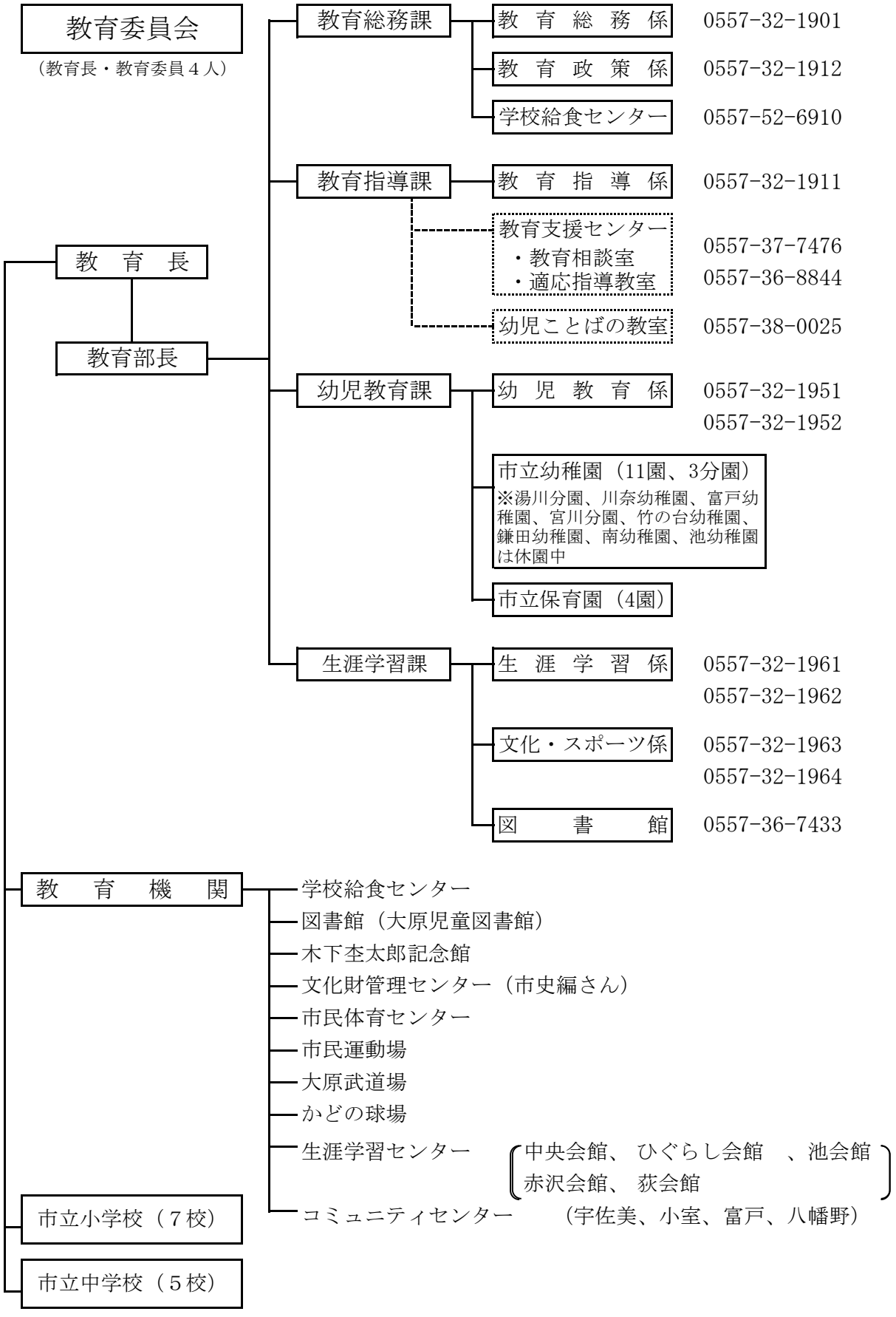
ア　事務局組織の機動力を高めるため、「報告・連絡・相談」の再確認や、市長部局及び関係機関との連携を深め、迅速で的確な事業推進に努めます。

イ　事務局内組織や事業、予算の執行・編成等の見直しを絶えず図り、市の将来を担う人材育成に努めます。

⑹　上記⑴から⑸までの方針について、評価の観点を明確にした自己点検と学識経験者の知見を活用した年度末評価を行います。その評価を踏まえ、次年度の教育課題や方向性を明確にします。

２　令和８年度 伊東市教育委員会の組織機構

所在地　伊東市大原二丁目１番１号　代表電話　0557-36-0111
ＦＡＸ　0557-37-8117



3　教育委員会業務分掌

⑴　教育総務課の分掌事務

教育総務係

①　教育委員会その他の会議の招集及び議案に関すること。
②　条例、規則及び規程に関すること。
③　告示及び令達に関すること。
④　公印の管守に関すること。
⑤　褒章及び表彰に関すること。
⑥　職員の人事、服務、給与、研修及び福利厚生に関すること。
⑦　交際に関すること。
⑧　学校基本調査に関すること。
⑨　各課の連絡調整に関すること。
⑩　所掌事務に係る広報及び教育行政に関する相談に関すること。
⑪　教職員住宅に関すること。
⑫　寄附に関すること。
⑬　所管の教育財産に関すること。
⑭　小、中学校の財務及び施設の維持管理に関すること。
⑮　県費教職員に関わる叙勲の提出に関すること。
⑯　課内の庶務及び財務に関すること。
⑰　総合教育会議に関すること。
⑱　小、中学校施設の危機管理に関すること。
⑲　その他、他の課に属さない事項に関すること。

教育政策係

①　通学区域の設定及び改廃に関すること。
②　所管の教育機関の設置廃合に関すること。
③　学校給食に関すること。
④　就学奨励に関すること。
⑤　育英奨学金に関すること。

学校給食センター

学校給食センターの管理及び運営に関すること。

⑵　教育指導課の分掌事務

教育指導係

①　学籍に関すること。
②　学級編制に関すること。
③　教育課程の作成に関すること。
④　教科内容の取扱いに関すること。
⑤　教科書及び教科用図書の採択に関すること。
⑥　教材及び教具の選択に関すること。
⑦　学校評価に関すること。
⑧　学校経営に関すること。

⑨　教職員の服務及び研修に関すること。
⑩　学習指導及び生徒指導に関すること。
⑪　いじめ防止対策に関すること。
⑫　学校教育各種行事に関すること。
⑬　学校図書館に関すること。
⑭　教育研究団体の指導及び助成に関すること。
⑮　学校保健に関すること。
⑯　日本スポーツ振興センターに関すること。
⑰　教育相談に関すること。
⑱　就学指導に関すること。
⑲　退職校長の人事台帳の管理編成に関すること。
⑳　課内の庶務及び財務に関すること。
㉑　小、中学校の児童、生徒に対する危機管理に関すること。

⑶　幼児教育課の分掌事務

幼児教育係

①　保育業務の運営指導に関すること。
②　幼稚園の財務及び施設に関すること。
③　幼稚園給食に関すること。
④　私立幼稚園の助成に関すること。
⑤　保育園の財務及び施設に関すること。
⑥　民間保育所に関すること。
⑦　保育料等に関すること。
⑧　所管施設の設置廃合に関すること。
⑨　所管職員の人事に関すること。
⑩　地域子育て支援センターの管理及び運営に関すること。
⑪　放課後児童健全育成事業に関すること。
⑫　伊東市幼児施設連絡調整協議会に関すること。
⑬　保育園、幼稚園の施設及び園児に対する危機管理に関すること。
⑭　子ども・子育て会議に関すること。
⑮　子ども・子育て支援事業計画に関すること。
⑯　子ども・子育て支援法(平成 24 年法律第 65 号)に係る子どものための教育・保育給付及び子育てのための施設等利用給付に関すること。
⑰　特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者の確認、指導等に関すること。
⑱　特定子ども・子育て支援施設等の確認に関すること。
⑲　社会福祉法人の指導監査及び設立認可等に関すること。
⑳　課内の庶務及び財務に関すること。

幼稚園

幼稚園の管理運営に関すること。

保育園

保育園の管理運営に関すること。

⑷　生涯学習課の分掌事務

生涯学習係

①　社会教育委員会その他の会議に関すること。
②　社会教育団体等の指導育成に関すること。
③　生涯学習に係る調査、企画、研究並びに総合調整に関すること。
④　生涯学習施設、公民館等の管理及び運営に関すること。
⑤　生涯学習情報の収集及び交換並びに生涯学習情報刊行物の発行に関すること。
⑥　成人教育等に関すること。
⑦　視聴覚教育に関すること。
⑧　家庭教育学級に関すること。
⑨　コミュニティ活動に関すること。
⑩　女性教育並びに女性団体の指導育成及び指導者養成に関すること。
⑪　青少年問題協議会に関すること。
⑫　青少年補導センターに関すること。
⑬　青少年教育並びに青少年団体の指導育成及び指導者養成に関すること。
⑭　青少年教育施設に関すること。
⑮　課内の庶務及び財務に関すること。
⑯　生涯学習課所管施設の危機管理に関すること。

文化・スポーツ係

①　市史関係資料の調査、収集及び保存に関すること。
②　市史の編集及び刊行に関すること。
③　伊東市史編さん委員会に関すること。
④　埋蔵文化財の発掘調査及び管理に関すること。
⑤　文化財の保護に関すること。
⑥　芸術文化活動に関すること。
⑦　木下杢太郎記念館の管理及び運営に関すること。
⑧　文化財管理センターの管理及び運営に関すること。
⑨　文化財保護審議会に関すること。
⑩　文化振興会議に関すること。
⑪　生涯スポーツの企画立案及び指導普及に関すること。
⑫　スポーツ推進委員に関すること。
⑬　スポーツ関係団体の指導育成に関すること。
⑭　スポーツ施設の整備、管理及び運営に関すること。
⑮　学校施設の利用に関すること。
⑯　その他スポーツに関すること。

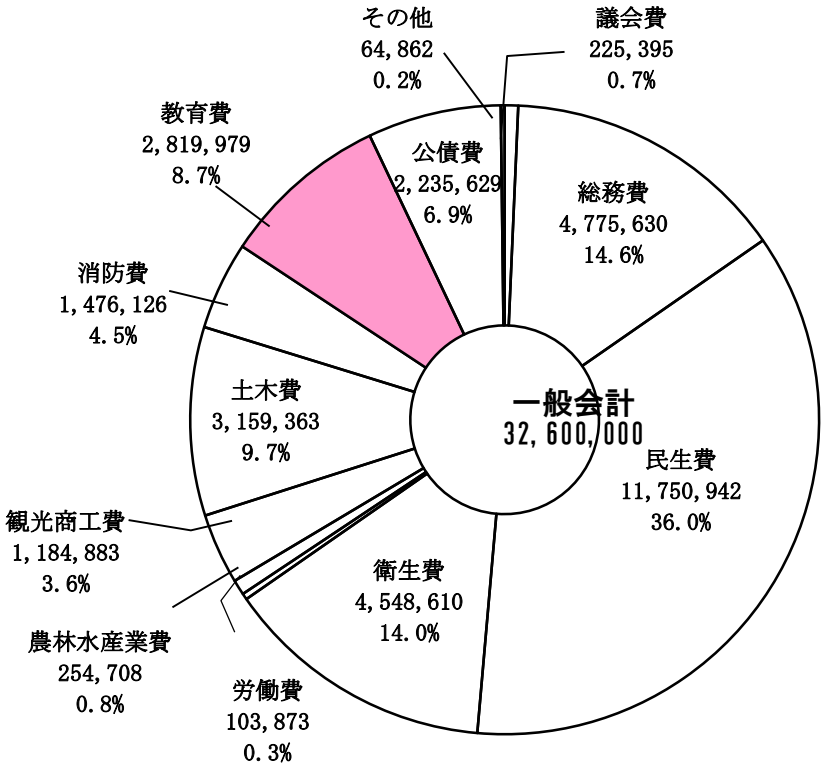
図書館

図書館の管理運営に関すること。

4　教育予算

令和８年度一般会計に占める教育費の割合（当初予算）

（単位：千円）



一般会計に占める教育費の推移（当初予算）

（単位：千円）

年　度	一 般 会 計 予 算	教 育 費 予 算	割　合　％
平成16年度	22,930,000	1,891,969	8.3
17	21,810,000	1,831,856	8.4
18	21,029,800	1,801,999	8.6
19	21,677,000	1,699,342	7.8
20	21,310,000	1,705,052	8.0
21	20,980,000	1,758,320	8.4
22	22,474,000	1,642,997	7.3
23	22,880,000	1,658,345	7.2
24	22,050,000	1,577,696	7.2
25	24,050,000	1,632,045	6.8
26	23,660,000	1,726,455	7.3
27	25,400,000	3,018,473	11.9
28	25,660,000	2,371,483	9.2
29	25,700,000	2,283,203	8.9
30	25,610,000	2,171,792	8.5
令和元年度	26,420,000	2,160,208	8.2
2	27,480,000	2,898,852	10.5
3	27,270,000	2,878,552	10.6
4	27,150,000	2,470,560	9.1
5	28,300,000	2,954,046	10.4
6	29,520,000	2,829,934	9.6
7	31,850,000	3,339,915	10.5
8	32,600,000	2,819,979	8.7

令和８年度教育費目別予算（当初予算）

（単位：千円）

科目		予算額	左記の財源内訳		前年度	前年度
項	目		特定財源	一般財源	当初予算額	対比率
教育総務費	教育委員会費	1,510	0	1,510	1,501	100.6
	事務局費	191,689	37	191,652	191,066	100.3
	教育指導費	215,580	11,118	204,462	197,180	109.3
	育英奨学費	74,225	39,879	34,346	70,611	105.1
小学校費	学校管理費	334,113	62,595	271,518	536,027	62.3
	学校建設費	21,207	0	21,207	180,227	11.8
中学校費	学校管理費	219,597	23,898	195,699	327,771	67.0
	学校建設費	15,000	12,405	2,595	30,000	50.0
幼稚園費	幼稚園管理費	513,908	80,705	433,203	482,583	106.5
社会教育費	社会教育総務費	131,930	50,878	81,052	108,674	121.4
	生涯学習推進費	125,753	40,860	84,893	122,149	103.0
	図書館費	98,828	5,779	93,049	289,176	34.2
	木下杢太郎記念館費	4,713	600	4,113	4,379	107.6
	文化財保護費	42,077	6,809	35,268	47,540	88.5
保健体育費	学校保健体育費	28,404	1,163	27,241	29,888	95.0
	社会体育費	209,340	130,608	78,732	158,019	132.5
	学校給食費	592,105	192,050	400,055	563,124	105.1
合計		2,819,979	659,384	2,160,595	3,339,915	84.4

総務費

科目		予算額	左記の財源内訳		前年度	前年度
項	目		特定財源	一般財源	当初予算額	対比率
総務管理費	コミュニティ振興費	96,889	44,138	52,751	58,270	166.3

民生費（放課後児童クラブ・保育園）

科目		予算額	左記の財源内訳		前年度	前年度
項	目		特定財源	一般財源	当初予算額	対比率
児童福祉費	児童福祉総務費	135,216	92,886	42,330	124,662	108.5
	児童福祉施設費	2,105,221	811,902	1,293,319	2,031,358	103.6

５　令和８年度　教育関係主要事業

（款）　教育費　　◎は新規事業　☆は拡充事業　　〔単位：千円〕

事　業　名	金　額	事　業　内　容　等
☆要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	22,571	経済的理由により就学困難な児童生徒及び入学予定者の保護者に対する支援
◎小学校屋上防水事業	15,000	児童の安全安心な学習環境を確保するため、大池小学校校舎屋上部分の防水シートを改修する事業
◎学校統合環境整備事業	28,816	令和９年３月の北中学校閉校に伴う式典や主たる転校先となる南中学校の施設整備等を実施する事業
◎中学校照明設備ＬＥＤ化事業	15,000	対島中学校の照明設備をＬＥＤ化する事業
☆幼稚園デリバリー給食助成事業	2,212	八幡野幼稚園の給食費と均衡を図り保護者の負担を軽減するため、３・４歳児のデリバリー給食費について一部を市が負担する事業
◎幼稚園園舎照明設備ＬＥＤ化事業	7,000	幼稚園園舎の照明設備をＬＥＤ化する事業。令和８年度は荻幼稚園、八幡野幼稚園及び伊東幼稚園の３園で実施する。
◎防犯パトロール車購入事業	1,400	維持管理コストの削減及び安全性の向上のため、老朽化が進行している防犯パトロール車を更新する事業
◎生涯学習センター照明設備ＬＥＤ化事業	3,400	生涯学習センター池会館の照明設備をＬＥＤ化する事業
◎生涯学習センター無線ＬＡＮ環境整備事業	6,500	多様化する市民ニーズに対応するため、生涯学習センター池会館及び赤沢会館に公衆無線ＬＡＮを整備し、利用者の利便性の向上を図る事業
◎図書館協議会事業	149	図書館サービス運営の向上を図るため、図書館の基本的な運営方針やサービスに関して、幅広く意見を伺う図書館協議会を設置する事業
◎移動図書館車購入事業	5,731	現在の大型移動図書館車「ともだち号」では通行困難な地域へのサービスを拡充するため、小型移動図書館車を導入する事業
◎文化財管理センター駐車場整備事業	4,011	来館者の利便性を高めるほか、旧竹の台幼稚園のペット避難所としての機能向上を図るため、駐車場を整備する事業
◎かどの球場照明設備ＬＥＤ化事業	80,000	かどの球場の照明設備をＬＥＤ化する事業
◎かどの球場防球ネット改修事業	3,500	安全性の向上を図るため、かどの球場防球ネット及びネットを支える金属ワイヤー損傷部分の改修を行う事業

◎市民運動場ベンチ屋根設置事業	5,500	令和３年度に設置された市民運動場客席ベンチには日差しを遮る屋根がないことから、近年の気象状況に鑑み猛暑対策として屋根を設置する事業
◎学校開放ＤＸ化事業	4,939	学校施設利用者の利便性を向上させ、学校管理者の負担を軽減するため、ＬＩＮＥによる利用申請及び使用料の支払いができるシステムを導入し、鍵収受用の Wi-Fi 利用専用キーボックスを設置する事業
◎学校給食代替対応補助事業	812	食物アレルギー等の事情で学校給食を食べることが出来ず、弁当を持参している児童生徒がいる保護者に対して、給食費分を補助する事業
学校給食地産地消推進事業	11,447	地場産の食材を使用した給食を提供する事業
学校給食費無償化事業	222,977	子育て世帯の負担軽減のため、市内の小・中学校に通う児童・生徒の給食費を無償化する事業

（款） 総務費

事　業　名	金　額	事　業　内　容　等
◎コミュニティセンター改修事業	44,500	利用者の利便性の向上と施設の長寿命化を図るため、富戸コミュニティセンタートイレ改修工事、小室コミュニティセンター体育室空調設置工事及び宇佐美コミュニティセンター外壁補強防水工事を実施する事業

6　伊東市育英奨学制度

本市の奨学金制度は、優秀でありながら学資の支弁が困難な学生（生徒）に対し、有為な人材育成を目的として、学資の一部を支弁することとしている。

国の給付型奨学金創設を受け、平成２９年度からは給付型奨学生の採用を終了し、それに代えて、奨学金月額の増額及び入学一時金の新設を行うとともに、卒業後伊東市内に居住している場合は返還金の２分の１を免除するインセンティブ（Ｕターン支援）制度を設け、制度の充実を図った。

育英奨学事業

募集時期	毎年４月
募集方法	一般募集・校長推薦
採用条件	・市内に居住する者又はその子弟で高校、大学等に在学中
	・心身健全、成績優良で学資支弁が困難
選考方法	書類選考
奨学金の種類	貸与（次の金額はいずれも上限額） 月額奨学金　高校生等　30,000 円　大学生等　50,000 円 入学一時金　高校生等 300,000 円　大学生等 600,000 円
決定人員	令和７年度新規　　高校生０人　大学生等１５人
	前年度からの継続　貸与　高校生等０人　大学生等５３人
交付期間	入学から卒業までの正規の修業期間
返還方法	卒業後１年経過後から１０年割賦で返還

奨学金の改定変遷

年　度	高校生等	大学生等	備　　考
昭和２６年	５００円	１，８００円	奨学金制度開始
昭和２７年	８００円		
昭和２９年		２，１００円	
昭和３５年			規則化
昭和３６年	１，０００円		
昭和４３年	１，５００円		
昭和４５年		３，０００円	
昭和４６年	３，０００円	５，０００円	
昭和４９年	５，０００円	１０，０００円	
平成 元 年	８，０００円	１５，０００円	
平成 ３ 年	１０，０００円	２０，０００円	基金設置、給付制度新設
平成２９年	３０，０００円	５０，０００円	給付採用終了、半額免除新設

育英奨学基金（令和７年度末現在）

区　　分	６年度末現在高	７年度中増減	７年度末現在高
現金預金	49,269,859 円	110,807 円	49,380,666 円

Ⅳ　学校施設管理

１　学校施設管理

本市教育委員会の管理学校数は、幼稚園１４園（ただし、伊東幼稚園湯川分園、川奈幼稚園、富戸幼稚園、宇佐美幼稚園宮川分園、竹の台幼稚園、鎌田幼稚園、南幼稚園及び池幼稚園は休園中)、小学校７校、中学校５校である。

市立幼稚園では、３～５歳児の入園希望者全員の入園を実施している。

３歳児保育については、平成１１年６月に川奈幼稚園で試行実施を行い段階的に推進し、平成１２年度は宇佐美幼稚園、富戸幼稚園の２園において実施したほか、平成１３年度は宇佐美幼稚園宮川分園、南幼稚園と同園の富士見分園において実施、平成１４年度は竹の台幼稚園で実施、平成１５年度は鎌田幼稚園、荻幼稚園で実施、平成１６年度は伊東幼稚園、同園湯川分園、池幼稚園で実施、平成１７年度は吉田幼稚園において実施、平成２０年度は八幡野幼稚園で実施され、現在は、休園中の２園を除いた全６園で行っている。

また、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、幼稚園児の父母の就労支援を目的とした預かり保育を、平成２８年度に宇佐美幼稚園及び八幡野幼稚園において実施し、平成２９年度から荻幼稚園、平成３０年度から富士見分園、令和元年５月から伊東幼稚園において実施している。

園児数の動向については、依然として続く出生率の低下により、昭和４８年度の２，０２３人から年々減少し、令和８年度はピーク時の５．５％となる１１１人にまで減少し、少子化に歯止めがかかっていない。

なお、竹の台幼稚園新井分園を平成２８年４月１日を以て、伊東幼稚園湯川分園、竹の台幼稚園、川奈幼稚園、富戸幼稚園、宇佐美幼稚園宮川分園及び鎌田幼稚園を令和８年７月１日を以て廃園とした。

小学校児童数は、昭和５４年度の７，４２２人をピークに減少が続き、令和８年度はピーク時の２４．１％となる１，７８９人となっている。

また、中学校生徒数は昭和５７年度の３，６９６人をピークに減少が続き、令和８年度はピーク時の３０．７％となる１,１３５人となっている。

令和７年度の施設工事については、小中学校の特別教室空調設備設置工事及び南小学校の校舎外壁改修工事を行った。

平成２８年７月に学校給食センターが完成し、２学期から給食の提供を開始した。これにより、小中学校全校で完全給食が実施された。

小学校では、令和３年４月に川奈小学校と南小学校を統合した。

また、令和５年４月に東小学校・西小学校・旭小学校を統合、旧東小学校の校舎を改修し、新たに伊東小学校がスタートした。

令和５年９月から、八幡野小学校調理場からの配送による給食を八幡野幼稚園で開始した。

令和５年９月から東部特別支援学校伊東分校は、旧西小学校から旧旭小学校へ移行した。

2 幼稚園、保育園、小・中学校建設のあゆみ

年度	伊東のあゆみ	幼稚園・保育園	小学校	中学校
明6			富戸小(仮校舎永昌寺)創立、宇佐美学舎(宇小)、川奈小(福西氏宅外)、克明学舎第2支校(大池小)、八幡野学舎(八小)	
7			八幡野学舎校舎新築	
19			池小廃校	
20			八幡野学舎分校(池小)創立	
22	町村制施行(伊東・小室・宇佐美・対島)			
29			伊東尋常高等小学校(西小)創立 宇佐美尋常小校舎新築	
31			八幡野小校舎新築移転	
32			川奈尋常小校舎取得(民家買収)	
39	伊東町となる			
43			八幡野小校地拡張・校舎増築	
45			川奈尋常高等小学校新築	
大8			池尋常小校舎新築	
11		私立伊東幼稚園創立		
15		私立を町立伊東幼稚園とし創立		
昭4			宇小講堂新築・校舎移築	
5			伊東尋常高等小分教場(東小)創立	
7	県立伊東高等女学校		川奈尋常高等小校舎改修・運動場拡張	
12			八幡野小校地拡張	
13	国鉄伊東線開通12月			
14			伊東尋常高等小学校(独立開校)	
15			八幡野小校舎新築	
16			伊東国民学校(東小)校舎増築	
20		伊幼分園増設(仏現寺・本然寺)		
22	伊東町小室村が合併、市制施行 市立伊東高等女学校		大池小校舎増築	伊東中創立、宇佐美中創立、八幡野教場(対島中)、富戸教場創立
23	市紋章を制定 伊東高校として開校	新井幼稚園創立 伊幼分園廃止		六三制実施
24	キティ台風来襲 キネマ通り大火	伊幼第一分園(湯川)創立 新井分園を第2分園に改称 宇佐美幼稚園創立	大池小給食室新築 八幡野小校地拡張	伊東中グランド・野球場完成 宇佐美中校舎新築
25	国際観光温泉文化都市の指定		大池小給食室増築 富戸小校舎増築	宇佐美中運動場拡張
26			東小講堂新築・運動場整備	宇佐美中校舎本館改修
27	市立図書館新館開館	伊幼園舎移転新築		八幡野教場校舎新築
28		伊幼第三分園(竹の台)創立 八幡野幼稚園創立	大池小運動場拡張	伊東中体育館兼講堂新築
29		富戸幼稚園・池幼稚園創立	宇佐美小給食室新築 八幡野小運動場拡張	
30	宇佐美村・対島村の2か村を合併 市立公民館新設	私立吉田幼稚園創立	川奈小校舎新築	北中学校創立、南中プール完成
31	市庁舎落成	伊幼第三分園園舎移転新築	池小校舎新築	北中校舎新築
32	伊東こどもの歌発表 第12回国体開催	川奈幼稚園創立 宇佐美幼稚園園敷拡張		南中学校校舎新築 宇佐美中校舎新築
33	狩野川台風来襲	富戸幼稚園園舎改築		
34	大川橋完成、通学橋完成	池幼稚園園舎移転新築 富士見保育園創立	池小給食室新築 東小講堂校舎補修	対中運動場拡張
35	伊東ユースホステル開設 私たちの郷土伊東発行	八幼園地拡張・園舎移転新築	大池小校舎新築 八幡野小校舎・給食室増築 宇佐美小講堂全面改修	宇佐美中校舎(技)新築
36	伊豆急行開通	第一分園を湯川分園、第二分園を新井分園、第三分園を竹の台分園に改称 吉田幼稚園新園舎	西小講堂火災	南中校舎増築、北中体育館新築、宇佐美中校舎(技機室)新築
37	交通安全都市宣言		大池小教室蛍光灯施設 池小プール完成	
38	伊東商業高等学校開校 伊東市民の歌発表		宇佐美小校舎(第1期)新築	
39		伊東幼稚園鎌田分園創立 湯川保育園創立	宇佐美小校舎(第2期)新築	対島中校舎(技)増築
40	諏訪市と姉妹都市提携			北中校舎(理)増築
41			富戸小校舎新築 宇佐美小運動場整備	対島中校舎(音・美)増築 対島中富戸分校廃止
42	いでゆ橋完成、海浜プールオープン、市民憲章制定	伊幼鎌田分園園舎移転新築 玖須美保育園創立	東小校舎増築 八幡野小撒水施設設置	

年度	伊東のあゆみ	幼稚園・保育園	小学校	中学校
43	交通災害共済制度発足	伊幼竹の台分園南小分室創立	東小プール完成 富戸小体育館完成	
44	小室山総合グランド完成 アスパック川奈会議	南幼稚園創立 玖須美保育園園舎増設	南小校舎完成・創立	
45	城星市民運動場完成		東小物見塚歩道橋完成 八幡野小プール・体育館完成・運動場拡張整備	宇佐美中校舎新築
46		富戸幼稚園園舎移転新築		宇佐美中体育館完成 対島中運動場拡張
47		吉田幼稚園が市立幼稚園となる 広野保育園創立	東小南校舎火災 川奈小体育館完成・南小校舎増築 宇佐美小プール完成	
48	あさひ橋完成	さくら保育園創設	旭小学校創立 宇佐美小校舎増築 川奈小プール完成	対島中体育館完成 北中運動場拡張
49	下水道共用開始	八幡野幼稚園園舎移転新築 南幼稚園富士見分園創立 鎌田幼稚園移転新築 富戸保育園創立	西小校舎新築	
50		宇佐美幼稚園宮川分園創立 荻幼稚園創立 伊幼新井分園園舎移転新築	西小体育館完成 旭小プール完成	北中校舎(美・技)増築
51	人口7万人達成	宇佐美保育園創立	富戸小プール完成	対中校舎新築・運動場整備
52	伊東高等学校新築 諏訪市「海の家」開設	富士見保育園遊戯室増設	大池小校舎新築・運動場整備 池小校地取得	南中A棟新築
53	伊豆大島近海地震 伊豆近海群発地震		富戸小校舎地震被害	南中B棟新築
54	勤労者体育センター完成	富士見保育園園舎増設	富戸小地震被害復旧、南小校舎増築、東小校舎移転新築、大池小体育館完成	
55	伊豆半島東方沖(川奈崎)群発地震、社会教育センター完成、市民運動場ナイター設備完成		富戸小群発地震校舎被害	宇佐美中運動場拡張
56	観光会館別館完成	南幼稚園園舎移転新築 玖須美保育園築工事	東・西・南小プール完成 宇佐美小体育館完成 富戸小校舎新築	北中防球ネット設置
57	イギリス・ジリンガム市と伊東市が初めて海外友好都市提携		川奈小校舎新築・運動場整備、富戸小校舎移転新築、南小東校舎新築、宇佐美小撒水栓設置	
58	城ケ崎高等学校開校、移動図書館「ともだち号」開始		大池小校舎新築	南中体育館完成
59			池小校舎新築 富戸小運動場整備	
60	イタリアリエティ市と友好都市提携 木下杢太郎記念館オープン		八幡野小校舎移転新築	対島中部室(野・庭)新築 新設門野中学校用地造成工事開始
61			南小体育館火災・復旧 八幡野小袴線橋完成 池小運動場フェンス設置	宇佐美中防球ネット設置
62		吉田幼稚園園舎移転新築	八幡野小体育館完成 西小校舎耐震補強 大池小プール完成	宇佐美中防球ネット設置 門野中学校創立
63	宇佐美コミュニティセンター完成 松原大火		西小体育館天井改修 富戸小撒水栓設置	宇佐美中防球ネット設置 対島中校舎耐震補強
平元	伊豆東方沖群発地震 手石海丘噴火 奥野ダム完成	池幼稚園園舎移転新築 富士見保育園園舎改築	大池小校庭整備	北中校舎新築・運動場拡張整備 宇佐美中校舎耐震補強 対島中プール用地取得
2	斎場完成	幼稚園園児1学級定数35人に改定 伊東幼稚園本園焼失 さくら保育園園舎改築	南小運動場側溝改修 旭小校舎耐震補強 東小校舎内窓ガラス飛散防止	南中校舎C棟改築・門野中プール完成、北中プール完成・バックネット設置、宇佐美中運動場整備・夜間照明設置
3	小室コミュニティセンター完成	川奈幼稚園園舎改築 宇佐美幼稚園園舎改築 富戸保育園移転新築	八幡野小プール完成 富戸小校庭整備	対島中プール完成 対島中防球ネット設置
4	八幡野コミュニティセンター完成 伊東市文化功労賞設置	川奈幼稚園園庭整備 宇佐美幼稚園園庭整備	宇佐美小校舎改築 西小校庭整備	南中校庭整備、北中パソコン教室設置、宇佐美中多目的室設置、対島中夜間照明設置
5	新庁舎建設着工		宇佐美小校舎・屋内運動場改築 西小プール完成 川奈小校庭整備	北中テニス・バレーボールコート整備 対島中部室完成
6	ひぐらし会館完成 かどの球場完成	伊東幼稚園園舎改築 吉田幼稚園園庭整備 南幼稚園富士見分園園庭整備 竹の台幼稚園新井分園休園	宇佐美小プール完成・運動場整備・撒水栓設置・図工室改修	北中音楽室改修
7	教育相談室開設、文化財管理センター完成、富戸コミュニティセンター完成	竹の台幼稚園改築	大池小学校屋外運動場整備 旭小学校通学路防災整備	
8	生涯学習センター池会館完成 大原武道場完成 伊東国際交流協会設立	伊東幼稚園湯川分園解体 宇佐美保育園で地域子育て支援センター開始	東小学校屋内運動場改築、大池小学校校舎増築、八幡野小学校撒水栓整備・運動場整備、旭小学校通学路防災整備	宇佐美中学校屋内運動場及び屋内水泳プール完成 門野中学校給食室新築

年度	伊東のあゆみ	幼稚園・保育園	小学校	中学校
9	体育文化施設予約管理システム稼動、図書館コンピュータシステム導入、情報公開制度スタート	荻幼稚園園舎増築 八幡野幼稚園進入路建設	旭小学校通学路防災整備	南中学校屋外水泳プール完成 門野中学校給食開始
10	生涯学習センター赤沢会館完成 適応指導教室開設	宇佐美幼稚園宮川分園屋上防水及び外壁補修 湯川保育園移転新設 湯川保育園で地域子育て支援センター開始	小学校給食施設・設備改修 小学校空気調和設備設置 南小学校屋外運動場撒水栓設備設置	教育用コンピュータ整備(3校) 南中学校放送機器改修
11	3歳児保育の開始 市史編さん事業開始	6月1日から川奈幼稚園において3歳児保育を実施 南幼稚園浄化槽改修工事・園内部補修 富士見分園非常階段撤去	西小学校給食施設・設備改修・空気調和設備設置 川奈小学校屋内運動場改修 南小学校屋外水泳プール補修 宇佐美小学校児童用玄関ドア改修 旭小学校浄化槽解体	南・宇佐美中学校空気調和設備設置 対島中学校放送機器改修
12	総合的な学習の試行	3歳児保育を宇佐美及び富戸幼稚園で実施	富戸小学校給食施設改修 西小学校屋上防水 八幡野小学校テラス補修 旭小学校管理棟防水 東小学校給食リフト改修	南中学校部室改築 南中学校技術科棟補修 宇佐美中学校放送設備改修 門野中学校屋内運動場渡り廊下塗装 南中学校浄化槽改修 対島中学校バスケットゴール改修 門野中学校浄化槽改修
13	生涯学習センター荻会館完成 男女共同参画プランの策定 学校週5日制導入	八幡野幼稚園排水施設整備 川奈幼稚園通園路手すり等設置 3歳児保育を宇佐美宮川分園・南幼稚園及び富士見分園で実施 市立保育園全園での休日保育事業開始	池小学校プール建設 旭小学校プール塗装 南小学校給水管改修 南小学校照明器具改修 小学校パソコン教室改修 川奈小・南小学校給食用リフト改修 池小学校浄化槽改修	宇佐美中学校照明器具改修 南中学校渡り廊下等補修 宇佐美中学校トイレ改修 対島中学校渡り廊下塗装 門野中学校浄化槽改修 門野中学校高鉄棒取替え 校内LAN工事(対島、門野、北)
14	新学習指導要領始まる 教育問題懇話会設置	鎌田幼稚園改築 宇佐美幼稚園下水道接続 3歳児保育を竹の台幼稚園で実施 八幡野保育園創立　※委託契約(休日保育事業・地域子育て支援センター・延長保育事業開始) 伊豆栄光荻保育園創立　※私立保育園(休日保育事業・地域子育て支援センター・一時保育事業・延長保育事業開始)	川奈小学校給食施設改修 小学校校舎トイレ改修 旭小学校屋内運動場防水 宇佐美小学校下水道接続	宇佐美中学校下水道接続 対島中学校校舎トイレ改修 南中学校排水施設建設
15	第58回国民体育大会開催 伊東市民体育センター(名称変更)	伊東幼稚園湯川分園改築 3歳児保育を鎌田幼稚園及び荻幼稚園で実施 八幡野保育園で一時保育事業開始	川奈小学校プール塗装 大池小学校校舎屋根補修 小学校校舎トイレ改修 小学校門扉設置 富戸小学校倉庫設置	宇佐美中学校校舎防水 北中学校屋外運動場整備 南中学校校舎床等補修 北中学校屋内運動場床補修
16	地域子ども教室推進事業始まる	吉田幼稚園園舎増築 池幼稚園園舎屋根塗装 伊東幼稚園湯川分園園庭整備 3歳児保育を伊東幼稚園・湯川分園及び池幼稚園で実施	校内LAN工事(10校) 東小学校校舎改修 小学校門扉設置 旭小学校屋外運動場傾斜面補修	北中学校校舎防水 門野中学校浄化槽改修 南中学校排水施設整備 校内LAN工事(北、宇佐美)
17	あいさつ運動の推進	3歳児保育を吉田幼稚園で実施 川奈幼稚園テラス等改修 富戸幼稚園園舎屋根等改修 川奈愛育クラブ創立　※私立保育園(休日保育事業・地域子育て支援センター・一時保育事業・延長保育事業・乳幼児健康支援一時預り開始)	旭小学校校舎防水 南小学校給水設備改修 川奈小学校屋内運動場防水 八幡野小学校屋外運動場整備 大池小学校給食リフト改修	対島中学校校舎防水 宇佐美中学校旧用務員宿舎解体 南中学校高架水槽改修
18	伊東市書道教育特区 (南小学校を指定)	3歳児保育の2次募集で学区解消 宇佐美幼稚園宮川分園園舎改修荻幼稚園園舎改修 八幡野保育園が指定管理者への委託となる(平成22年までの5年間)	大池小学校屋内運動場床改修 大池小学校トイレ改修 大池小学校給食施設改修 池小学校屋内運動場防水等 富戸小学校校舎屋上等補修 八幡野小学校校舎屋上等補修 旭小学校校舎補修	北中学校屋内運動場防水 門野中学校校舎防水 北中屋内運動場放送設備改修
19	伊東市書道教育特区 (東小学校を指定)		南小学校トイレ改修工事 旭小学校トイレ改修工事 西、富戸、南小学校防水等工事 池小学校地下ポンプ室内補修工事 宇佐美小学校給食施設改修工事	門野中学校下水道接続工事 南中学校グラウンド等改修工事 宇佐美中学校屋内運動場床補修工事 対島中学校校舎改修工事
20		幼稚園園舎改修工事(富戸、南幼稚園富士見分園) 保育まつりを幼稚園・保育園で合同開催	東・西・八幡野・池小学校トイレ改修 南小学校給食施設の改修 大池小学校校舎防水等工事 宇佐美小学校児童玄関扉改修工事	北中学校テニスコート通路舗装工事 宇佐美・対島中学トイレ改修工事 対島中学校グランドフェンス取替工事 対島中学校校舎ベランダ手摺改修工事
21		富戸保育園が指定管理者への委託となる(平成22年までの2年間) 幼稚園園舎改修工事(川奈)	池小学校屋内運動場防水工事 南小学校浄化槽改修 大池小学校給食室改修工事 南小学校屋内運動場耐震補強工事	北中学校校舎等トイレ改修工事 対島中学校校舎補修工事 南中学校プール補修工事 南中学校太陽光発電装置設置工事 対島中学校屋内運動場耐震補強工事
22		湯川保育園が指定管理者への委託となる(平成23年までの2年間) 八幡野幼稚園耐震補強工事	宇佐美小学校給食室改修工事 大池小学校屋内運動場耐震補強工事	南中学校校舎トイレ等改修工事 宇佐美中学校防球ネット改修工事

年度	伊東のあゆみ	幼稚園・保育園	小学校	中学校
23		八幡野保育園が指定管理者への委託となる（平成27年度までの5年間） 伊豆栄光富戸保育園設置認可（伊東市立富戸保育園廃止） 富戸幼稚園園舎耐震補強工事	西小学校杉の子教室改修工事	南中学校校舎耐震補強工事 （平成24年度までの2年間） 門野中学校テニスコート改修工事 北中学校特別教室機能移転工事
24		伊豆栄光湯川保育園設置認可 （伊東市立湯川保育園廃止）	池小学校屋内運動場耐震補強工事 富戸小学校屋内運動場耐震補強工事	南中学校校舎耐震補強工事
25	本市初の親子給食が東小・川奈小間で開始される		南小学校校舎トイレ改修工事 川奈小プール塗装工事	
26	本市で2校目となる中学校給食が親子給食（宇佐美小・宇佐美中）により開始される 木下杢太郎記念館が国登録有形文化財になる	伊東幼稚園湯川分園休園	西小学校屋内運動場改築工事 大池小学校校舎トイレ改修工事 宇佐美小中給食施設整備工事	南中学校進入路歩道整備工事 南中学校技術科棟及び浄化槽解体工事
27	総合教育会議を開催し大綱を策定 江戸城石垣石丁場跡が国史跡になる 川奈ホテル本館・田舎家が国登録有形文化財になる オレンジビーチマラソン50回目を迎える	子ども・子育て支援新制度施行 園舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付 （幼：鎌田、南、富士見分、吉田、荻） （保：富士見、玖須美、広野、宇佐美） つくし保育園創立（私立保育園） 野間自由幼稚園が新制度に移行	屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム貼付 （東、川奈、宇佐美、八幡野、旭） 川奈小屋内運動場天井落下防止工事	屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム貼付 （南、北、宇佐美、門野） 大規模空間吊り天井落下防止工事 （南中武道場・宇佐美中屋内プール） 南中学校太陽光発電設備設置工事
28	伊東市学校給食センター完成 市民体育センター耐震化工事	竹の台幼稚園新井分園廃園 川奈幼稚園休園 さくら保育園をさくら園に名称変更 宇佐美幼稚園園舎改修工事	校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付 （富戸、池、南） 小学校校舎トイレ改修工事（八幡野、池） 大池小学校駐車場整備工事 南小学校校舎屋上防水工事 小学校プール塗装工事（八幡野、旭）	中学校給食の完全実施 門野中学校校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付 中学校校舎トイレ改修工事（北、対島）
29	市政施行70周年 教育大綱改定 育英奨学制度改正（奨学金の増額、入学一時金・Uターン支援制度の新設） 図書館予約本受取サービス開始（生涯学習センター池会館）	南幼稚園富士見分園園舎耐震補強工事 伊豆栄光なぎさ保育園認可（小規模保育事業A型）	校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付 （東、西、川奈、大池、宇佐美、八幡野、旭） 屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム貼付 （南、大池、富戸、池） 小学校校舎トイレ改修工事（東、宇佐美） 小学校校舎屋上防水工事（東、池） 南小学校下水道設備接続工事	校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付 （南、北、宇佐美、対島） 対島中学校屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム貼付 対島中学校校舎外壁塗装工事
30	伊豆半島ジオパークのユネスコ世界ジオパーク認定 子育て支援センター「つくしんぼ」オープン 教育問題懇話会答申（小・中学校における適正な学校規模及び配置のあり方）	ちゅうりっぷ保育園認可（小規模保育事業A型） 広野保育園保育室改修工事 富士見保育園下水道接続工事 宇佐美幼稚園宮川分園休園 富戸幼稚園休園 幼稚園全園空調設備設置	富戸小学校校舎屋上防水工事、 大池小学校屋内運動場照明LED化工事 旭小学校パソコン室エアコン設置工事	宇佐美中学校校舎トイレ改修工事 中学校校舎屋上防水工事（南、宇佐美） 南中学校屋内運動場照明LED化工事
令元	伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針策定 市内小中学校の全ての普通教室に空調を整備 小学校普通教室への電子黒板整備 新型コロナウイルス感染症流行による臨時休業の実施（令和2年3月3日～5月31日）	小規模保育所えん認可（小規模保育事業A型） 竹の台幼稚園休園 八幡野保育園増築工事	宇佐美小学校屋上防水工事 南小学校プール塗装工事 旭小学校校舎トイレ改修工事 小学校空調設備設置工事（全小学校）	南中学校夜間照明設備設置工事 中学校空調設備設置工事（全中学校）
2	新型コロナウイルス感染症流行による臨時休業の実施（令和2年3月3日～5月31日） 令和2年度1学期の学校給食費無償化 門野中学校を共同調理場とし、池小学校を受配校とした。 GIGAスクール構想に基づく1人1台端末整備 中学校普通教室・特別教室（一部）への電子黒板整備	鎌田幼稚園休園 南幼稚園休園 富士見保育園トイレ改修工事	川奈小学校閉校（R3.3.31） 小学校校内LAN等整備工事（全小学校） 富戸小学校屋内運動場フロア改修工事	中学校校内LAN等整備工事（全中学校）
3	杉村英孝選手が東京2020パラリンピックのボッチャ競技個人戦で金メダル、チーム戦で銅メダルを獲得	幼保連携型認定こども園川奈愛育クラブ開所	南小学校自動火災報知設備受信機更新工事 池小学校屋内運動場照明設備LED化業務	
4	新小学校の名称を伊東小学校に決定 小中学校特別教室へ電子黒板整備 令和4年度1学期及び2学期の小中学校の学校給食費の免除	市立幼稚園・保育園の再編及び認定こども園整備に向けた基本方針の策定 市立幼稚園全園でデリバリー給食が始まる。 市立幼稚園全園でWi-Fi整備と園務改善システム「コドモン」が導入される。	南小学校校舎トイレ改修工事 小学校変電設備改修工事（大池・富戸・池小学校） 東小学校駐車場整備工事 東小学校屋上防水工事 東小学校校舎外壁塗装工事 東小学校教室等改修工事 東小学校アクティブラーニング室整備事業 東小学校校内無線LAN環境整備事業 東・西・旭小学校閉校（R5.3.31）	門野中学校校舎トイレ改修工事
5	伊東小学校が開校し、市内初のスクールバスを導入 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが、いわゆる2類相当から5類感染症に移行（令和5年5月8日～）	9月から市立八幡野幼稚園で八幡野小学校調理場と連携して幼稚園給食を開始する。	東小学校エアコン設置工事 ※ 東小学校変電設備改修工事 ※ 南小学校校舎照明設備LED化工事 ※令和4年度からの繰越明許の工事であるため、学校名が東小学校となっている。	門野中学校防球ネット張替え工事 南中学校校舎トイレ改修工事 南中学校校舎照明設備LED化工事 北中学校旧校舎解体工事

年度	伊東のあゆみ	幼稚園・保育園	小学校	中学校
6	教育問題懇話会答申（小・中学校における適正な学校規模及び配置のあり方）	公立保育園全園で紙おむつの自園処分が始まる。 公立保育園全園で空調の大幅増設	大池小学校校舎照明設備LED化工事 八幡野小学校校舎照明設備LED化工事	南中学校校舎トイレ改修工事
7	伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針（後期方針　旧市街地地区（北中学校再編版））策定	市独自の施策として0～2歳までの保育所等の保育料無償化を開始	小学校特別教室空調設備設置工事（全小学校） 南小学校校舎外壁改修工事	中学校特別教室空調設備設置工事（全中学校）

3　教育施設一覧

(1)　小学校

令和8年4月1日時点　　（単位：㎡・m）

学校名	開設年月	敷地面積	建物敷地	運動場敷地	その他敷地	建物面積											プールサイズ	
						校舎				屋内運動場			その他建物（プール附属室、倉庫等）					
							鉄筋	鉄骨	木造		鉄筋	鉄骨		鉄筋	鉄骨	木造	大	小
伊東小	R5.4	20,153	11,578	8,575		6,974	6,974			1,522	1,522		35		35		25×10	
大池小	M6.11	19,547	7,976	6,774	4,797	5,199	5,199			652		652	66		36	30	25×10	
宇佐美小	M6.6	15,613	7,456	8,157		7,885	7,874	11		1,233		1,233	350	128	119	103	25×12	10×4
八幡野小	M6.6	14,764	6,988	7,278	498	3,411	3,411			1,036		1,036	96		77	19	25×10	
富戸小	M6.7	17,802	6,385	11,417		2,898	2,898			600		600	31	18		13	25×10	10×6
池小	M6	9,824	4,933	4,057	834	2,077	1,850	227		652		652	78			78	25×10	10×3
南小	S44.4	19,467	11,208	8,259		6,851	6,851			1,222		1,222	35		35		25×10	
小学校計		117,170	56,524	54,517	6,129	35,295	35,057	238		6,917	1,522	5,395	691	146	302	243		

※南小屋内運動面積には地下基礎部分の倉庫220㎡を含む

(2)　中学校

令和8年4月1日時点　　（単位：㎡・m）

学校名	開設年月	敷地面積	建物敷地	運動場敷地	その他敷地	建物面積											プールサイズ	
						校舎				屋内運動場			その他建物（プール附属室、倉庫等）					
							鉄筋	鉄骨	木造		鉄筋	鉄骨		鉄筋	鉄骨	木造	大	小
南中	S22.4	40,510	17,653	22,087	770	8,039	8,039			2,700		2,700	205		4	201	25×17	
北中	S30.4	21,512	10,417	11,095		4,648	4,648			1,121	1,121		334	334			25×14	
宇佐美中	S22.4	11,240	5,307	5,933		4,282	4,282			1,427	1,427		336	268	68		25×13	
対島中	S22.5	20,705	8,520	12,185		3,978	3,935	43		1,145		1,145	361		261	100	25×13	
門野中	S62.4	30,494	13,662	14,463	2,369	5,651	5,651			1,609		1,609	282		282		25×13	
中学校計		124,461	55,559	65,763	3,139	26,598	26,555	43		8,002	2,548	5,454	1,518	602	615	301		

⑶　幼稚園

令和8年4月1日時点　　（単位：㎡）

幼稚園名	開設年月日	敷地面積	建物敷地	運動場敷地	その他敷地	建物面積							
							園舎			その他建物(倉庫等)			
							鉄筋	鉄骨	木造		鉄筋	鉄骨	木造
伊東幼	T15.4.21	1,547	1,070	477		594	594						
湯川分園	S24.9.1	1,824	907	917		421			421				
竹の台幼	S28.4.10	1,416	788	628		477	477						
鎌田幼	S39.4.13	2,038	1,035	1,003		480			480				
川奈幼	S32.1.6	5,734	1,643	2,049	2,042	368			368				
宇佐美幼	S25.2.1	2,040	1,216	824		552			552	5			5
宮川分園	S50.4.1	2,403	1,103	1,300		780	780						
八幡野幼	S28.7.1	2,448	1,460	988		508		508					
富戸幼	S29.5.1	2,199	1,007	1,192		455		455					
池幼	S29.4.1	2,488	628	1,860		336			336	7			7
南幼	S44.4.4	2,634	1,091	1,543		616	616						
富士見分園	S50.2.1	2,500	1,220	1,280		756	756						
吉田幼	S47.4.11	2,449	1,030	1,419		376			376				
荻幼	S50.4.1	1,665	792	873		709	620	89					
幼稚園計		33,385	14,990	16,353	2,042	7,428	3,843	1,052	2,533	12			12

⑷　保育園

令和8年4月1日時点　　（単位：㎡）

保育園名	開設年月日	敷地面積	建物敷地	運動場敷地	その他敷地	建物面積				改築年月日
							園舎			
							鉄筋	鉄骨	木造	
富士見保育園	S34.6.1	3,615	682	2,933		682			682	H1.3.8
玖須美保育園	S42.5.8	2,520	1,034	564	922	1,263	1,263			H29.7.31
広野保育園	S47.6.1	1,840	579	600	661	579	579			
宇佐美保育園	S51.4.1	1,732	909	823		909	909			
保育園計		9,707	3,204	4,920	1,583	3,433	2,751		682	

４　教職員住宅

市立小中学校の教職員及びその家族に供するため、公立学校共済組合の建設資金を利用して市内４か所に教職員住宅が建設されたが、施設の老朽化に伴い赤坂住宅及び宇佐美住宅を平成２２年度に、富士見住宅及び城星住宅を平成２４年度にそれぞれ使用停止とした。

区　分	赤坂住宅	富士見住宅	宇佐美住宅	城星住宅
所　在　地	岡 1292－3	玖須美元和田 729－1	宇佐美 1827－1	玖須美元和田 716－137
建設年度	昭和 39 年度	昭和 40 年度	昭和 43 年度	昭和 38 年度
敷地面積	市　有　地 409．91 ㎡	市　有　地 595．00 ㎡	市　有　地 241．53 ㎡	市　有　地 330．57 ㎡
建物構造	RC 陸屋根 2 階建 1 棟 4 戸 205．80 ㎡	RC 陸屋根 2 階建 1 棟 6 戸 288．72 ㎡	RC 陸屋根 2 階建 1 棟 4 戸 205．92 ㎡	BC 簡易耐火 2 階建 2 棟 4 戸 208．72 ㎡
使用停止年度	平成２２年度	平成２４年度	平成２２年度	平成２４年度
備　考	－	平成27年5月29日 解体完了	－	平成26年4月25日 用途廃止

５　学校給食センター

中学校給食の完全実施を行うため伊東市学校給食センターを建設し、平成２８年度２学期から小中学校８校への給食の調理・配送を開始した。

所　在　地	玖須美元和田７２９－１
完成年月	平成２８年７月
給食開始	平成２８年８月
建物構造	鉄骨造り地下１階地上２階建
敷地面積	４，０９３．６２㎡
延床面積	２，５７１．２１㎡
調理方法	ドライ方式
調理能力	１日最大３，０００食
給食実施校 R8 年 4 月 1 日現在	伊東小学校、大池小学校、富戸小学校、南小学校、南中学校、北中学校、対島中学校

※小学校の統廃合に伴い、令和５年度から給食実施校が７校となった。

Ⅴ　学校教育　１　令和８年度　伊東市教育委員会教育指導課　指導の重点

国の方針

生きる力　学びの、その先へ

・学んだことを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力、人間性など
・実際の社会や生活で生きて働く
知識及び技能
・未知の状況にも対応できる
思考力、判断力、表現力など

伊東市教育委員会基本方針

生涯にわたって学び続ける伊東市民

学び続ける市民を育成するために本市の教育の活性化と発展に一層の力を入れ「市民の期待と信頼」に応える

県の方針

「未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現」

○未来を創造する力を育む教育の推進
○全ての人の学びを支える力を引き出す教育の推進
○地域ぐるみで取り組む教育の推進
○学びを支える基盤づくり

目指す園・学校像

夢と希望を育む園・学校

重点目標

連携・協働

子供の学び

個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実されている。
各園・学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている。

教師の姿

子供一人一人の学びを最大限に引き出す役割を果たす。
子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力を備えている。

伊東市幼稚園教育研究会

豊かに遊び、学びがつながる幼稚園

伊東市教育研究会

心豊かな学び手を育てる

目指す園・学校像に迫るための指導

人として備えたい力

・積極的な関わりの中で、確かな**人権感覚**〔いじめを許さない心、思いやりの心〕や、節度のある人との接し方等の**規範意識や忍耐力、思いやりの心**を身に付けられるようにするとともに**社会性**を培う。
・親身な関わりの中で、不安や不満等に打ち克つ強さ（**自己肯定感、自己有用感**）を培う。

学びに向かう力

・主体的・協働的な問題発見・解決の場面を経験することによって未知の状況にも柔軟に対応できる**思考・判断・表現**する力を育む。
・「子供はどう学ぶのか」など、学び手の視点で授業を構想し、「自分ごととしての学び」を実現する。
・育成を目指す資質能力を明確にし、その伸長を子供と共有する。
・**ICT 機器の活用**を通じて確かな学力の向上に努める。

命を守る力

・安全・防災教育を重視する中で、**危険を未然に回避する力**や緊急時（自然災害、生活防犯、交通安全など）に対応する**危機対応力の向上**を図る。
・家庭や地域と連携する中で、健康的な生活習慣（感染症防止を含む）の定着を図る。
・遊びや運動経験を積み上げていく中で、健康の保持増進を図る。

実践事項

特別支援教育の理念を正しく理解し、**多様な教育的ニーズに対応**するとともに、他機関と連携・協議しながら園児・児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な支援を行う。

学習指導要領（幼稚園教育要領）や子供の実態に基づいて**育成を目指す資質・能力を明確**にした上で子供の姿を起点に語り合い、「同僚性」を高め、教員の資質・指導力の向上と授業改善を図る。

家庭・地域・福祉・幼小中や異校種、他団体と連携し問題行動・不登校・いじめ等の**未然防止早期発見早期対応の取組を確実に実践**する。

夢と希望を育む園・学校の基盤整備

主体的・対話的で深い学び
子供の視点に立った授業改善
子供が探求的な学習や体験活動等を通じて多様な他者と協働や対話をしながら資質・能力を伸ばせるような授業を行う

個の多様性・価値観の尊重
道徳教育の推進
自分自身のこととして、多面的・多角的に考え、議論する道徳の推進

地域と共にある学校
学校運営協議会（コミュニティースクール）
地域の声を生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていく

特別支援教育体制の整備
特別支援教育の充実
児童生徒の多様な教育ニーズへの対応に関する理解を深める

教育ＤＸの推進
ICT の活用・情報活用能力の育成
情報手段の基本的な操作や、情報モラル、統計等に関する資質・能力を育む活動を行う

危機管理体制の徹底
防災教育の推進
幼児児童生徒等の発達段階や地域の特性に応じた防災に関する取組を推進する

2　小・中学校、幼稚園、保育園一覧

(1)　小・中学校一覧

［令和８年４月１日現在］

施設名		電話	FAX	所在地	所属長	備考
小学校	大池小学校	45-0076	45-4579	吉田８２４－４	後藤　亜希子	
	宇佐美小学校	48-9014	47-1390	宇佐美１６２７－１	牧野　信隆	
	八幡野小学校	53-0023	53-4023	八幡野９７６－１	稲葉　米彦	
	富戸小学校	51-0008	51-3963	富戸１２０３－１	中村　義邦	
	池小学校	54-0195	54-0196	池４７７－２	本荘　文康	
	南小学校	45-0800	45-0801	玖須美元和田716-87	関野　耕一	
	伊東小学校	37-2527	37-2526	大原二丁目２－６	森田　まり	
中学校	南中学校	37-2637	37-2842	玖須美元和田７２９－１	濵村　幸美	
	北中学校	37-4468	37-5140	湯川３６０－１	髙橋　賢	
	宇佐美中学校	48-9037	48-9975	宇佐美１５３７－１	宮原　省吾	
	対島中学校	53-0046	53-1184	八幡野１１２８－３	後藤　康仁	
	門野中学校	37-7746	37-8843	鎌田１２８１－６３	内田　勝之	

(2)　幼稚園・保育園一覧

［令和８年４月１日現在］

施設名		電話	所在地	所属長	備考
幼稚園	伊東幼稚園	37-2182	桜木町一丁目１－１７	池田　千栄子	
	宇佐美幼稚園	48-9064	宇佐美１６０２－２	秋山　知美	
	八幡野幼稚園	53-0395	八幡野１１８９－５５	菅原　千晴	
	南幼稚園 富士見分園	36-6103	玖須美元和田７２９－１	三枝　真理子	
	吉田幼稚園	45-0430	吉田４５２	稲葉　有芽	
	荻幼稚園	36-6227	荻１８－１	坂部　とも子	
	野間自由幼稚園	37-4503	竹の内１－３－５７	山口　和人	私立幼稚園
保育園	富士見保育園	37-2179	玖須美元和田７１６－１２９	杉本　泰江	
	玖須美保育園	36-6380	和田二丁目１－２３	冨士　礼子	
	広野保育園	37-0575	広野三丁目３－２８	小林　容子	
	宇佐美保育園	47-3004	宇佐美６１０－２０	森口　佐智枝	
	八幡野保育園	54-2700	八幡野１１８９－１７０	小坂谷惠美子	公設民営
	伊豆栄光荻保育園	36-6603	荻６０１－１３	山本　貴美子	民設民営
	伊豆栄光富戸保育園	51-1780	富戸４５－１	木村　佑理	民設民営
	伊豆栄光湯川保育園	37-5488	湯川三丁目８－１０	大橋　桂子	民設民営
	つくし保育園	48-7747	吉田５８４	澤井　伊佐子	民設民営
	伊豆栄光なぎさ保育園（小規模）	55-7473	静海町３－２０	川野　亜希子	民設民営
	ちゅうりっぷ保育園(小規模)	55-7855	吉田３７０	鈴木　裕佳	民設民営
	小規模保育所えん	32-0030	松原７７１－１３	髙田　美乃里	民設民営
認定こども園	幼保連携型認定こども園 川奈愛育クラブ	44-1400	川奈１２６４	林　英美	民設民営

3　令和８年度 教職員配置数

(1)　小中学校教職員数

令和８年５月１日現在(学校基本調査)

学校名	教員数													職員数								教職員合計(A)+(B)	市会計年度任用職員					総合計
	本務者									兼務者			計(A)	県職員		市職員				計(B)								
	校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	計	教諭	栄養教諭	講師		事務員	栄養士	事務員	栄養士	調理員	用務員			事務員	養護師	栄養士	調理員	用務員	
大池小	1	1		17	1				20	2	1		23	1					1	2	25	1					26
宇佐美小	1	1		14	1				17			1	18	1	1				1	3	21	1					22
八幡野小	1	1		15	1				18			3	21	1			1	5		7	28	1				1	30
富戸小	1	1		7	1				10		1		11	1						1	12	1				1	14
池小	1	1		5	1				8		1	1	10	1					1	2	12	1					13
南小	1	1	1	20	1		1		25			2	27	1						1	28	1				1	30
伊東小	1	1		32	1				35	1	1	1	38	2					2	4	42	2					44
小計	7	7	1	110	7		1		133	3	4	8	148	8	1		1	5	5	20	168	8				3	179
南中	1	1	1	35	1		1		40	1		2	43	1						1	44	2				1	47
北中	1	1		8	1				11	1	1		13	1					1	2	15	1					16
宇佐美中	1	1		12	2				16	3		2	21	1						1	22	1				1	24
対島中	1	1		14	1				17	2	1	2	22	1						1	23	1				1	25
門野中	1	1		15	1		1		19			1	20	1					1	2	22	1					23
小計	5	5	1	84	6		2		103	7	2	7	119	5					2	7	126	6				3	135
合計	12	12	2	194	13		3		236	10	6	15	267	13	1		1	5	7	27	294	14				6	314

上記以外の主な非常勤講師・支援員他

≪県　費≫　小規模小学校支援２　主幹教諭後補充２　指導方法工夫改善1　免外解消4　社会人活用0
小１スマイルサポーター2　学び方サポーター2　スクールサポートスタッフ13　スクールカウンセラー５　スクールソーシャルワーカー１

≪市　費≫　教育活動支援講師10　特別支援学級補助員8　特別支援教育支援32　通級指導教室支援8　別室登校相談員5
介助員等5　学校司書4　ＡＬＴ6　スクールソーシャルワーカー1

⑵　幼稚園教職員数

令和８年５月１日現在（学校基本調査）

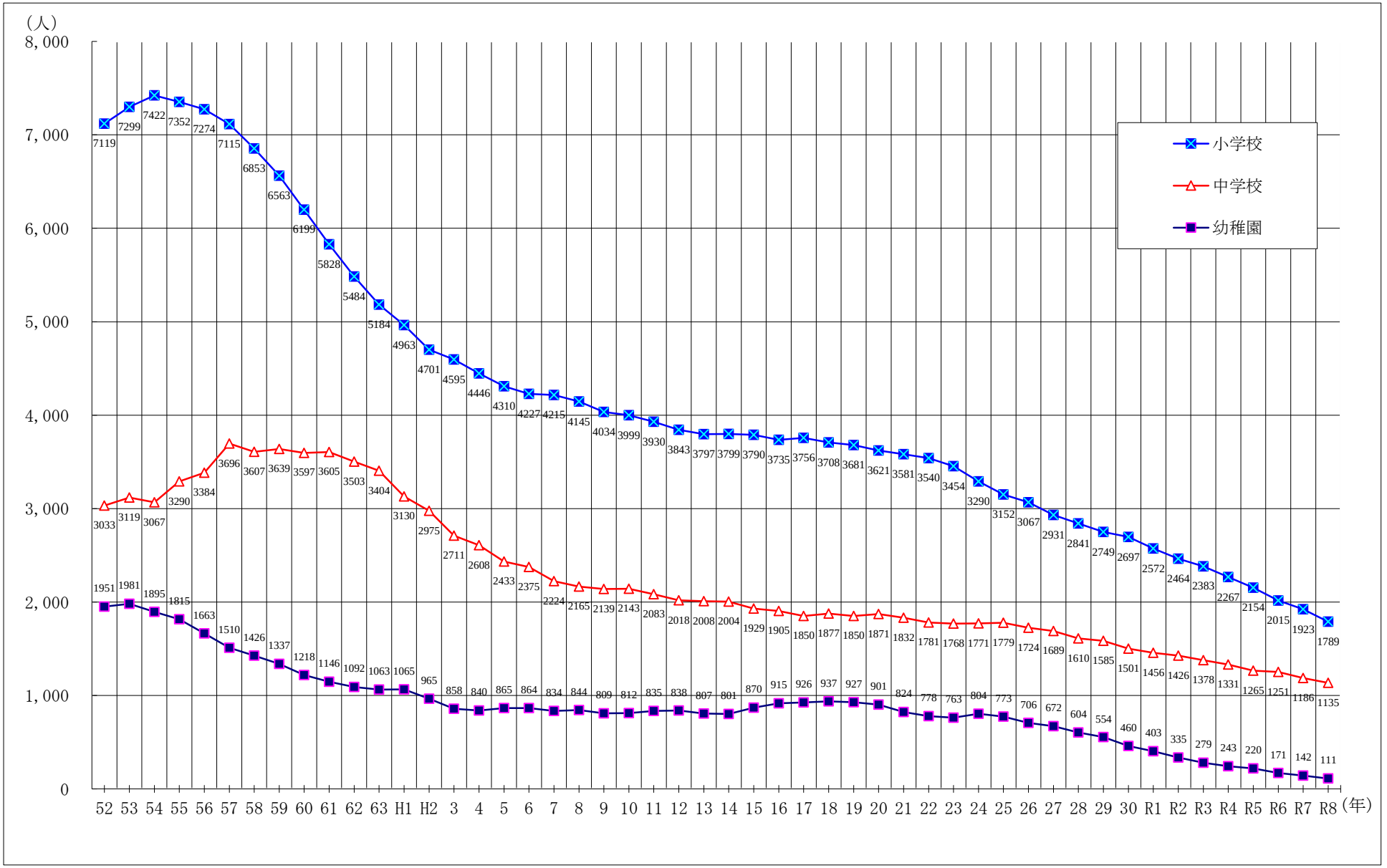
園名	教員数													職員数			教職員合計(A)+(B)	教育補助員	総合計
	本務者								兼務者				計(A)			計(B)			
	園長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	養護助教諭	講師	計	園長	教頭	教諭	講師		養護職員	用務員				
伊東幼稚園	1			6				7				1	8		1	1	9	3	12
湯川分園		（休園中）																	
竹の台幼稚園		（休園中）																	
鎌田幼稚園		（休園中）																	
川奈幼稚園		（休園中）																	
宇佐美幼稚園	1			6				7				1	8		1	1	9	4	13
宮川分園		（休園中）																	
八幡野幼稚園	1			6				7				1	8		3	3	11	4	15
富戸幼稚園		（休園中）																	
池幼稚園		（休園中）																	
南幼稚園		（休園中）																	
富士見分園	(1)			4				5				1	6		1	1	7	3	10
吉田幼稚園	1	1		1				3				1	4		1	1	5		5
荻幼稚園	1			4				5				1	6		1	1	7	3	10
合　計	6	1		27				34				6	40		8	8	48	17	65

⑶　保育園職員数

令和８年７月１日現在

園　　名	職　　員								会計年度任用職員								合計	備　　考
	園長	保育副園長	保育士	看護師	栄養士	調理員	用務員	小計	保育士	看護師	保育補助者	子育て支援員	栄養士	調理員	用務員	小計		
富士見保育園	1	1	13	1	1	1		18	4					3	1	8	26	育休中の者も含む。
玖須美保育園	1	1	16	1		1		20	7	1	2		1	4	2	17	37	再任用及び育休中の者も含む。
広野保育園	1	1	11			1		14	3			3		3	1	10	24	
宇佐美保育園	1	1	11		1	1	1	16	6	1	1	1		3		12	28	
計	4	4	51	2	2	4	1	68	20	2	3	4	1	13	4	47	115	

4　園児・児童・生徒数の推移



５　令和８年度　児童・生徒・園児数及び学級数集計表

⑴　小学校

令和８年5月1日現在

学校別＼学年別		１学年		２学年		３学年		４学年		５学年		６学年		計	
		児童数	ｸﾗｽ数	児童数	ｸﾗｽ数	児童数	ｸﾗｽ数	児童数	ｸﾗｽ数	児童数	ｸﾗｽ数	児童数	ｸﾗｽ数	計	ｸﾗｽ数
伊東	普通	46	2	53	2	63	2	71	3	70	3	79	3	382	15
	知的	3		4	1	4		4	1	2		4	1	21	3
	情緒	3		3	1	6	1	1		5	1	6	1	24	4
	計	52	2	60	4	73	3	76	4	77	4	89	5	427	22
大池		45	2	60	2	56	2	59	2	56	2	53	2	329	12
宇佐美	普通	45	2	30	1	35	1	37	2	29	1	51	2	227	9
	知的	2				1		2	1	1		4	1	10	2
	計	47	2	30	1	36	1	39	3	30	1	55	3	237	11
八幡野	普通	32	1	41	2	35	1	42	2	44	2	50	2	244	10
	知的	2				2				1		1	1	6	1
	計	34	1	41	2	37	1	42	2	45	2	51	3	250	11
富戸		8	1	10	1	9	1	7	1	15	1	14	1	63	6
池		3	1	5		5	1	12	1	9	1	9	1	43	5
南		67	2	57	2	69	2	71	3	84	3	92	3	440	15
計	普通	246	11	256	10	272	10	299	14	307	13	348	14	1,728	72
	知的	7	0	4	1	7	0	6	2	4	0	9	3	37	6
	情緒	3	0	3	1	6	1	1	0	5	1	6	1	24	4
	計	256	11	263	12	285	11	306	16	316	14	363	18	1,789	82

(2) 中学校

令和8年5月1日現在

学校別＼学年別		1学年		2学年		3学年		計	
		生徒数	ｸﾗｽ数	生徒数	ｸﾗｽ数	生徒数	ｸﾗｽ数	生徒数	ｸﾗｽ数
南	普通	163	5	155	5	159	5	477	15
	知的	9	2	6	1	5	1	20	4
	情緒	4	1	8	1	5	1	17	3
	計	176	8	169	7	169	7	514	22
北		8	1	11	1	37	2	56	4
宇佐美	普通	42	2	45	2	57	2	144	6
	知的	2		4	1			6	1
	計	44	2	49	3	57	2	150	7
対島	普通	77	3	64	2	87	3	228	8
	知的	1		2	1			3	1
	計	78	3	66	3	87	3	231	9
門野		62	2	55	2	67	2	184	6
計	普通	352	13	330	12	407	14	1,089	39
	知的	12	2	12	3	5	1	29	6
	情緒	4	1	8	1	5	1	17	3
	計	368	16	350	16	417	16	1,135	48

(3) 幼稚園

令和8年5月1日現在

園別＼年齢別		3歳児		4歳児		5歳児		計	
		園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数
伊東		5		7	1	10	1	22	2
	湯川								
竹の台									
鎌田									
川奈									
宇佐美		5		4	1	8	1	17	2
	宮川								
八幡野		12	1	10	1	9	1	31	3
富戸									
池									
南									
	富士見	6	1	6		7	1	19	2
吉田				6		3	1	9	1
荻		2		8		3	1	13	1
計		30	2	41	3	40	6	111	11

(4) 私立幼稚園

令和8年5月1日現在

園別＼年齢別	3歳児		4歳児		5歳児		計	
	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数
野間自由幼稚園	30	2	31	2	23	2	84	6
計	30	2	31	2	23	2	84	6

(5) 保育園(広域受託児童含む)

令和８年６月１日現在

年齢別 / 園別	０歳児		１歳児		２歳児		３歳児		４歳児		５歳児		計		備　　考
	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	
富士見			7	1	10	1	20	1	22	1	23	1	82	5	
玖須美	3	1	7	1	10	1	11	1	15	1	15	1	61	6	
広野			6	1	7	1	9	1	14	1	11	1	47	5	
宇佐美			8	1	11	1	12	1	19	1	14	1	64	5	
八幡野	5	1	12	1	14	1	16	1	15	1	14	1	76	6	公設民営（指定管理者）
伊豆栄光荻	7	1	15	1	13	1	15	1	15	1	13	1	78	6	私立保育園
伊豆栄光富戸	2	1	13	1	12	1	15	1	15	1	13	1	70	6	私立保育園
伊豆栄光湯川	7	1	15	1	14	1	15	1	14	1	15	1	80	6	私立保育園
つくし	3	1	10	1	12	1	12	1	15	1	14	1	66	6	私立保育園
伊豆栄光なぎさ	5	1	5	1	9	1							19	3	私立小規模保育事業所
ちゅうりっぷ	3	1	6	1	6	1							15	3	私立小規模保育事業所
えん	4	1	5	1	5	1							14	3	私立小規模保育事業所
合　　計	39	9	109	12	123	12	125	9	144	9	132	9	672	60	

(6) 認定こども園(広域受託児童含む)

令和８年６月１日現在

園名 / 年齢別		０歳児		１歳児		２歳児		３歳児		４歳児		５歳児		計		備　　考
		園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	園児数	ｸﾗｽ数	
幼保連携型認定こども園 川奈愛育クラブ	幼稚部							7	1	1	1	3	1	11	3	4歳児クラス及び5歳児クラスについては幼稚部、保育部混合
	保育部	3	1	12	1	12	1	13	1	16		11		67	4	
合　　計		3	1	12	1	12	1	20	2	17	1	14	1	78	7	

6　令和７年度　中学校等卒業生の進路

（令和８年３月卒業生）

学校名				南　中	北　中	宇佐美中	対島中	門野中	合計
A進学者	全日制	県内	公立	125	17	27	45	43	257
			私立	37	11	14	12	22	96
			小計	162	28	41	57	65	353
		県外	公立				1		1
			私立	3	2	1	2	1	9
			小計	3	2	1	3	1	10
	計			165	30	42	60	66	363
	定時制			5	3		2	6	16
	通信制			9	5	4	6	2	26
	高　専					1		2	3
	特別支援高等部			8			1		9
	合計			187	38	47	69	76	417
B	専修学校(高等課程)								
C	専修学校（一般課程） 各種学校								
D	職業能力開発校								
E	就職者（A～Dを除く）			1					1
F	上記以外のもの			1	1			2	4
G	不詳死亡								
H	卒業者総数			189	39	47	69	78	422

（再掲） A・B・Cのうち就職者	Aのうち							
	Bのうち							
	Cのうち							
	計							

進学率	A/H	98.9%	97.4%	100.0%	100.0%	97.4%	98.8%
	(A＋B＋C)/H	98.9%	97.4%	100.0%	100.0%	97.4%	98.8%

7　令和７年度　就学猶予・免除・死亡

区分＼学校	小学校			中学校			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
就学猶予・免除	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死亡	1	0	1	0	0	0	1	0	1
計	1	0	1	0	0	0	1	0	1

8　令和７年度　転入・転出児童生徒数

区分＼校名		小学校								中学校						総計
		大池	宇佐美	八幡野	富戸	池	南	伊東	小計	南	北	宇佐美	対島	門野	小計	
市外	転入	1	2	4	1	(1) 4	4	5	(1) 21	(1) 3	0	2	3	0	(1) 8	(2) 29
	転出	4	4	3	0	2	7	10	30	4	0	1	(1) 1	0	(1) 6	(1) 36
市内	転入	4	0	2	0	0	1	5	12	0	0	0	0	0	0	12
	転出	3	0	1	0	1	4	1	10	0	0	1	0	0	1	11

※（　）内は、海外学校及び県立特別支援学校の転入出者数（内数）

9　学校給食

令和８年度　給食内容別実施内訳

区分	調理場	運営方法	実施校	児童生徒数 (R8.5.1現在)	説明
完全給食	単独校調理場	直営	注1 八幡野小学校	２６２人	◎令和７年度の児童生徒の給食費は市の施策として無償化を実施。 注釈１　八幡野小学校 ・令和５年９月から、八幡野幼稚園で給食開始（八幡野小学校で調理） ・令和６年９月から、池幼稚園で給食開始（八幡野小学校で調理）※現在は休園中
	注2 門野中学校共同調理場	委託	池小学校	５６人	
			門野中学校	１９７人	

完全給食	注3 宇佐美小学校共同調理場	委託	宇佐美小学校	２４０人	注釈２　門野中学校共同調理場 ・令和２年２学期から開始
			宇佐美中学校	１５４人	
完全給食	注4 伊東市学校給食センター	委託	大池小学校	３２９人	注釈３　宇佐美小学校共同調理場 ・平成２６年２学期から開始 注釈４　給食センター ・平成２８年２学期から開始 ・令和３年４月から川奈小学校廃校、２学期から富戸小学校を受配校とした。 ・令和５年４月から、東小学校、西小学校、旭小学校が統合され、伊東小学校となった。
			富戸小学校	６３人	
			南小学校	４４０人	
			伊東小学校	４２７人	
			南中学校	５１４人	
			北中学校	５６人	
			対島中学校	２３１人	

10　特別支援学級

障がいのある児童・生徒に対する教育のため、伊東市就学支援委員会により、適切な就学支援を行っており、伊東小学校、宇佐美小学校、八幡野小学校、南中学校及、対島中学校、宇佐美中学校に特別支援学級を開設している。また、伊東小学校、大池小学校に言語通級指導教室、伊東小学校、大池小学校、南中学校、門野中学校に発達障害通級指導教室を開設している。中学校においては、発達障害通級指導教室の巡回指導を実施している。

令和８年度の特別支援学級の状況は、小学校３校（伊東、宇佐美及び八幡野）で１０学級６１人、中学校３校（南、対島、宇佐美）で９学級４６人が在籍している。

なお、この他、静岡県立東部特別支援学校伊東分校がある。

11　研 究 指 定 校

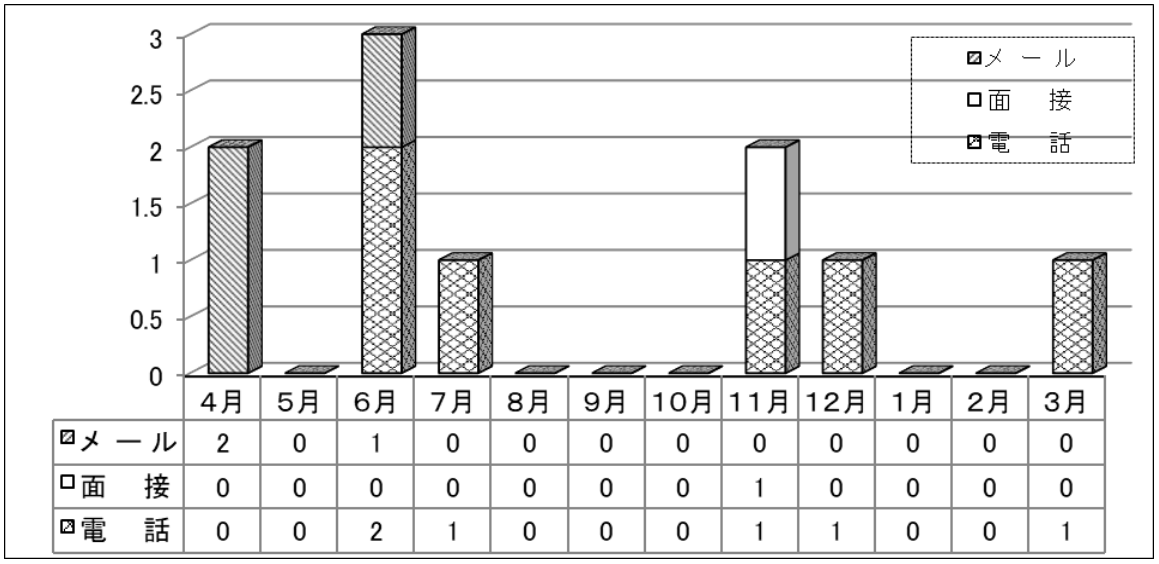
伊東市教育委員会研究指定校

・伊東市立南中学校　　令和７年度～８年度
・伊東市立富戸小学校　　令和８年度～９年度

12　令和７年度　教育相談室利用状況

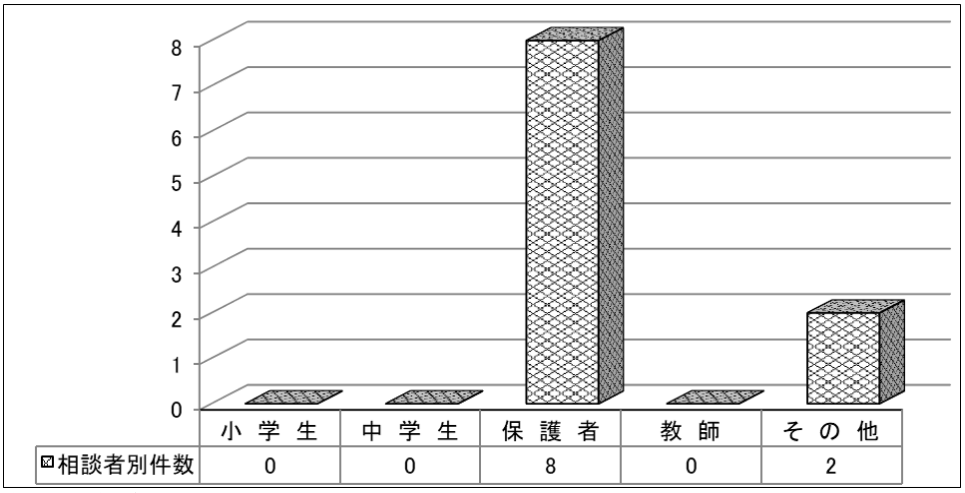
※無言電話を除く

利用状況内訳　　電話　6 件、面接　1 件、メール相談　3 件、総計　10 件



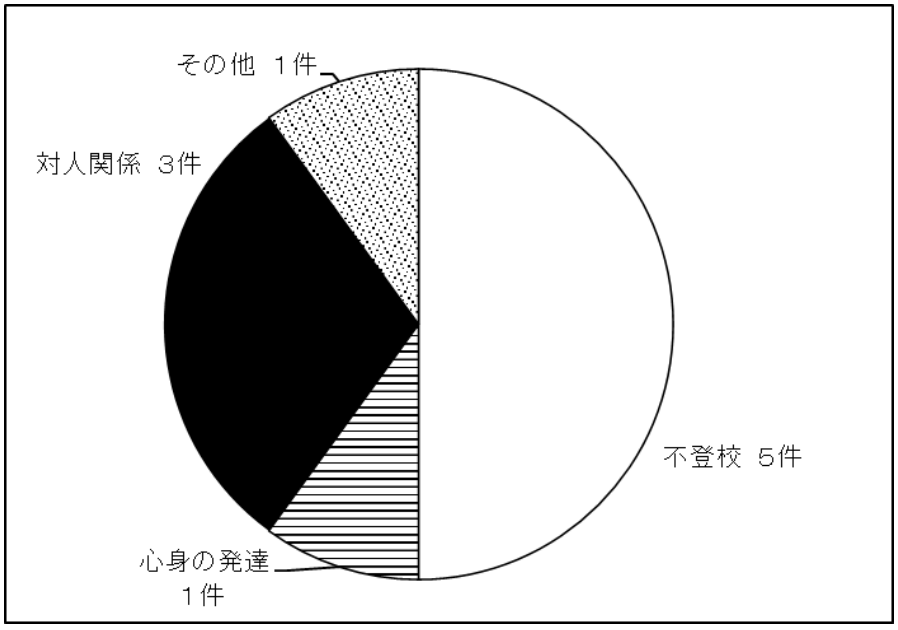
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
メ　ー　ル	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
面　　接	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
電　　話	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	0	1

相談者内訳　　（相談件数　10　件　※無言電話を除く））



	小学生	中学生	保護者	教師	その他
相談者別件数	0	0	8	0	2

相談内容別割合　　（相談件数　10　件　※無言電話を除く）



13　令和7年度　就学援助費及び奨励費

種別		小学校		中学校		合計	
		人数	金額	人数	金額	人数	金額
		人	円	人	円	人	円
入学準備費		85	4,906,980	7	441,000	92	5,347,980
学用品及び通学用品費		242	3,135,403	165	3,923,238	407	7,058,641
校外活動費	宿泊あり	36	228,963	0	0	36	228,963
	宿泊なし	147	275,514	91	413,393	238	688,907
給食費		0	0	0	0	0	0
修学旅行費		52	1,648,062	49	3,343,648	101	4,991,710
通学費		2	42,110	5	130,600	7	172,710
体育実技用具費		0	0	16	87,080	16	87,080
医療費		0	0	0	0	0	0
特別支援教育就学奨励費		52	543,662	30	1,309,010	82	1,852,672
計		360	10,780,694	188	9,647,969	548	20,428,663

（表中各種別は延べ人数、計欄は実人数）

14　令和７年度　日本スポーツ振興センター掛金及び給付金

種別		掛金				給付金	
		人数	保護者負担	市負担金	計	件数	金額
小学校	一般	1,679	688,390	881,475	1,569,865	228	1,387,059
	要保護	24	0	1,320	1,320		
	準要保護	227	0	212,245	212,245		
	計	1,930	688,390	1,095,040	1,783,430		
中学校	一般	1,011	414,510	530,775	945,285	254	2,806,141
	要保護	14	0	770	770		
	準要保護	160	0	149,600	149,600		
	計	1,185	414,510	681,145	1,095,655		
幼稚園	一般	153	26,010	17,595	43,605	10	45,692
保育園	一般	356	99,360	30,580	129,940	10	104,928
	要保護	3	0	165	165		
	計	359	99,360	30,745	130,105		
合計	一般	3,199	1,228,270	1,460,425	2,688,695	502	4,343,820
	要保護	41	0	2,255	2,255		
	準要保護	387	0	361,845	361,845		
	計	3,627	1,228,270	1,824,525	3,052,795		

15　令和８年度　使用教科書一覧

⑴　小　学　校

教　　科	発　　行　　所	記　号	学　　年
国　　語	光村図書㈱	国　　語	1・2・3・4・5・6
書　　写	光村図書㈱	書　　写	1・2・3・4・5・6
社　　会	東京書籍㈱	社　　会	3・4・5・6
地　　図	㈱帝国書院	地　　図	4・5・6
算　　数	学校図書㈱	算　　数	1・2・3・4・5・6
理　　科	学校図書㈱	理　　科	3・4・5・6
生　　活	教育出版㈱	生　　活	1・2
音　　楽	教育出版㈱	音　　楽	1・2・3・4・5・6
図　　工	日本文教出版㈱	図　　工	1・2・3・4・5・6
家　　庭	開隆堂出版㈱	家　　庭	5・6
保　　健	東京書籍㈱	保　　健	3・4・5・6
外　国　語	東京書籍㈱	外 国 語	5・6
道　　徳	㈱光文書院	道　　徳	1・2・3・4・5・6

⑵　中　学　校

教　　科	発　　行　　所	記　号	学　　年
国　　語	光村図書㈱	国　　語	1・2・3
書　　写	光村図書㈱	書　　写	1・2・3
社　　会	東京書籍㈱	地　　理	1・2
	東京書籍㈱	歴　　史	1・2・3
	日本文教出版㈱	公　　民	3
地　　図	㈱帝国書院	地　　図	1・2・3
数　　学	学校図書㈱	数　　学	1・2・3
理　　科	東京書籍㈱	理　　科	1・2・3
音　　楽	教育出版㈱	一　　般	1・2・3
	教育出版㈱	器　　楽	1・2・3
美　　術	日本文教出版㈱	美　　術	1・2・3
保 健 体 育	東京書籍㈱	保　　体	1・2・3
技 術 家 庭	開隆堂出版㈱	技　　術	1・2・3
	開隆堂出版㈱	家　　庭	1・2・3
英　　語	開隆堂出版㈱	英　　語	1・2・3
道　　徳	東京書籍㈱	道　　徳	1・2・3

16　令和８年度　教科等研究員

教科等	氏名	校名	教科等	氏名	校名
国語	山下　純平	南小	技術・家庭	鈴木　陶也	対島中
社会	今井　康裕	対島中	外国語	田中　秀樹	対島中
算数・数学	田中翔太朗	大池小	生活・総合	小川　淳	池小
理科	細谷　裕二	伊東小	道徳	堀野みゆき	宇佐美小
音楽	掬川ふみ代	門野中	特別活動	吉良　浩典	大池小
図工・美術	渡邉　知美	南中	特別支援教育	鈴木　慎一	伊東小
保健体育	望月　哲也	南中			

17　令和８年度　学校関係団体

団体名	代表者	事務局所在地	団体名	代表者	事務局所在地
校長会	関野　耕一	南小	中体連	後藤　康仁	対島中
教頭会	木村　誠	対島中	中文連	髙橋　賢	北中
教育研究会	宮原　省吾	宇佐美中	園長会	池田 千栄子	伊東幼稚園
学校保健会	岡田　典之	教育委員会	ＰＴＡ連絡協	安東　忍	南小

18　令和８年度　　伊東市校長会組織分担表

令和8年4月1日現在

伊東市校長会

役		氏 名
会　長		関野
副会長		稲葉
幹　事	小	森田
	中	濵村
庶務・会計		後藤亜
監　査		★　宮原
		中村
厚　生		★　後藤
		中村
		本荘
教頭育成		内田
主幹・教務育成 教育課程	小	牧野
	中	髙橋
学校経営		稲葉
研修		★　内田
		本荘
危機管理 不祥事・災害・感染症		★　関野
		森田
		濵村
金融機関対策		森田
幹事会 会長・副会長・小中幹事・教研会長		

東豆校長会（伊東）

役			氏 名
会　長			◎　関野
小学校部会幹事			森田
中学校部会幹事			◎　濵村
研究推進委員			◎　宮原
専門委員会	研究部会	学校経営	
		教育課程	
		生徒指導	
		特別支援	
	対策・特別委	人・定・給	中村
		福利・厚生	◎　牧野
		進路対策	内田
		研究構想	
		顕 彰 会	◎　後藤亜
特別支援学級設置校幹事会			森田
不祥事根絶推進委員会			本荘
県校長会代議員			長　関野
			副　稲葉
人　事			関野
中体連			◎　後藤
中文連			髙橋
教員指導力向上			
東豆教育講演会			◎　髙橋
厚　生			◎　後藤
会　計			◎　後藤亜
会計監査			◎　宮原

市教研

役	氏 名
会　長	宮原
副会長	関野
文集編集	内田
経　営	
国　語	中村
書　写	◎　稲葉
社　会	髙橋
算数・数学	◎　牧野
理　科	◎　内田
音　楽	森田
図工・美術	◎　後藤
保健体育	◎　本荘
技術・家庭	稲葉
英　語	後藤亜
生活総合	◎　濵村
道　徳	後藤亜
特別活動	本荘
学校保健	内田
図書館	髙橋
情報教育	◎　中村
特別支援	森田
生徒指導	牧野
学校給食	◎　後藤
事　務	◎　濵村
小規模教育	

外部団体（市）

役		氏名
市Ｐ連副		関野
公民館運営兼社会教育		本荘
福祉評協		稲葉
交通安全		中村
青少年問題協議会	小	牧野
	中	髙橋
補導センター 運営委	小	牧野
	中	髙橋
学　警　連	小	牧野
	中	髙橋
要保護児童 対策 地域協議会	委	牧野
	担	髙橋
	担	養教
学校警察協議会		教育指導課長
なぎさ協議会		森田（小）
		内田（中）
児童館運営		中村
民生委員推薦		宮原
男女共同参画		濵村
子供子育て会議		後藤亜
スポーツ団体担当		森田・後藤
総合戦略推進委員会		関野
市文化振興委員会		後藤亜
育英奨学選考委		中学校長

外部（県・東部）

役	氏名
静教研	◎　宮原
県教育会館	◎　関野
県学校保健会	内田
県学校給食会	◎　後藤
東豆中体連	◎　後藤
東豆中文連	髙橋
日本教育会	◎　関野
東豆教育協議会	関野
東豆租税協議会	関野・本荘
静教研 東豆地区 評議員	
（校長代表）	熱海
（教員代表）	伊東
東豆互助組合	関野

◎は東豆代表

熱海市・伊東市教育研究会統合協議会	
校長	稲葉
教頭	土屋

19　大規模・突発地震発生による学校・家庭の対応

<table>
<tr><td colspan="2">居場所</td><td>登校中</td><td colspan="3">学校にいるとき</td><td>下校中</td><td>家にいるとき</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td>授業中</td><td>休み時間</td><td>放課後</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">学校の対応</td><td>児童生徒</td><td>●家に帰った方が近い者はそのまま家に帰る
●学校に近い者、すでに登校している者は教室へ入る
●大きな塀や屋根の下からはなれる
●海岸に近い場合は、津波を避けるため、できるだけ高い所へ避難する</td><td>●机の下に身をかがめる
●教員の指示に従う
●引き渡しにより保護者と下校する</td><td>●外にいる場合は、校舎からできるだけはなれる
●教室にいた人は、机の下に身をかがめる
●ゆれがすんだら、教員の指示に従う</td><td>●外にいた人は、校舎からできるだけはなれる
●教室にいた人は、机の下に身をかがめる
●ゆれがすんだら、教員の指示に従う</td><td>●大きな塀や屋根の下からはなれる
●ゆれがすんだら学校か家の近い方へ行く
●海岸に近い場合は、津波を避けるため、できるだけ高い所へ避難する</td><td>●家の人の指示に従う
●自宅に待機する</td></tr>
<tr><td>職員</td><td>●そのまま出勤し、すでに登校した児童の掌握に当たり、人数を正確に把握する
●学校周辺にいる児童生徒を学校に誘導する
●保護者に引き渡す準備をする
●担任以外は係分担に従って行動する</td><td>●児童生徒を机の下にもぐらせ、安全を確かめる（被害状況確認）
●児童生徒を運動場へ誘導する
●担任以外は係分担に従って行動する（防災点検）
●児童生徒の人数を確認して「引き渡し」の準備をする</td><td>●担任以外は係分担に従って行動する（防災点検）
●ゆれがすんだら教室へ戻り安全を確かめる（被害状況確認）</td><td>●学校に残っている児童の人員、安全を確かめる（被害状況確認）
●教室に戻って残留者の有無を確かめる</td><td>●学校周辺にいる児童の帰宅指導に当たる
●帰宅不能者の指導管理に当たる
●災害応急対策要員は学校に引返し、学校長の指示に従う
●応援要員は自宅待機</td><td>●災害応急対策要員は出勤し、応援要員は学校の指示を待つ（被害状況確認）</td></tr>
<tr><td colspan="2">居場所</td><td>登校中</td><td colspan="3">学校にいるとき</td><td>下校中</td><td>家にいるとき</td></tr>
<tr><td rowspan="3">家庭の対応</td><td>保護者</td><td>●子供が登校した場合は引き取りに行く</td><td colspan="3">●火のしまつをする（ガス栓をしめる、コンセントを抜く）
●学校へ児童を「引き取り」に行く</td><td>●子供が学校に戻った場合は引き取りに行く</td><td>●火のしまつをする
●津波やがけくずれの恐れのあるところは避難する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童生徒</td><td rowspan="2">●場所に応じて適切な避難行動を行う
●避難する場所をあらかじめ決めておく</td><td>友達の家にいたとき</td><td>塾やけいこごとのとき</td><td></td><td rowspan="2">●登校中に同じ</td><td rowspan="2">●自宅に待機し、各家庭の判断により必要であれば避難する</td></tr>
<tr><td>●室内での避難行動をとる
●大人の指示に従う</td><td>●右に同じ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">避難場所</td><td>1次</td><td>●近くの安全な場所
●自宅又は学校の近い方</td><td colspan="3">●校内（運動場）</td><td>●登校中に同じ</td><td>●各所</td></tr>
<tr><td>2次</td><td></td><td colspan="3">●必要に応じて校外</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先</td><td colspan="6">●学校　●家庭　●保護者が学校に提出している緊急連絡先</td></tr>
</table>

Ⅵ　生涯学習

1　生涯学習の主要施策

⑴　生涯学習社会の進展に向けて

教育行政は「人づくり、地域づくり」のための社会教育のあり方を基調としつつ、地域と家庭、そして学校がそれぞれの役割を明確にし、更なる連携を強化し、生涯学習の基盤充実や各種事業の拡充に努め、生涯学習社会の構築を図っていく。

本市教育委員会では、「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」を目標に、市民が生涯を通じていつでも、どこでも、いつまでも自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、生涯学習大綱に基づく施策の実施、時代に即応した社会教育の充実、市民一人一文化一スポーツの実践、更にあいさつ運動を日常生活の中で展開すべく、次に掲げる諸施策を積極的に進め、本市教育の振興を図っていく。

⑵　人間形成の基盤を培う家庭教育の充実

近年は、核家族化などもあり親の育児に対する知識や経験が不足し、「わが子を育てる」ことに不安を抱く親が増加していると考えられるため、親の責任意識の醸成を図り、人として生きていくための家庭におけるしつけや思いやりの心を育てるための教育として、地域や学校と連携し、家庭教育や子育てなどの講座や相談体制の充実に努める。

①　家庭教育学級の開設

市内小・中学校及び幼稚園・保育園に家庭教育学級を開設するよう呼びかける。

学習課題は、家庭におけるわが子のしつけや一般教養、健康講座などテーマを幅広く取り上げ、学級生相互の情報交換とコミュニケーションの場とする。

②　家庭教育支援活動の実施

すべての親が安心して家庭教育を行えるよう家庭教育支援アドバイザーによる講座を開設し、幼稚園、保育園、小・中学校等との連携により、保護者への学習機会の提供等を行う。

ア　家庭教育支援講座

幼稚園、保育園、小・中学校における懇談会や家庭教育学級等において静岡県教育委員会が作成した家庭教育ワークシート「つながるシート」を活用した講座を実施する。

イ　親学講座

小・中学校の入学説明会等で新入生保護者を対象とした講座を実施する。

⑶　地域と一体になった青少年の健全育成

子どもの活動の場を地域へ求めているが、青少年の健全育成を目的とした多くの団体は、少子化などもあり活動することが難しくなっている現状がある。

昨今、SNS などの普及で青少年を取り巻く環境は急激に変化し、様々な問題が潜在化しているほか、近年は非行の凶悪化や低年齢化、また不登校などの問題もある。

こうした事態を重大に受け止め、青少年の問題を大人の問題としてとらえ、まず大人が姿勢を正し、モラルの向上や地域の教育力を高めていくための運動を推進し、青少年の心を育てる大人の輪を広げるための活動を展開していくよう努める。

① 青少年問題協議会

青少年の指導・育成・保護及び総合的施策の樹立のため関係機関及び団体相互の連携を図る。

② 青少年補導センター

青少年の被害・非行を防止するために、各地域及び関係機関などから選任された補導員により街頭補導を実施している。また、地域の有害環境等を調査し、地域の実態に即した環境整備に努める。

③ 青少年の健全育成（組織活動の支援）

青少年の健全育成は、市民すべての願いである。広く市民総ぐるみの運動を展開し、次代を担う青少年の心身の健全な育成が図れるよう、PTA 連絡協議会等の活動を支援する。

④ あいさつ運動の推進

住民相互のあいさつや声かけは、地域づくりや安全な環境づくりという観点からも、大きな効果が認められることから、青少年にとって、明るく健全な社会環境をつくるため、「あいさつの声が響きあうまちづくり」をキャッチフレーズに、市全体で「あいさつ運動」を推進する。

そこで、趣旨の賛同者を募集するとともに、学校や各団体及び事業所等と連携を図り、組織的にあいさつの輪を広げていき、地域住民一人一人が地域への所属感をもち、より良い人間関係を構築するための一助として、この「あいさつ運動」を展開していく。

また、県の「青少年の被害・非行防止強調月間（７月）」と「子ども・若者育成支援強調月間（１１月）」に併せて「伊東市あいさつ運動市民一斉活動」を年２回開催する。

⑤ 少年教育

近年の子どもたちは室内での遊びを好み、地域に出て、自然や文化に触れる機会や地域の仲間と一緒に遊ぶといった直接体験をすることが少なくなっている。

将来に向けて、少年たちの人間性豊かな人格の形成を図るため、市主催事業などを通じて、集団的な体験学習を通じてのルールの尊重、責任感、協調性などを学ぶ機会を提供する。

ア 小学生ふるさと教室

小学５・６年生を対象に、郷土の史跡や文化に触れるとともに、農業や漁業、伝統行事など様々な体験を通じ、郷土・伊東を学び、伊東を愛する心を育てることを目的として、年間を通した教室を開催する。

イ わたしの主張発表会

市内５中学から選抜された中学生（各校２人以内）が、日ごろ、家庭・学校・地域及び仲間について思っていることを広く市民に訴え、社会の一員としての自覚を高める契機とし青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深める。

ウ 青少年育成プログラム“みち”事業

小学５・６年生を対象に、姉妹都市の長野県諏訪市において２泊３日のものづくり体験を行うほか、仲間を通じて友情・責任・協調・忍耐の精神と社会性

を養う。

エ　放課後子ども教室推進事業

少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能・教育力の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保とともに、次世代を担う児童の健全育成として支援していく。

オ　リーダー養成事業「夢チャレンジくらぶ」

中高生を対象に、年少者を指導育成する能力を備えるため、小学生ふるさと教室にリーダーとして参加させ、共に郷土を学びながら活動を通して社会性やリーダーシップを培う。

カ　善行賞

子どもたちの善い行いを、できるだけ多く認め、励まし、その行いの輪を広げるとともに、人や社会のために進んで行動しようとする意欲を高めるため、各校及び地域から推薦された児童・生徒を表彰する。

⑥　青少年健全育成活動応援補助金

本市の未来を担う青少年の健全育成を推進するために行う活動に対し、伊東市青少年健全育成活動応援補助金を交付する。

⑦　二十歳式

平成１８年４月２日～平成１９年４月１日生まれの方を対象に、厳粛で温かみのある二十歳式（旧成人式）を開催する。

⑷　心豊かな人生をつくり出す生涯学習講座の充実

市民が「いつでも、どこでも、いつまでも」生涯にわたって学べるよう、生涯学習講座の充実を目指す。急速な科学技術の発達、少子高齢化、多様な情報化などにより、私たちの生活環境は大きく変化し、市民は、より高度で多様な生涯学習の機会を求めている。これらの要求に応えるため、生涯学習センター中央会館を学習拠点とし、ひぐらし、池、赤沢、荻の各会館や各コミュニティセンターを活用した成人向けの講座・教室・学級を開設するとともに、生涯学習自主グループの活動についても支援していく。

①　市民大学講座の開設

公民館事業の一環として、昭和５６年度から開設。市内で活動する講師の発掘や、講座修了後に自主サークル活動へ移行するサポートを行い、生涯学習活動の振興に努める。

②　女性教育

女性の個性と能力があらゆる分野で発揮されることが、社会の安定と発展のためにますます重要となっていることから、いとうレディス２１の活動に対する支援を行い、女性リーダーとしての資質の向上を図る。

③　いでゆ大学

高齢者の豊富な人生経験を社会に活かしながら、自らも余暇を楽しむための学習機会を提供することを目的として「いでゆ大学」を開設する。

また、講座の卒業者が自主的に運営する「いでゆ大学 OB 会」も支援していく。

④　市民憲章の実践

昭和４２年８月市制施行２０周年を記念して制定された「伊東市民憲章」の実践活動は、社会教育活動でもあるので、機会あるごとに市民憲章の唱和をし、周知を図る。

⑤　無線 LAN 環境整備事業

スマートフォンやタブレット等の普及により多様化する市民ニーズに対応するため、各施設に公衆無線 LAN を計画的に整備し、利用者の情報収集や利便性向上と災害時等における情報通信環境の確保を実現する。

⑸ 伊東市新図書館建設事業

①　図書館・文化ホール建設に向けた検討会

平成３０年３月に作成した『図書館・文化ホール建設に向けた整備の方向性』を基に、平成３０年１０月に図書館及び文化ホールの建設候補地及び建設形態について検討する有識者会議を発足させた。

有識者会議では、多様化及び高度化する利用者ニーズ等に対応した本市にふさわしい施設建設に向け、地域タウンミーティングや未来ビジョン会議の情報共有、伊東市小・中学校の適正配置や県立高校の統廃合等の動きにも注視しながら、先進地視察の実施や民間活力の活用も含めた多角的な見地からの議論を進めた。

令和２年１１月までに９回の検討会を開催し、令和元年１０月９日には中間報告として、「図書館と文化ホールを別々に建設すること」、「新図書館は『マンダリンホテル跡地』を候補地として先行して建設すること」を市長に報告した。

この報告を踏まえ、令和元年１０月２８日の市長定例記者会見にて、「図書館・文化ホールを別々に建設する」、「新図書館については『マンダリンホテル跡地』を候補地として、先行して建設する」として、新図書館基本構想の策定に着手した。

また、新文化ホールについては、市内小・中学校の適正配置や県立高校の統廃合を見据え検討を進めるとする中で、有識者会議では、令和２年１２月２４日に建設地を『伊東駅前』・『統合後の西小学校』の２か所に選定するとした最終報告を行った。今後は所管を市長部局に移し、新たに文化拠点となる建設候補地を有識者会議で選定された２か所のほか、民間事業者から自己所有地を候補地とする意見や提案を広く求め、候補地の条件整理や比較検討を行い、基本構想、基本計画の策定に繋げる取組を実施していく。

②　伊東市新図書館基本構想の策定（令和２年度）

図書館機能と生涯学習センター機能を併せ持つ施設の移転建設に向け、伊東市新図書館基本構想策定委員会及び市民ワークショップを開催し、広く意見を伺う中で、下記事項を取り入れた「伊東市新図書館基本構想」を策定した。

ア　新図書館においては、①交流、②一般コーナー、③伊東市情報センター、④児童コーナー、⑤ティーンズコーナー、⑥生涯学習センター、⑦ＩＣＴの７つの機能を拡充

イ　伊東市新図書館コンセプト：『夢と未来を育む図書館』～ひとりひとりの創造拠点～

ウ　蔵書目標等

・目標蔵書冊数：３３．３万冊

・児童書割合：２５％程度（８３，２５０冊）

・閉架率：５０％程度（約１６．７万冊程度）

エ　施設面積の検証（以下３案について検証）

	①拡充する機能を全て入れ込んだ案	②各機能を融合した案	③各スペースを多目的に活用した案
延床面積	７，５００㎡	６，０００㎡	５，０００㎡
超概算工事費	３７．５億円	３０億円	２５億円

③　伊東市新図書館基本計画の策定及び伊東市新図書館基本設計・実施設計の完了（令和３年度～令和４年度）

「伊東市新図書館基本構想」で掲げた３案をベースに伊東市新図書館の整備に向けた詳細な検討を行い、市民が「未来を拓く」ことのできる図書館の実現を目指した「伊東市新図書館基本計画」を策定した。あわせて、一体的に検討を進め、「伊東市新図書館基本設計」及び「伊東市新図書館実施設計」を完了した。

ア　新図書館の目指す姿

・地域の情報を集約し、新図書館において拡充が必要な７つの機能・サービスを結び付ける役割を持ち、誰もが利活用できるエリア「まちのミュージアム」を施設の中心部に構築

・郷土資料を中心に、市内に点在している自然資源、歴史文化資源、観光資源に関する情報や、市民活動の記録・成果等も「まちの情報」と位置付け、「まちのミュージアム」に集約・編集・発信

イ　サービスの基本的な考え方

・地域の魅力発信：「まちのミュージアム」を通じた伊東に関する様々な情報・資料の収集・提供や魅力発信

・創造を生み出す活動と情報の一体的な提供：本・情報とスペース・活動等の一体的な提供

・ＩＣＴによる新たな体験の提供：ＩＣＴの活用を通じた利便性の向上や創造的な活動等の促進

ウ　施設整備の基本的な考え方

・動的な活動（低層階）から静的な活動（上層階）へと段階的なゾーニング

・各フロアに配置する「まちのミュージアム」を媒介とした機能融合

エ　ゾーニング及び配架方針

・オープンスペースを基本とし、従来の図書館機能・生涯学習機能の諸室を各フロアに分散配置

・資料の探しやすさに加え、思いがけない本との出会いや地域の魅力発見等の視点も重視して配架を計画

オ　収容冊数並びに施設の規模及び機能等

基本計画においては、収容冊数３３．３万冊、施設規模５，０００㎡を目安に検討を深めた。その後、各種機能等の合理化を図り、基本設計・実施設計と

して、以下のとおり決定した。

◎　施設の規模（実施設計終了後）

構　　造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造５階建て（駐車場は１階及び２階部分）	
敷地面積	４，０１２．２９㎡	
延床面積	７，３６５．７１㎡	【施設屋内面積：４，６６０．１０㎡】 【１・２階屋内駐車場等 ：２，７０５．６１㎡】
駐車台数	１１０台（１階９１台、２階１９台）	
収容冊数	約３０万冊	

◎　施設の機能（実施設計終了後）

階数	フロアコンセプト・機能	閲覧席	学習席
５階	知と文化を集積し活用するフロア		
	一般資料・郷土資料（開架・閲覧スペース）、学習室２、グループ学習室２・３、会議室２・３、活動の部屋２　等	５７席	ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習室２　６席 ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習室３　６席 学習室２　３２席
４階	豊かな蔵書を感じる閉架フロア		
	閉架書庫、作業スペース　等	―	
３階	成長と好奇心のフロア		
	児童・ティーンズ資料（開架・閲覧スペース）、学習室１、グループ学習室１、キッズスペース・おはなし室、会議室１、事務室　等	８３席	ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習室１　６席 学習室１　３０席
２階	丘とつながる創造のフロア		
	屋根下広場（臨時駐車場）、屋外広場、小ホール、活動の部屋１、ファブスペース、視聴覚スペース、可動書架、閲覧スペース　等	６９席	
１階	施設の顔となる憩いのフロア		
	駐車場、カフェ・ショップ、移動図書館車用車庫、バックヤード、予約棚　等	１４席	
合　　計		２２３席	８０席

④　伊東市新図書館新築工事への着手（令和５年度）

令和４年度に実施設計が完了したことに伴い、令和５年７月からの工事着手に向け新図書館新築工事の入札を執行したが、不調となった。

ア　令和５年４月１１日に入札公告、５月２５日に開札を執行したが、参加意向を示した２共同企業体のうち、一つは辞退、もう一つは予定価格内での応札とならず、不調という結果となった。

イ　令和５年５月の入札不調後、従来計画の早期実現に向けた手法を模索したが、建設資材・人件費の高騰が今後も見込まれること、公共事業の入札不成立となる状況が落ち着く見込みがないことなど、社会情勢を総合的に考慮し、現計画のコンセプトや概念は維持しつつ蔵書スペースの一部縮小や諸室の統合等を図り、事業費を縮減するための再設計業務を実施する旨、決定した。

（令和５年１１月２７日：市長定例記者会見にて発表）

ウ　再設計に向けたアンケートの実施

令和６年度からの再設計業務の実施に向け、『夢と未来を育む図書館』～ひとりひとりの創造拠点～というコンセプトは変更することなく、リサイズ（サイズダウン）を実施するため、再設計後も残したい機能を伺うアンケートを実施した。

⑤　伊東市新図書館再設計業務の実施（令和６年度）

これまでの議論を無駄にしないためにも、ゼロベースではなく、従来計画のコンセプトや概念は維持し、令和５年度に実施したアンケート結果を反映しつつ、蔵書スペースの一部縮小や、諸室の統合等により施設全体のサイズダウンを行うための再設計業務を実施した。

◎　施設の規模（再設計：実施設計終了後）

構造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造５階建て（駐車場は１階）
敷地面積	４，０１２．２９㎡
延床面積	５，７５８．１０㎡　【施設屋内面積：３，８８２．５５㎡】 【１階屋内駐車場：１，５２０．６３㎡】 【軒下広場ほか：３５４．９２㎡】
駐車台数	８８台
収容冊数	約２５万冊　開架：約１０万冊、閉架：約１５万冊

◎　施設の機能（実施設計終了後）

階数	フロアコンセプト・機能	閲覧席	学習席
５階	**知と文化を集積し活用するフロア** 一般資料・郷土資料（開架・閲覧スペース）、静寂読書室、会議室、活動の部屋　等	**７０席**	静寂読書室　**３２席**
４階	**豊かな蔵書を感じる閉架フロア** 閉架書庫、作業スペース　等	**―**	
３階	**成長と好奇心のフロア** 児童・ティーンズ資料（開架・閲覧スペース）、学習スペース、キッズスペース　等	**８４席**	学習ｽﾍﾟｰｽ　**１６席**
２階	**丘とつながる創造のフロア** だんだん広場、軒下広場、小ホール、ファブスペース、視聴覚スペース、可動書架、閲覧スペース、事務室、予約棚　等	**５２席**	ﾌｧﾌﾞｽﾍﾟｰｽ　**２４席**
１階	**施設の顔となる憩いのフロア** 駐車場、カフェ・ショップ、移動図書館車用車庫、バックヤード　等	**２９席**	
合　計		**２３５席**	**７２席**

⑥　伊東市新図書館建設事業に係る従来計画の中止について（令和７年度）

令和７年度においては、新図書館建設工事の入札公告を行い、建設に向け手続を進めていたが、市政運営方針の見直し等により当該入札を中止した。その後、従来計画の取扱いについて検討を行った結果、従来計画の中止を決定した。

ア　経過について

令和１０年５月の開館を目指して事業を進めてきたが、５月の市長選挙の結果を受け、新築工事の入札を中止した。

その後、令和７年６月議会において工事費等の皆減を含む予算案を提出したが、補助金の取扱い及び都市再生整備計画の見直し可能性等を踏まえ、修正のうえ当初予算案どおり可決された。

イ　代替案の検討について

代替案として、①旧西小学校のリノベーション案、②現伊東図書館の長寿命化案について検討したが、いずれも建物の制約、耐用年数及び費用対効果の不確実性が大きく、長期的な図書館機能の確保は困難と判断した。

ウ　事業の取扱いについて

さらに、都市再生整備計画の最終年度までの供用開始は困難との見通しとなり、関係機関との協議結果も踏まえ、同計画の見直しが求められる状況となった。

これらを総合的に勘案し、新図書館建設事業については一旦白紙とし、ゼロベースでの再検討を行うこととなった。

⑹ 郷土に根ざした香り高い文化の振興

市民の生涯学習に対する関心はますます高くなり、心豊かで生き甲斐のある生活を創造するための芸術文化の振興は大きな役割を担っている。

地域の香り高い文化を創造するため、「市民一人一文化」を掲げ、伊東市文化振興基本構想をもとに、芸術祭、姉妹都市との交流など、文化協会をはじめとする関係団体等の協力を得る中で、より多くの市民の文化活動への参加を求める一方、関係団体の活動を援助する。

また、文化財の保護、保存に努めるとともに、市民が文化財に愛着をもち、身近に接することができるよう、「文化財講座」などを通じ、文化財に親しむ機会を拡充し、文化財愛護の精神を育てる。

① 芸術祭の開催

市民が芸術・文化に触れる機会を提供するため、市芸術祭を開催する。

② 姉妹都市との交流

市文化協会をはじめ、市内関係団体による姉妹都市「諏訪市」との交流を図り、両市民の文化の交流・発展に努める。

③ 観光会館文化芸術事業の開催

観光会館での文化芸術事業として、舞台公演等を実施する。

④ 文化団体の育成

市民の自主文化活動を支援するため、諸文化団体を包括する文化協会の活動を援助し、その育成に努める。

⑤ 文化財の保護

文化財は、先人から受け継がれた市民の共有財産である一方、時の経過とともに失われるものも多いため、有形無形の文化財の現状を把握し、保護対策に努めると

ともに、文化財に対する理解を深め、愛護思想を普及し郷土愛を育む。

また、埋蔵文化財については、包蔵地を把握して広く一般に周知するとともに、開発行為との調整により保護が困難である場合は、発掘調査を実施し、記録保存の形で先人の遺産を永く後世に伝える。

⑥　文化財管理センター

伊東市文化財管理センターにおいては、市内から出土した埋蔵文化財や市民から寄贈された民俗資料などを集中的に管理保管し、その一部を展示公開している。

（月曜日休館）

名　　称	開設年月日	敷地面積	建物面積	施　設　内　容
文化財管理センター	平成８年 ４月１日	2,178㎡ 幼稚園園庭を含む	1,836㎡	鉄筋地下１階地上３階建 展示室・収蔵室・図書資料室・編集室・展開室・写真資料庫・暗室・機材庫

令和７年度の文化財管理センター入館の状況

開館日数306日　入館者1,182人　１日平均入館者3.9人

⑦　郷土資料館

郷土資料館の建設については、観光資源としての活用も含め、構想を具体化するための研究協議を継続していく。

⑧　木下杢太郎記念館

昭和６０年度に開館した市立木下杢太郎記念館の整備を進め、資料の収集充実を図るとともに、特別展を始め、ミニ展示・特集展示等を開催する。

令和７年度木下杢太郎記念館入館者状況

開　館　日　数		305日
有料入館者	大　人	3,324人
	小　人	44人
無料入館者	大　人	287人
	小　人	190人
合　　計		3,845人
一　日　平　均		12.6人



木下杢太郎記念館

⑺　伊東市史刊行

伊東市の原始時代から現代にいたる先人の歩みを明らかにし、これまでに発見された新たな歴史資料や研究の成果を取り入れ、市民の郷土に対する理解を深め、次の世代に歴史、文化を継承していくことを目的として、平成１１年度から伊東市史編さん事業として、伊東市史資料編等を刊行してきた。

平成２９年度からは市史資料管理事業として、収集された歴史資料の管理や公開を行うとともに、より伊東の歴史をわかりやすく解説する通史編を刊行しており、令和２年度に『伊東市史 通史編 伊東の歴史Ⅲ - 明治・大正・昭和 - 』が完成した。また、一連の市史関係図書の刊行のために収集してきた古文書・古写真・統計書などの関係

史料の体系的な保管と活用を図るために、目録作成とデジタル化などの業務を進めている。

市史編さん事業で刊行された出版物

伊東市史　史料編 『考古・文化財』、『古代・中世』、 『近世Ⅰ』、『近世Ⅱ』、『近現代Ⅰ』、『近現代Ⅱ』	
伊東市史別編　『伊東の自然と災害』	図説　伊東の歴史
市史調査報告　第１集～第３集	伊東市史研究　１号～１１号
伊東市史叢書　第１集～第６集	伊東市史通史編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

2　令和7年度　生涯学習講座参加実績等

⑴ 市民大学講座

	開設講座名	講　　師	開設時期・時間	回数	募集人数	申込人数	受講人数	出席率	備　　考
前期	本格二八そば入門	熊田　洋一	5月1日・8日・15日・22日 木曜日　10:00～12:00	4回	16人	19人	16人	100%	会場 宇佐美コミセン
	下絵を美しくデザイン！伝統工芸蒔絵体験	森　薫子	5月13日 火曜日　①10:00～12:00 ②13:30～15:30	2回	①10人 ②10人	①11人 ②10人	①11人 ②10人	①100% ②100%	会場 ひぐらし会館
	伊東歴史さんぽ	島田　冬史	5月19日・26日・6月2日 月曜日　9:30～12:00	3回	15人	24人	19人	92%	会場 市内各所
	指で描くパステルアートで花を描こう！	堀井　富士子	5月21日・28日・6月4日 水曜日　13:30～15:30	3回	12人	14人	12人	97%	会場　ひぐらし会館
	60代からのお金の勉強−生活スキルを高めよう−	鈴木　昭男	6月10日 火曜日　10:00～12:00	1回	20人	17人	14人	82%	会場 ひぐらし会館
	楽しく学ぶ浴衣の着付け	川口　友美	6月20日・27日・7月4日 金曜日　10:30～12:00	3回	20人	14人	14人	98%	会場 ひぐらし会館
中期	初めての魚のさばき方講座	福田　素士	10月9日・16日・23日 木曜日　10:00～12:00	3回	15人	58人	15人	98%	会場 健康福祉センター
	ノルディックウォーキング	遠藤　眞一	10月15日・29日 11月5日・12日・26日 水曜日　9:30～11:30	5回	10人	6人	6人	97%	会場 奥野ダム

中期	民謡 伊東温泉小唄	田村　貢声	①9月11日 ②11月13日 ③11月27日 木曜日　10:00～12:00	3回	①30人 ②30人 ③30人	①17人 ② 8人 ③ 8人	①17人 ② 7人 ③ 6人	①100% ② 88% ③ 75%	会場 中央会館
	はじめてのスローエアロビック	岡田　あゆみ	11月12日 水曜日　13:30～14:30	1回	20人	21人	18人	86%	会場 中央会館
	初めての茶室でのマナーと作法(午前の回)	中原　宗藍	10月17日・24日 金曜日　10:30～12:00	2回	5人	6人	6人	92%	会場 中央会館
	初めての茶室でのマナーと作法(午後の回)	中原　宗藍	10月17日・24日 金曜日　13:30～15:00	2回	5人	5人	5人	100%	会場 中央会館
後期	着物deリメイク	荒川　幸子	2月19日・26日・3月5日・12日 木曜日　9:30～11:30	4回	10人	49人	10人	98%	会場 ひぐらし会館
	「城」でたどる戦国時代の伊豆	鈴木　晃太朗	3月4日・11日 水曜日　10:00～11:30	2回	30人	34人	29人	84%	会場 中央会館
	伊東歴史さんぽ	島田　冬史	2月17日・24日・3月10日 火曜日　9:20～12:30	3回	15人	27人	19人	87%	会場 市内各所
	陶芸-織部の器を作ろう-	伊藤　進矢	1月27日・2月3日 火曜日　10:00～12:30	2回	20人	48人	19人	95%	会場 中央会館
	Hair＆Make. -ファーストレッスン-	坪田　美波	1月21日 水曜日　10:00～11:30	1回	12人	14人	13人	93%	会場 伊豆高原ミッシェルガーデンコート
合　計　16講座　44回　受講者総数　266人				44回	335人	410人	266人	93.00%	

⑵　各種講座等

教室・講座	講師名	開設期間	回数	主な内容	参加人員
小学生ふるさと教室	山口康裕 ほか	令和7年6月 ～令和7年12月	8	野外活動、産業・漁業体験、伝統行事ほか	受講生40人 延べ271人
わたしの主張発表会	―	令和7年11月1日	1	中学生による意見発表会	中学生9人
夢チャレンジくらぶ	山口康裕 ほか	令和7年6月 ～令和7年12月	8	青少年リーダーの養成を目的とする年少者への指導育成	受講生18人 延べ109人
青少年育成プログラム“みち”事業	―	令和7年7月 ～令和7年8月	1	姉妹都市諏訪市での体験活動、宿泊訓練ほか	高校生4人 大学生1人 小学生30人
いでゆ大学	加藤好一 ほか	令和7年5月 ～令和8年2月	18	趣味教養の充実、仲間づくり	受講生51人 延べ773人
家庭教育学級	学級長ほか	令和7年5月 ～令和8年3月	4学級	家庭教育・一般教養ほか	参加者61人 4小学校で実施
家庭教育支援事業	家庭教育支援アドバイザー	令和7年5月 ～令和8年2月	1講座	つながるシートを活用した講座等	延べ　44人

3　伊東の文化財

(1)　指定・登録・記録選択文化財一覧

指定区分	種　別	名　称	指定・登録年月日	備　考（所在など）
国	天然記念物	葛見神社の大クス	昭和8年2月28日	岡
〃	天然記念物	八幡宮来宮神社社叢	昭和9年8月9日	八幡野
〃	天然記念物	蓮着寺のヤマモモ	平成11年1月14日	富戸
〃	天然記念物	大室山	平成22年8月5日	池、富戸
〃	史　跡	江戸城石垣石丁場跡	平成28年3月1日	宇佐美
県	工芸品	太刀銘大和則長作	昭和30年4月19日	玖須美・竹の内
〃	天然記念物	天照皇大神社社叢	昭和42年10月11日	玖須美・芝町
〃	天然記念物	林泉寺のフジ	昭和45年6月2日	荻
〃	無形民俗	新井の大祭り諸行事	平成5年3月26日	新井・西暦奇数年1月7日
〃	有形民俗	富戸の魚見小屋	平成7年3月20日	富戸
〃	建造物	八幡宮来宮神社本殿・渡殿及び拝殿	平成11年3月15日	八幡野
〃	彫　刻	木造宝冠阿弥陀如来坐像	平成21年3月23日	宇佐美・花岳院
市	史　跡	伊東家の墓	昭和40年10月23日	玖須美・音無町
〃	史　跡	河津三郎祐泰の血塚	昭和41年7月25日	八幡野
〃	天然記念物	ヒメユズリハ群落	昭和42年1月11日	富戸・城ケ崎門脇駐車場付近
〃	天然記念物	音無神社のタブの木	昭和43年6月7日	玖須美・音無町
〃	天然記念物	最誓寺のソテツ	昭和44年6月23日	玖須美・音無町
〃	天然記念物	山神社のムクの木（群落）	昭和45年5月12日	荻
〃	天然記念物	伊吹ビャクシン	昭和45年5月12日	池・旧ホテル伊豆高原
〃	工芸品	八幡宮来宮神社神輿　(2基)	昭和45年5月12日	八幡野
〃	史　跡	木下杢太郎生家	昭和45年5月12日	湯川・木下杢太郎記念館奥の建物
〃	工芸品	八幡宮来宮神社屋台	昭和50年9月8日	八幡野
〃	天然記念物	高見のシイの木	昭和51年5月12日	八幡野
〃	工芸品	杉崎神社の鰐口	昭和51年12月2日	松原・松原神社内
〃	建造物	天照皇大神社本殿	昭和54年2月27日	玖須美・芝町
〃	天然記念物	音無神社のシイの木	昭和54年9月26日	玖須美・音無町
〃	史　跡	伝・伊東祐親の墓所	昭和54年9月26日	玖須美・大原町
〃	彫　刻	浜崎家の木造毘沙門天立像	昭和63年4月26日	宇佐美
〃	建造物	旧木造温泉旅館東海館	平成11年3月30日	松原・東松原町
〃	建造物	三島神社本殿 附棟札2枚	平成11年3月30日	富戸
〃	工芸品	阿原田八幡神社の鰐口	平成14年3月28日	宇佐美（市に寄託）
〃	天然記念物	かんのん浜ポットホール	平成14年3月28日	八幡野・自然研究路
〃	史　跡	吉田隧道	平成15年5月22日	吉田・東大池
〃	典　籍	鳴戸吉兵衛写本「伊東誌」	平成15年5月22日	玖須美・物見が丘
〃	歴史資料	元禄地震津波供養塔（行蓮寺、佛現寺、恵鏡院）	平成18年3月28日	宇佐美、玖須美・物見が丘、川奈
〃	天然記念物	大室山スコリアラフト	平成22年5月26日	池・さくらの里内
〃	史　跡	江戸城に係る石丁場遺跡	平成23年9月16日	宇佐美・洞ノ入Ⅰ-i遺跡
〃	天然記念物	城ヶ崎海岸燕島のアマツバメ集団生息地	平成27年 6月30日	富戸
〃	無形民俗	伊東市内の鹿島踊（宇佐美八幡、宇佐美初津、湯川、新井、富戸）	平成27年 6月30日	宇佐美、湯川、新井、富戸
〃	建造物	比波預天神社本殿　附棟札2枚	平成29年4月18日	宇佐美
〃	史　跡	鎌田城跡	平成29年10月19日	鎌田
〃	史　跡	東浦路（朝善寺道標-網代峠区間）	平成30年4月19日	宇佐美
〃	歴史資料	関東大震災供養塔（佛現寺）	令和5年9月1日	玖須美・物見が丘
〃	歴史資料	大正大震災記	令和5年9月1日	宇佐美・宇佐美小学校
国・登録有形	建造物	旅館いな葉	平成10年9月2日	松原・(現)ケイズハウス伊東温泉
〃	建造物	旧伊東警察署松原交番（伊東観光番）	平成21年1月8日	松原・(現)伊東観光番
〃	建造物	伊東市立木下杢太郎記念館	平成27年3月26日	湯川
〃	建造物	川奈ホテル本館	平成28年2月25日	川奈
〃	建造物	川奈ホテル田舎家	平成28年2月25日	川奈

〃	建　造　物	旧東郷家別邸(伊東東郷記念館)	令和 元年 12 月 5 日	松原・渚町
〃	建　造　物	旧深澤家住宅主屋(古民家割烹ひよけ家)	令和 2 年 8 月 17 日	宇佐美

国・記録選択	無 形 民 俗	東伊豆地方に伝わる伝統芸能「鹿島踊」	平成 17 年 1 月 21 日	宇佐美・湯川・新井・富戸

(2) 埋蔵文化財

番号	遺　跡　名	時　　代	種 別	所　在　地	地　目	主な遺物等	備考(発掘調査年など)
1	桜 田	縄・弥・古・中・近世	散布地	宇佐美字桜田	小学校ほか	陶磁器・木器	1990、2000 年
2	小 丸	縄文(早・前)	〃	宇佐美字小丸	宅地・山林	土器・石器	
3	洞ノ入	縄文(早・前)	〃	宇佐美字洞ノ入	山林	石冠	
4	北 田	中世	〃	宇佐美字北田	宅地・県営住宅	陶磁器 石鏃(縄文)	1992 年
5	離山峡(平戸)	縄文(早・前)	〃	宇佐美字平戸	山林	土器・石器	
6	寺中・金草原	縄・奈・平・中・近世	生産遺跡 寺院跡	宇佐美字稲田	宅地・畑地・道路	土器・陶磁器 製鉄炉	1992、2007 年
7	安立寺	縄文(早期)	散布地	宇佐美字桑原	境内	土器	
8	池ノ段古墳	古墳	古墳	宇佐美字池ノ段	山林	礫群	
9	寺久保	縄・古・奈・平	散布地	宇佐美字寺久保	宅地・畑地	土器	
10	留田天神	縄・古・奈・平・中世	〃	宇佐美字宮の脇ほか	宅地・畑地・境内	土器	2015 年 3 月調査
11	宇佐美城	縄文・古墳・中世	散布地・ 城跡	宇佐美字城山	宅地・山林	土塁・空堀・土器 陶磁器	1988 年 (1989 年 3 月試掘調査)
12	離山横穴群	古墳	横穴墓	宇佐美字ハナレ山	山林	横穴 6 基	
13	東留田海中	縄文(早)	散布地	宇佐美字磯部	海浜	土器	1957、1999、2000 年
14	宇佐美	縄(中)・古墳・中世	集落跡	宇佐美字横枕ほか	宅地	土器・石製品・ 住居跡	1987～88、1992～93、 1998～2000、2002～06、 2008、2018 年
15	宇佐美中学校	古・奈・平・中世 ・近現代	〃	宇佐美字杉本	中学校ほか	土器・軍施設	1995、2000～2002、2003、 2005 年
16	円応寺	縄文	散布地	宇佐美字峰坂	宅地	磨製石斧	2009 年
17	田 中	縄・古・奈・平	集落・製鉄	宇佐美字田中	宅地・畑地	土器・住居跡	2011 年
18	上ノ山	古墳	散布地	宇佐美字上ノ山	畑地・山林	土器	
19	宇佐美田代	縄・古墳	〃	宇佐美字田代	宅地・畑地	土器・石器	
20	天神畑	縄文(前・中)	〃	湯川字天神畑	山林・公園	土器・石器	2014 年
21	伊東駅構内古墳	古墳	古墳	湯川三丁目	駅構内	直刀・土器・ 横穴式石室	1937 年(消滅)
22	湯川幼稚園	古・奈・平・中世 ・近世・近現代	寺社跡	湯川二丁目	幼稚園	土器・神社址	1986、1996、2001～2003 年
23	湯川幼稚園古墳群	古墳	古墳	〃	〃	横穴式石室 2 基	1913(発見)、2001、2003、 2004 年
24	湯端町	古墳	散布地	松原湯端町	宅地	土器	2003 年
25	寺 山	縄文(中・後)、古代	〃	松原字寺山	宅地・境内	土器・石器	1953(発見)、2004 年
26	西小学校	古墳	集落跡	岡広町ほか	宅地	土器・住居跡	1989、1994、1996、2005、2006、 2012、2015、2017 年
27	日 暮	弥・古・中世 ・近現代	〃	桜木町一丁目	宅地・境内	環濠・住居跡・ 方形周溝墓・ 掘立柱建物跡	1990、1992、1997、2000～2005、 2007、2010、2014、2016、 2017 年
28	上の坊	縄(早・前・中)・古・ 中世	散布地	音無町	宅地	土器・石器	1937(発見)、1976、2009、 2013 年
29	水道山	縄文(早・前)	〃	岡字水落	〃	土器・石器	2008 年
30	広 野	古墳	〃	広野一丁目	〃	土器	2004、2006、2013 年

31	竹の台	縄(早～後)・弥・古・奈・平	集落跡	岡字竹の台・物見が丘	宅 地	住居跡・石製品	1989、1992、1997、1999、2000、2005、2007、2008、2011、2014、2017 年
32	玖須美館	中世	城館跡	和田二丁目	境内		
33	井戸川	縄(早～晩)・弥・古・奈・平・中世	集落跡	〃	宅地	和同開称・土偶・住居跡	1974, 1981、1983、1989、2010、2012、2014、2017 年
34	妙隆寺経塚	古・平・中世・近	経塚 集落跡	〃	境内	一字一石経塚	1984 年
35	塚 畑	縄(中)・古・中世	散布地	新井一丁目	宅地・畑地	土器・石器	
36	塚畑古墳	古墳(後)	古墳	〃	畑地	直刀・玉類	1957 年
37	東小学校	縄文(早・前・中)・奈・平	集落跡	〃	宅地、学校、市役所	住居跡・土器	1956、1978、1991、1992、1994、1997、2014、2017 年
38	東小学校古墳	古墳(後)	古墳	大原二丁目	市役所	周溝・土器	1993 年
39	大 原	縄文(早・前・中)	集落跡	大原一丁目	宅地、畑地	土器・石器	1989、2002、2007、2012、2014、2017、2018 年
40	猪 戸	〃	散布地	松原字寺山	〃	土器・石器	1974(発見)、2001(報告)年
41	保代口C	縄文(草創・早・前・中)・弥・古	集落跡	玖須美元和田字保代口	宅地	方形周溝墓・管玉・土岐	1996 年
42	東林寺朝日山経塚	平安(後)	経塚	岡字寺の上	山林	鏡・陶磁器	1909(発見)、1959 年
43	瓶 山	古墳(前)	散布地	岡字寺の上	山林	土器・石器	
44	蔵ヶ窪	縄文(早)	〃	鎌田字蔵ヶ窪	畑地、山林	土器・石器	
45	土ヶ久保	縄文(早・前)	〃	鎌田字土ヶ久保	〃	土器・石器	
46	柏 峠	縄文(早)	〃	鎌田字落合ほか	山林、原野	土器・石器	1976, 2001 年
47	長美代	縄文(早・前・中)	集落跡	玖須美元和田字長美代	宅地、畑地	住居跡・土器	1991、2010、2013、2015
48	逆 川	縄文(早・前・中)	散布地	玖須美元和田字逆川	〃	土器・石器	
49	南中学校	縄文(早)	〃	玖須美元和田字茶野	中学校	土器・石器	1983、2004
50	赤 坂	縄文(中)	集落跡	岡字藤曲り	宅地、畑地	土器・石器	2006
51	水無田	〃	散布地	玖須美元和田字水無田	宅地	土器・石器	
52	西鬼ケ窪	縄文(前・中)	集落跡	川奈字西鬼ケ窪 ほか	宅地、畑地	住居跡・土器	1995、2009、2012、2014 年
53	保代口	縄文(早・前・中)	散布地	玖須美元和田字保代口	〃	土器・石器	
54	城 星	〃	〃	玖須美元和田字右城星	〃	土器・石器	2013, 2018 年
55	滝ヶ沢	縄文(早～中)	〃	玖須美元和田字滝ケ沢	〃	土器・石器	
56	泉	縄文(中)	〃	岡字石原田	〃	土器・石器	『伊東市史』では「石原田」の遺跡名称
57	見返シ	〃	〃	鎌田字下畑・見返シ	畑地	土器	『伊東市史』では「下畑・見返シ」の遺跡名称
58	西門野	〃	集落跡	鎌田字西門野	畑地、山林、球場	土器・石器	1984、1986、1988、1991、1992 年
59	前城平	縄文(早・前・中)	〃	鎌田字城平	宅地・市営住宅	土器・石器・住居跡	1993、1994 年
60	門 野	縄文(早・前)	〃	鎌田字門野	畑地・宅地	土器・石器	2010、2015 年
61	鎌田城跡	中世	城館跡	鎌田字田平ほか	山林	空堀・土塁	2002、2003 年
62	奥 野	縄文(早・前)	散布地	鎌田字新林	畑地	土器・石器	1990 年
63	養護老人ホーム	縄文(早)	〃	吉田字笹原・荻字栗蒔	宅地、原野	土器・石器	1989、2007 年
64	ジンジ山	縄(早・前・中)・弥・古・奈・平	集落跡	吉田字北川	宅地、公園	炭化米・住居跡	995～1997
65	コウドウ	縄(早・前・中)・古・中世	散布地	川奈字コウドウ	宅地、畑地	土器・石器	2008
66	川奈台場	近世(後)	砲台跡	川奈字燈明平	ゴルフ場敷地	石塁・石垣	1978～1980 年、2015 年

67	三の原	縄文(草創・早・前・中)	集落跡	富戸字大平	宅地、畑地	土器・石器	1989、2003、2005 年
68	芦田原	縄文(早・中)	散布地	富戸字芦田原	畑地、山林	土器	1999 年
69	クズレ	旧石器・縄文(早・前)	集落跡	富戸字クズレ	宅地	土器・石器	1980、1986、1987 年
70	門脇台場	近世(後)	砲台跡	八幡野字牛戸背	海岸	石塁・石垣	1978～1980 年
71	法華塚	中世か？	積石塚	富戸字先原	山林	石積遺構	
72	上和田	古墳	散布地	池字上和田	水田、畑地	土器	1965(発見)年
73	下 畑	縄文	〃	八幡野字下畑	宅地、水田	土器・石器	
74	伊東館跡	中世	城館跡	馬場町一丁目	宅地	土器・陶磁器	2008 年
75	禰宜畑	縄文(早・前・中)	集落跡	岡字禰宜畑	マンションほか	土器・石器	1989 年
76	中 野	縄文(中)	散布地	岡字中野	畑地、山林	土器・石器	
77	桑 原	弥・古・奈・平・中世	〃	宇佐美字桑原	宅地、畑地	土器・石器	2017、2018 年
78	芝 草	縄文(早)	〃	赤沢字芝草	畑地、山林	土器・石器	
79	松 尾	縄文(早・前・中)	〃	八幡野字松尾	宅地、畑地	土器	『伊東市史』では「松尾 A・B・C」の遺跡名称
80	向 沢	縄文(早・前)	〃	川奈字向沢	畑地	土器・石器	1990 年
81	奈 尾	旧石器	〃	富戸字奈尾	畑地	局部磨製石斧	1991 年(表採)
82	水頭A	縄文(早・前？)	〃	赤沢字水頭	山林	石器	1995 年 確認調査
83	水頭B	縄文(早・前？)	〃	〃	〃	石器	1995 年 確認調査
84	長 畑	縄文・古墳・奈良	〃	吉田字長畑	宅地、畑地	土器	
85	宇佐美八幡神社	古墳・中世	〃	宇佐美字八幡	境内	土器	2001～2003 年
86	宇佐美北部石丁場群	近世	石丁場	宇佐美字御石ケ沢他	山林・海	矢穴石・刻印石	「羽柴越中守石場」、「松平宮内少石場」標識石 1990、2006～2012、2017～2019 年
87	宇佐美南部石丁場群	近世	〃	宇佐美字中ノ沢他	宅・林	矢穴石・刻印石	2006～2013 年
88	湯川石丁場群	近世	〃	湯川字桜ケ洞他	宅・林	矢穴石・刻印石	2001・2002（一部分布調査）、2006～2013、2018 年
89	松原石丁場群	近世	〃	松原字猪山他	林・海	矢穴石・刻印石	2010～2012 年
90	小川沢石丁場群	近世	〃	岡字堀ノ口他	山林	矢穴石・刻印石	2006～2008、2010～2012 年
91	鎌田石丁場群Ⅰ～Ⅳ	近世	〃	鎌田字伊豆ケ木他	宅・林	矢穴石・刻印石	「竹中伊豆守」標識石 2006～2012 年
92	大平山石丁場群	近世	〃	岡字片岡他	山林	矢穴石・刻印石	2006～2008、2012 年
93	岡・玖須美石丁場群Ⅰ～Ⅲ	近世	〃	玖須美元和田字萩坂他	宅・林	矢穴石・刻印石	「いよ松山」標識石 2006～2008、2010～2012 年
94	新井石丁場群	近世	〃	新井字前山丁場他	林・海	矢穴石・刻印石	「いよ松山」標識石 2006～2008、2010～2012 年
95	川奈石丁場群Ⅰ～Ⅳ	近世	〃	川奈字扇山他	宅・海	矢穴石・刻印石	
96	富戸石丁場群	近世	〃	富戸字根原他	宅・海	矢穴石・刻印石	2004、2006～2008、2010～2012 年
97	枝堀	縄文(早・前)	集落跡	八幡野字枝堀	山林	土器・石器	2015、2017 年
98	倉骨沢	縄文(早)	散布地	八幡野字倉骨沢	山林	土器・石器	2015、2017 年
99	保代口 D	縄文	散布地	玖須美元和田字保代口	荒蕪地	土器・石器	2019 年
100	桜ヶ洞	縄文	集落跡	湯川字桜ケ洞	山林	住居跡・土器	2019 試掘・確認調査

4　生涯学習センター

⑴　中央会館施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施　設　内　容
S55. 9. 30	2,123.40 ㎡	1,520.091 ㎡	鉄筋４階建 第１・２会議室、第１・２和室、第１・２研修室、視聴覚室、美術工芸室、トレーニング室兼展示室

⑵　中央会館の利用状況

（単位：日、人）

年度	開館日数	第１会議室	第２会議室	第１研修室	第２研修室	第１和室	第２和室	美術工芸室	視聴覚室	展トレ室	合計
6	226	4,413	241	1,493	1,286	157	169	1,025	3,195	2,671	14,650
7	309	5,764	405	1,506	1,470	112	195	1,272	3,210	1,935	15,869

⑶　ひぐらし会館施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施　設　内　容
H6.11.30	463.21 ㎡	1,787.73 ㎡	鉄筋３階建 第１．２会議室、ホール（204 席）、楽屋、トレーニング室、和室、幼稚園遊戯室

⑷　ひぐらし会館の利用状況

（単位：日、人）

年度	開館日数	第１会議室	第２会議室（全面）	第２会議室（A）	第２会議室（B）	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室	ホール	楽屋（洋室）	楽屋（和室）	遊戯室	合計
6	308	5,426	1,882	1,727	502	5,468	9,297	760	925	0	25,987
7	309	5,140	2,354	1,696	817	5,746	10,459	949	1,100	0	28,261

⑸ 生涯学習センター施設概要及び各室利用状況

① 生涯学習センター池会館

施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
H8. 8. 2	2,676 ㎡	1,102 ㎡	鉄筋３階建 大会議室、小会議室、和室、ホール、 図書コーナー、健康コーナー、調理室

利用状況　（単位：日、人）

年度	開館日数	１階 大会議室	２階 小会議室	２階 和室	２階 調理室	３階 ホール				合計
6	296	3,479	547	2,487	144	8,629	－	－	－	15,286
7	300	3,987	576	2,641	37	7,901	－	－	－	15,142

② 生涯学習センター赤沢会館

施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
H10. 7. 1	561 ㎡	703 ㎡	鉄筋３階建 大会議室、和室、調理室、図書コーナー、 健康コーナー

利用状況　（単位：日、人）

年度	開館日数	３階 大会議室	２階 和室	２階 調理室						合計
6	293	2,328	715	0	－	－	－	－	－	3,043
7	292	2,119	674	0	－	－	－	－	－	2,793

③ 生涯学習センター荻会館

施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
H13. 12. 1	1,283 ㎡	1,286 ㎡	鉄筋３階建 大会議室、児童室兼会議室、図書コーナー、 和室、調理室、トレーニング室

利用状況　（単位：日、人）

年度	開館日数	３階 大会議室	２階 和室１	２階 和室２	２階 調理室	２階 図書室	２階 児童室 兼会議室	１階 会議室	３階 トレーニング室	合計
6	281	10,508	1,057	1,213	71	237	64	2,779	245	16,174
7	287	13,398	1,085	1,264	76	450	19	7,139	450	23,881

5　図書館

情報提供拠点としての図書館機能を十分発揮するため、図書館資料の充実を図るとともに利用環境の整備に努め、利用しやすい、開かれた図書館をめざす。

⑴　郷土資料の収集

郷土に関する資料・情報は、広く収集するよう努め、市民の利用に供する。

⑵　視聴覚資料等

CD・DVD 等の視聴覚資料の充実に努め、市民の新しい学習要求に応える。

⑶　企画展の開催・特集コーナーの設置

企画展示の定期的なテーマ替えを行い、図書館への来館を呼び掛ける。

一般、児童書別に特集コーナーを設け、資料の紹介、提供に努める。

⑷　読み聞かせ会、講演会等の実施

土曜日と、季節のおはなし会、こども読書週間や読書週間に講演会等を開催することにより、幼児期から図書館に親しむ機会を提供する。

⑸　出張読み聞かせなどの実施

学校、幼稚園、保育園、福祉施設などから依頼を受け、児童、園児、通所者などに読書の楽しさを広めるため、出張読み聞かせや団体貸出などを行う。

⑹　移動図書館「ともだち号」の運行・巡回貸出文庫の実施

図書館から遠隔地にある地域住民の読書活動の利便性の向上を図るとともに、市民の学習意欲に応えるため、市内１９か所のステーションを、月２回巡回し、図書館サービスの拡充に努める。

地域、職域、学校などの利用者グループへ３０冊を一括で貸出し、２か月に一度入れ替える。

⑺　ブックスタート事業の実施

乳児期からの読み聞かせを通じて、本に親しみ読書の楽しさを広めるとともに、親子のスキンシップ・コミュニケーションを深めることが子育て支援の一環となるため、乳児を対象に読み聞かせを行いながら、絵本を贈呈する。

⑻　インターネット蔵書検索の実施

家庭のパソコンや携帯電話から本市の蔵書を検索、予約するシステムにより、利便性を向上し、図書館の利用を促進する。

⑼　障害者サービス用資料の充実、読書支援機器の設置

大活字本、点字付き絵本を定期的に購入し、資料の充実を図る。

音声拡大読書機「よむべえ」の設置により視覚障害者の読書支援に努める。

⑽　図書館相互利用・図書館相互貸借協定の実施

沼津市・熱海市・伊豆市・東伊豆町の各館との相互利用及び県内各協定加盟館と相互貸借を実施し、図書館活動の拡大と振興を図る。

① 施設の概要

名称	設置年月日	床面積	施 設 内 容
伊東市立伊東図書館	T4.11.10 設置 S55.11.1 移転	954㎡	音無町５－１４ 中央会館１、２階部分
大原児童図書館	S53.12.27	75㎡	大原３－１８－３（物見が丘公園内） 地域の運営委員会により運営

② 蔵書冊数及び貸出冊数

分 類	蔵書冊数	構成比%	貸出冊数	構成比%
総 記	7,859	4.0	956	0.6
哲 学	5,288	2.7	2,476	1.3
歴 史	12,432	6.3	4,023	2.7
社会科学	14,828	7.6	4,757	3.1
自然科学	7,887	4.0	3,756	2.7
技 術	6,114	3.1	5,935	4.2
産 業	3,615	1.9	1,667	1.1
芸 術	7,655	3.9	4,113	2.8
言 語	1,989	1.0	1,266	0.6
文 学	54,263	27.6	56,168	39.6
郷土資料	10,421	5.3	678	0.5
児 童 書	48,062	24.5	41,770	30.8
視聴覚資料 (CD・VTR・DVD)	3,168	1.6	4,574	3.5
洋 書	710	0.4	276	0.2
点 字 本	240	0.1	36	0.0
大活字本	460	0.2	472	0.3
雑 誌	11,360	5.8	7,006	5.0
その他（他館資料）	—	—	1,511	1.0
合 計	196,351	100.0	141,440	100.0

③ 本館貸出冊数（開館日数 280日 1日平均貸出冊数 449冊）

区分	一般成人	高校生・中学生	小学生以下	団体等	合 計
冊数	104,383	1,879	14,108	5,367	125,737

④　大原児童図書館貸出冊数（開館日数　123日　　1日平均貸出冊数　5冊）

区分	一般書	児童書	雑　誌	視聴覚	郷土	その他	合　計
冊数	8	586	17	0	0	0	611

※大原児童図書館には伊東市生涯学習センター中央会館4階こども図書室分を含む。

⑤　巡回貸出文庫貸出冊数

八幡野小学校	富戸小学校	対島中学校	計
150	150	150	450

⑥　移動図書館「ともだち号」貸出冊数

巡回日	巡回ステーション名	年間巡回数	貸出冊数							
			一般書	児童書	雑誌	視聴覚	郷土	その他	計	一日当
第一・第三火曜日	芝原公園	22	344	51	85	0	0	9	489	22
	大池小学校	15	152	1,407	0	0	0	0	1,559	104
第一・第三水曜日	宇佐美小学校	22	516	1,012	26	3	0	37	1,594	72
第一・第三木曜日	池小学校	16	32	406	0	0	0	0	438	27
第一・第三金曜日	伊豆急伊豆高原管理事務所	21	680	10	63	3	3	14	773	37
	伊東小学校	14	98	874	2	0	0	0	974	70
第二・第四火曜日	伊豆高原十字の園	23	648	111	72	2	0	25	858	37
	ゆうゆうの里	22	1,040	108	37	0	8	166	1,359	62
	富戸小学校	19	129	197	3	0	1	0	330	17
第二・第四水曜日	南小学校	12	85	650	0	0	0	0	735	61
第二・第四木曜日	生涯学習センター荻会館	22	189	39	7	0	0	2	237	11
	生涯学習センター池会館	23	515	35	0	0	0	1	551	24
	吉田公園	23	464	205	0	0	1	5	675	29
第二・第四金曜日	イトーピア管理事務所	24	788	22	13	0	0	15	838	35
	大室高原自治会館	24	985	75	151	2	0	54	1,267	53
	八幡野小学校	23	292	952	7	0	0	1	1,252	54
第二・第四日曜日	角折住宅	15	74	1	0	0	0	0	75	5
	城平住宅	21	502	37	0	0	4	0	543	26
	鎌田公園	18	71	4	20	0	0	0	95	5
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計		379	7,604	6,196	486	10	17	329	14,642	39

６　コミュニティ

住民の交流により相互の連帯を深め、心の触れ合う明るく豊かな活気あるまちづくりの実現を目指し、地域住民のコミュニティ活動と生涯学習活動を積極的に推進する拠点施設として、管理運営を、地域に設立された管理運営協議会（指定管理者）に委託し、地域住民自らが自主的に運営している。

⑴　コミュニティ施設の整備

昭和６３年１２月に宇佐美コミュニティセンター、平成３年４月に小室コミュニティセンター、平成５年１月に八幡野コミュニティセンター、平成７年７月に富戸コミュニティセンターが開設した。

⑵　コミュニティ活動の推進

各地域のコミュニティ関係団体との連携を図り、自主的な活動を積極的に展開するためにコミュニティサークル活動の輪をさらに広げ、質の向上と連帯の推進を図る。

⑶　コミュニティセンター施設概要及び各室利用状況

①　宇佐美コミュニティセンター

施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
S63．12．12	1,464 ㎡	1,433 ㎡	鉄筋３階建 大会議室、視聴覚室、図書室、 調理室、児童室、和洋室ほか

利用状況　　（単位：日、人）

年度	開館日数	１階 児童室	２階 和洋室	３階 ｻﾝﾙｰﾑ	２階 調理室	２階 図書室	２階 視聴覚室	３階 大会議室	合計
6	288	3,168	2,505	1,135	132	1,011	3,859	13,248	25,058
7	289	8,039	2,323	1,193	171	1,645	2,904	12,762	29,037

②　小室コミュニティセンター

施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
H3．4．17	1,388 ㎡	1,232 ㎡	鉄筋３階建 体育室、調理室、和洋室、 児童室、図書室

利用状況　　（単位：日、人）

年度	開館日数	１階 図書室	２階 児童室	２階 和洋室	２階 調理室	３階 体育室			合計
6	298	408	211	1,272	0	4,570	－	－	6,461
7	299	333	80	1,685	0	5,306	－	－	7,404

③　八幡野コミュニティセンター

施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
H5．1．22	1,795 ㎡	1,383 ㎡	鉄筋３階建 大会議室、会議室、調理室、和室、 図書室、児童室

利用状況　　（単位：日、人）

年度	開館日数	１階 児童室	２階 会議室	２階 図書室	２階 和室	２階 調理室	３階 大会議室	３階 会議室	合計
6	292	10,612	2,686	7,651	5,478	744	13,118	2,482	42,771
7	292	20,930	2,611	7,178	4,722	903	14,101	2,148	52,593

④　富戸コミュニティセンター

施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
H7．7．9	2,010 ㎡	1,545 ㎡	鉄筋３階建 大会議室、和室、調理室、 児童室、地震観測データ室ほか

利用状況　　（単位：日、人）

年度	開館日数	１階 図書室	２階 会議室	２階 児童室	２階 和室	２階 調理室	３階 大会議室	３階 和室	合計
6	301	252	973	572	3,955	171	8,307	2,341	16,571
7	303	287	888	802	3,405	12	8,169	2,296	15,859

7　社会教育関係委員・団体

⑴　伊東市公民館運営審議会委員兼社会教育委員

任期：令和７年４月23日～令和９年３月31日

	氏　　名	選出区分
委員長	渡　邉　　禮　子	家庭教育の向上に資する活動者
副委員長	鈴　木　　美津江	社会教育関係者
委　員	加　藤　　好　一	学識経験者
委　員	本　荘　　文　康	学校教育関係者
委　員	石　井　　義　仁	社会教育関係者
委　員	加　藤　　雅　子	社会教育関係者
委　員	田　尻　　明　美	社会教育関係者
委　員	小　川　　友　和	学校教育関係者
委　員	高　田　　京　子	家庭教育の向上に資する活動者
委　員	小　川　　富　子	社会教育関係者

⑵　伊東市青少年問題協議会委員　任期：令和７年７月１日～令和９年６月30日

氏　名	選出・所属	氏 名	選出・所属
森重　俊幸	市教育長	海野　祐一	伊東商工会議所代表
鈴木　絢子	市議会常任福祉文教委員長	杉本　興一	伊東地区保護司会会長
松島　昌治	伊東警察署生活安全課長	髙橋　義典	地域行政連絡調整協議会代表
渡邉　禮子	市社会教育委員長	苅谷　卓馬	伊東市PTA連絡協議会代表
小川　友和	伊豆伊東高等学校長	小泉　毅彦	伊東青年会議所代表
牧野　信隆	市立宇佐美小学校長	杉山　隆茂	スポーツ少年団指導者協議会会長
髙橋　　賢	市立北中学校長	嶋田　成幸	教育指導課長
初鹿野　勲	民生委員児童委員協議会会長	石井　弘樹	幼児教育課長
大橋　　現	少年警察連絡協議会会長		

※令和７年度から伊東市青少年補導センター運営協議会と統合

⑶　伊東市文化振興会議委員　　任期：令和 6 年 9 月 25 日～令和 8 年 9 月 24 日

氏　　名	選出・所属
鈴木　絢子	市議会
丸井　重孝	有識者
松上　和美	伊東市文化協会
西谷　雅治	伊東市自然歴史案内人会
岩城　保久	伊東市スポーツ協会
森　　知子	有識者
日吉　　節	有識者
後藤　亜希子	市校長会
齋藤　俊仁	市文化財保護審議会

⑷　伊東市文化財保護審議会　　任期：令和 7 年 10 月 1 日～令和 9 年 9 月 30 日

	氏　名		氏　名
会　長	佐藤　　康	委　員	石渡美智代
副会長	齋藤　俊仁	委　員	加藤　好一
委　員	梅田　泰史	委　員	岩本　佳子
委　員	篠原　　憲	委　員	中内　康雄
委　員	中池　敏之		

⑸　伊東市江戸城石垣石丁場跡保存活用委員会

	氏　名		氏　名
委員長	中島　圭一	市民委員	金刺　秀忠
副委員長	村木　二郎	市民委員	深辺　典洋
専門委員	松田　睦彦	市民委員	森　　篤
専門委員	内田　和伸	市民委員	佐藤　　康
専門委員	山下　浩之		
専門委員	勝山　輝男		

Ⅶ　スポーツの振興

1　スポーツ振興の重点施策

「市民一人一スポーツ」をめざし、市民だれもが健康的にスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ事業の推進に努める。また、しずおか型地域スポーツクラブの設立など生涯スポーツの普及に努めるとともに、健康保養地づくり事業との連携を図り、スポーツを取り入れた健康づくりに努める。

⑴　地域スポーツの振興

スポーツを介し、地域住民のコミュニティ意識を高めるため、各地域の体育振興会と連携を密にし、地域に密着した地域スポーツの振興を推進する。

⑵　スポーツ推進委員会

市民が気軽に参加できるスポーツによる健康づくりの方策を検討するとともに、ニュースポーツの実技指導等を行い、生涯スポーツの推進に努める。

⑶　スポーツ祭の開催

按針祭協賛市民スポーツ祭や伊東市スポーツ祭をスポーツ協会加盟競技団体の協力のもとに開催し、各種スポーツを通して、明るく健康な日常生活がおくれるよう市民の参加を求める。

⑷　スポーツ大会等の実施

スポーツ活動の促進と市民のスポーツ実践の場として、伊東オレンジビーチマラソン（伊東市健康保養地づくり事業として実施）や伊東駅伝競走大会を開催する。

⑸　スポーツ施設の整備、充実

市民に親しまれ使用しやすい施設とするため、市民体育センターをはじめ、市民運動場、かどの球場、大原武道場等の社会体育施設の円滑な管理運営及び必要な設備の更新に努める。

市民運動場は、令和３年度にスポーツ振興くじ助成金の活用等により人工芝生化を実施し、令和７年度には夜間照明施設のＬＥＤ化を実施した。今後も多くの皆様が安心して使用できる施設となるよう各施設積極的に整備を実施したい。

⑹　学校開放事業の促進

市民のスポーツ活動促進のため、市内の小・中学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲において市民に開放し、スポーツの振興を図る。

⑺　スポーツ少年団の育成

スポーツ少年団指導者の研修会を通じ指導者を養成するとともに、スポーツを通して健やかな少年・少女の育成に努める。

⑻　スポーツ関係団体の育成・奨励

スポーツ協会の自主活動を奨励していく中で、団体意識を高めるとともに主催事業の支援を図る。

⑼　市町対抗駅伝競走大会への参加

静岡市を会場に開催される「第２７回静岡県市町対抗駅伝競走大会」に参加するため、伊東市陸上競技協会主催の陸上競技教室を支援するとともに、代表候補選手の合同練習会を開催し、市内の長距離ランナーの発掘・育成を図る。

⑽　総合型地域スポーツクラブの育成

地域住民が積極的に参画し、「多種目・多世代・多目的」な活動を行う地域スポーツクラブを支援し、新たな生涯スポーツの普及と地域コミュニティの形成を図る。



ニュースポーツ研修会（ボッチャ）



第 60 回伊東オレンジビーチマラソン 2026

２　令和８年度　スポーツ振興事業計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スポーツ大会	日程全般			ｽﾎﾟｰﾂ推進委員 熱海・伊東地区 合同研修会 27日(土) ※台風により中止	拮針祭協賛 市民ｽﾎﾟｰﾂ祭		第20回アジア 競技大会 9/19（土）～ 10/4（日）	第70回伊東市 ｽﾎﾟｰﾂ祭 第20回アジア 競技大会 9/19（土）～ 10/4（日）		第27回 静岡県市町対抗 駅伝競走大会 5日(土)	第61回 伊東ｵﾚﾝｼﾞ ﾋﾞｰﾁﾏﾗｿﾝ2027 17日(日)	第55回 伊東駅伝 競走大会 7日(日)	ｼﾞｬﾊﾟﾝ ﾏｳﾝﾃﾝﾊﾞｲｸ ｶｯﾌﾟ 19日(金）～ 21日（日）
	事業詳細1 静岡県市町対抗駅伝競走大会 （市スポーツ協会委託事業）			第1回実行委員会 9日（火） 代表候補 選手公募 18日（木）			強化 練習	第２回 実行委員会 代表選手選考 6日（火）		大会 5日(土)			
	事業詳細2 伊東オレンジビーチマラソン （健康保養地づくり実行委員会主催事業）							申込期間 （受付開始日、締切日は未定）			大会 17日(日)		
	事業詳細3 伊東駅伝競走大会 （市スポーツ協会委託事業）							申込期間 （R8.11.6受付開始、R9.1.7受付終了）			第1回監督会議 上旬	大会 7日(日)	
スポーツ推進委員会		定例会	定例会	定例会 熱海・伊東地区 合同研修会 27日(土) ※台風により中止	実技研究会 12日(日)	定例会 研究大会 30日（日）	定例会	定例会	定例会	定例会	定例会	東海四県 研究大会 (愛知県蒲郡市) 定例会	定例会
スポーツ指導者養成				ｽﾎﾟｰﾂ少年団 指導者協議会 理事会									
通年事業	スポーツ賞賜金、体育施設整備基金積立、社会体育施設修繕及び点検等、社会体育施設年間利用調整												
委託事業	社会体育施設管理（指定管理者:伊東市振興公社）、学校施設開放・高校跡地体育施設利用受付業務（委託先：伊東市スポーツ協会）												

3　令和７年度　スポーツ振興事業

大　会　名	主管団体名	開催期間	内　　容	延参加者
按針祭協賛 市民スポーツ祭	伊東市スポーツ協会 加盟団体	6/1～ 8/31	バドミントン大会など15種目 会場　伊東市民体育センターほか	3,840人
第６９回 伊東市スポーツ祭	伊東市スポーツ協会 加　盟　団　体	8/31～ 2/15	ソフトテニス大会など14種目 会場　小室山公園市営テニスコートほか	2,415人
伊東陸上カーニバル (陸上記録会)	伊東市スポーツ協会 伊東市陸上競技協会	旧伊東高校グラウンド及び付属施設が使用できなくなったことに伴い、問題なく開催できる規模の施設が確保できないため中止		
第２６回 静岡県市町 対抗駅伝競走大会	静岡陸上競技協会 静岡新聞社・静岡放送	12/6	会場　静岡県庁～静岡市清水～草薙陸上競技場 42.195km 12区間　参加チーム数：37(県内全市町) 成績：市の部　第21位/25チーム	769人
第６０回 伊東オレンジビーチ マラソン２０２６	(伊東市健康保養地づくり 実行委員会主催) 伊東市教育委員会 伊東市スポーツ協会	1/18	会場　観光会館前～国道135号バイパス 5km(小学生、中学生、一般男子39歳以下、40歳以上、一般女子39歳以下、40歳以上) 10km(一般男子39歳以下、40～59歳、60歳以上、一般女子39歳以下、40歳以上) 2km(小学3年生以下、ファミリー)	2,026人
第５4回 伊東駅伝競走大会	静岡東部 陸上競技協会	2/1	会場　伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぽーと ～対島中学校～富戸小学校～高塚バス停 ～汐吹駐車場～伊東市役所 20.7km 5区間 3部門 高校男子　6チーム 一般・高校女子　8チーム 一般男子　16チーム ※中学の部の開催見送り	224人

4　令和７年度　スポーツ施設等の利用状況

(1)　市民体育センター　　S54.2.18設置

年度	開放	体　育　室		卓　球　室		多　目　的　室		合　　計		平　均
	日数	件　数	人　数	件　数	人　数	件数	人　数	件　数	人　数	(1日当り)
R3	243	1,614	18,169	529	1,993	244	2,475	2,387	22,637	93
R4	333	2,319	34,589	717	4,331	358	5,194	3,394	44,114	132
R5	334	2,487	37,718	680	4,261	522	7,064	3,689	49,043	147
R6	325	2,470	43,677	867	5,974	534	8,125	3,871	57,776	178
R7	335	2,463	48,874	877	7,074	515	9,330	3,855	65,278	195

⑵　市民運動場　　S45.11.30設置

年度	昼　間		夜　間		合　計		種目別利用内訳					
							サッカー		軟式野球		ソフトボールほか	
	件数	人　数	件数	人　数	件数	人　数	件数	人　数	件数	人　数	件数	人　数
R3	152	4,600	83	4,342	235	8,942	120	5,795	35	1,107	80	2,040
R4	403	21,642	253	15,363	656	37,005	399	25,821	24	2,830	233	8,354
R5	472	27,389	264	15,715	736	43,104	445	30,362	21	2,591	270	10,151
R6	478	26,336	270	16,188	748	42,524	451	30,396	14	1,179	283	10,949
R7	513	34,298	272	19,275	785	53,573	468	38,814	5	346	312	14,413

※人工芝生化改修のためR3は6月まで、R4は5月からの開放。

⑶　かどの球場　　H7.4.8設置

年度	昼　間		夜　間		合　計		種目別利用内訳					
							軟式野球		ソフトボール		サッカーほか	
	件数	人　数	件数	人　数	件数	人　数	件数	人　数	件数	人　数	件数	人　数
R3	160	13,178	103	4,856	263	18,034	160	11,758	0	0	103	6,276
R4	211	16,869	121	6,176	332	23,045	204	15,192	5	76	123	7,777
R5	225	18,496	153	5,744	378	24,240	259	18,417	2	52	117	5,771
R6	200	18,465	180	6,185	380	24,650	228	18,164	1	33	151	6,453
R7	192	17,449	129	5,769	321	23,218	194	16,202	0	0	127	7,016

⑷　大原武道場　　H8.11.1設置

年度	開放日数	第　1　道　場		第　2　道　場		トレーニング室		合　計
		件数	人　数	件数	人　数	人　数	1日当り	人　数
R3	229	291	3,539	524	5,655	10,747	47	19,941
R4	308	478	6,344	694	8,478	13,635	44	28,457
R5	305	465	6,749	688	7,792	18,117	59	32,658
R6	305	515	7,343	609	8,369	19,581	64	35,293
R7	275	496	6,378	649	8,378	19,325	70	34,081

⑸　青少年キャンプ場　　S57.7.25設置

年度	利用件数	利用日数	利用者数
R3	83	157	1,195
R4	101	187	1,449
R5	120	223	2,060
R6	106	218	1,909
R7	101	191	1,777

※ キャンプのほかに、桜まつり、森の露天市、クラフトの森等のイベントで利用されている。

(6) 学校開放

施設名 / 学校名	屋内		屋外			
			昼間		夜間	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
伊東小学校	560	9,276	106	4,710	115	4,550
旧西小学校	622	13,623	60	1,835	41	836
旧旭小学校	259	3,325	5	44	－	－
南小学校	507	10,419	78	1,713	－	－
旧川奈小学校	0	0	0	0	－	－
大池小学校	318	4,204	111	2,278	－	－
宇佐美小学校	479	8,120	103	1,898	－	－
富戸小学校	297	2,806	112	2,240	－	－
八幡野小学校	385	5,616	116	4,374	－	－
池小学校	157	1,699	0	0	－	－
南中学校	459	7,664	0	0	113	3,066
北中学校	222	4,428	0	0	－	－
門野中学校	402	6,359	4	140	－	－
宇佐美中学校	440	6,961	0	0	114	2,802
対島中学校	69	950	57	1,240	0	0
合計	5,176	85,450	752	20,472	383	11,254
R 3 年度	4,080	85,702	1,255	37,491	345	14,520
R 4 年度	4,853	84,570	1,233	33,357	298	10,603
R 5 年度	4,994	82,592	961	29,156	298	13,365
R 6 年度	4,923	81,480	802	25,067	329	11,004
R 7 年度	5,176	85,450	752	20,472	383	11,254

5　スポーツ施設

施設名	設置年月日	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）	施　設　内　容
市民運動場	S45.11.30	24,800 (15,349)	49	多目的運動場(ﾛﾝｸﾞﾊﾟｲﾙ人工芝　R4.3 設置) (一般サッカー１面、少年サッカー２面、少年野球１面、グラウンドゴルフ４コース設置可) 観覧席(ｻｯｶｰ場側 645 席、野球場側 100 席) H22.3ﾄｲﾚ建替 （夜間照明設備設置、S55.7･4 基、H12.1･2 基 R8.3 LED 化）
市民体育センター	S54. 2.18	3,562	1,965	バレーボールコート 3 面・バドミントンコート 6 面・バスケットボールコート 2 面・多目的室（H19.4.1～）・卓球室(2 面)（H15.4.1 施設名称変更、H18.12 フロア増床、H29.3 耐震補強）
青少年キャンプ場	S57. 7.25	10,000		流し 2・調理台 2・野外炉 2 か所 12 炉・四阿 2 棟・水洗トイレ（洗浄水循環型）1 棟・管理棟
かどの球場	H 7. 4. 8	25,066	1,440	野球場（ロングパイル人工芝 H23.3 張替）・夜間照明設備･スコアボード･スタンド(観覧席 1,004 席)・放送席・シャワー付更衣室・駐車場
大原武道場	H 8.11. 1	20,888	951	第１道場（畳敷 H19.12 畳取替）・第２道場（板張り）・トレーニング室・ミーティングルーム

6　スポーツ推進委員会

⑴　スポーツ推進委員会研修会

・　６月の熱海市との合同研修会（令和８年度は台風により中止)、２月１３日から２月１４日にかけて開催された東海四県研究大会に参加し、他市町、他県のスポーツ推進委員と交流を図った。

・　その他
定例会(年１２回程度)

⑵　派遣事業

・　(公財)伊東市振興公社主催のフィットネス教室等へ派遣

⑶　伊東市スポーツ推進委員名簿（令和８年度）

（任期：令和 8 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日）

No.	氏　　名	役　職	性別	特　　技	経験年数
1	八代　佳世		女	一　般　体　育	35
2	里吉　康二		男	硬　式　野　球	33
3	杉山　英樹	委員長	男	水　　泳	33
4	古屋　親代	副委員長	女	陸　上　競　技	28
5	木部　良治		男	球　技　全　般	21
6	木村　美甫		女	一　般　体　育	21
7	宮地　瑠菜		女	一　般　体　育	1
8	御手洗　輝		男	一　般　体　育	1

Ⅷ　所轄外学校等

1　所轄外学校等

⑴ 高 等 学 校

①　生徒数・学級数・教職員数等の状況　　（令和８年５月１日現在）

区　　分		県立伊豆伊東高等学校	
		全　日　制	定　時　制
設　立　年　月　日		令和5年4月1日 ※1	令和5年4月1日
所　　在　　地		伊東市吉田748-1	
校　長　氏　名		小川　友和	
電　話　番　号		44-1111	44-0020
Ｆ　Ａ　Ｘ　番　号		44-0011	44-0011
生徒数（人）	１年生	211	9
	２年生	200	9
	３年生	236	8
	（４年生）		13
	計	647	39
クラス数	１年生	6	1
	２年生	6	1
	３年生	6	1
	（４年生）		1
	計	18	4
教員数（人）		53	9
職員数（人）		3	1

※1 県立伊東高等学校・同城ヶ崎分校・県立伊東商業高等学校は、静岡県の高校再編計画により、３校が統合され、令和５年４月１日から県立伊豆伊東高等学校が設立された。

② 卒業後の状況 （令和８年５月１日現在）

区分		県立伊豆伊東高等学校				合計	
		全日制		定時制			
		人	%	人	%	人	%
卒業者		207		8		215	
進学者数	大学	78	37.7	0	0.0	78	36.3
	短大	10	4.8	2	25.0	12	5.6
	専修各種	67	17.3	0	0.0	67	31.2
就職者数		43	20.8	5	62.5	48	22.3
その他		9	4.3	1	12.5	10	4.7

⑵ 私立幼稚園

（令和８年５月１日現在）

幼稚園名	所在地	園長氏名	電話番号	園児数	教職員数	建物面積	敷地面積
野間自由幼稚園	竹の内一丁目3-57	山口和人	37-4503	84	18	1,095㎡	16,630㎡

⑶ 専修学校

（令和８年５月１日現在）

学校名	所在地	校長氏名	電話番号	生徒数	教職員数	建物面積	敷地面積
日本書道芸術専門学校	吉田1022番地	石橋智子	45-4194	0	7	1,499㎡	8,945㎡

⑷ 特別支援学校

① 静岡県立東部特別支援学校伊東分校（小・中学部）

ア 教職員数等の状況 （令和８年５月１日現在）

創立年月日	所在地	校長氏名	電話番号 (FAX)	教員数	職員数
平11.4.1	伊東市岡１２７０番地の１	佐々木雅則	32-3150 (32-3151)	33 人	9 人

イ 児童生徒数・学級数

		１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	計
小学部	児童数	8	6	2	3	5	4	28 人
	学級数	3	3	2	1	2	2	13 組
中学部	生徒数	7	4	5				16 人
	学級数	2	2	2				6 組

② 静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校（高等部）

ア 教職員数等の状況 （令和８年５月１日現在）

創立年月日	所在地	校長氏名	電話番号 (FAX)	教員数	職員数
平18.4.1	伊東市吉田７４８番地１号	佐々木雅則	44-0077 (44-0081)	24 人	2 人

イ 生徒数・学級数

		１年生	２年生	３年生	計
高等部	生徒数	17	11	18	46 人
	学級数	2	2	4	8 組